

# 令和7年度 事業報告書



社会福祉法人 東松島市社会福祉協議会

<b>I 総括</b> .....	<b>4</b>
<b>II 重点事業</b> .....	<b>5</b>
<b>III 事業実施項目</b> .....	<b>7</b>
<b>1. 地域福祉事業拠点区分</b> .....	<b>7</b>
<b>(1) 法人運営事業</b> .....	<b>7</b>
①理事会の開催.....	7
②評議員会の開催.....	8
③評議員選任・解任委員会の開催.....	8
④監事監査の実施.....	8
⑤正副会長・監事会議の開催.....	9
⑥評議員・役職員研修会.....	9
⑦賛助・特別会員の加入促進.....	9
⑧組織マネジメントの強化.....	10
⑨社協職員としての意識の共有.....	11
⑩地域福祉推進のための人材基盤強化策の実施.....	11
⑪行政との「パートナーシップ」の醸成.....	11
⑫その他.....	11
<b>(2) 地域福祉推進事業</b> .....	<b>15</b>
①東松島市地域福祉推進計画の推進.....	15
②地域支え合い活動基盤整備事業.....	16
③支部長会議の開催.....	17
④福祉のまちづくり支援事業の実施.....	17
⑤地域見守り事業の推進（住民支え合いマップ・シルバーメイト事業）.....	18
⑥災害時に助け合う地域づくり.....	18
⑦地域の相談拠点づくり事業（ゆったりサロン）.....	18
⑧ふれあいサロン活動推進事業.....	18
⑨自治協議会（福祉部会）や市民センターとの連携の推進.....	21
⑩ノーマライゼーション普及事業の実施.....	22
⑪特別支援学級への学用品等支給事業.....	22
⑫子ども・若者の居場所づくり支援事業.....	23
⑬心のケア促進事業.....	23
⑭民生委員・児童委員の活動環境の整備と担い手の育成の支援.....	24
⑮福祉関係団体の連携・協働の推進.....	24
⑯社福法人・社協連携による「地域における公益的な取組」の推進.....	25
⑰情報発信力の強化.....	25
⑱災害時福祉支援体制の整備.....	26
⑲地域福祉推進大会の開催.....	26

⑩レクリエーション活動普及促進事業	27
⑪福祉教育の推進	28
⑫総合的学習支援事業	29
⑬火災見舞金支給事業の実施	29
⑭合併 20 周年の東松島市社協のあゆみの継承	29
⑮被災者支援事業から包括的な支援体制への移行準備事業	30
<b>(3)生活支援体制整備事業（東松島市からの受託）</b>	<b>30</b>
①支援ニーズの把握・可視化	30
②地域資源の把握・可視化	30
③第 1 層協議体及び第 2 層協議体の運営及び連携	31
④地域支え合い会議の推進	34
⑤不足するサービスの整理と創出・高齢者の活躍する場の確保と創出	34
<b>(4)地域介護予防事業（東松島市からの受託）</b>	<b>34</b>
①介護予防把握事業	34
②介護予防普及啓発事業	37
③地域介護予防活動支援事業	37
④一般介護予防評価事業	38
<b>(5)共同募金事業(共同募金配分金による事業)</b>	<b>39</b>
①東松島市共同募金委員会の運営	39
②共同募金一般配分事業の実施	39
③災害義援金の募金活動	39
④歳末たすけあい配分事業の実施	40
<b>(6)ボランティアセンター事業</b>	<b>40</b>
①地域福祉・ボランティア活動へのきっかけづくり	40
②ボランティア・市民活動センター機能の充実	40
③ボランティア登録団体助成事業	43
④日常の困りごとを解決する生活支援の充実(ひがまつ安心サポート事業)	43
⑤ボランティア活動への参加の機会の充実	44
⑥災害ボランティア登録の促進	45
<b>(7)老人福祉センター運営事業</b>	<b>45</b>
①東松島市老人福祉センターの指定管理	45
②老人福祉センター交流事業	46
③老人福祉センター教室の開催(交流事業)	46
④囲碁将棋・麻雀のつどい	47
⑤フリーマーケット	47
⑥趣味の作品展示会	47
<b>2. 総合相談事業拠点区分</b>	<b>48</b>
<b>(1)生活困窮者自立促進支援事業（東松島市からの受託）</b>	<b>48</b>
①自立相談支援事業	48
②家計相談支援事業	56
③就労準備支援事業	56
④被保護者就労支援事業	59
⑤生活困窮者支援等のための地域づくり事業	60
⑥休日・夜間相談会の開催	65

⑦生活困窮者に対する食料支援の実施.....	65
⑧「参加支援」推進のための連携・協働する場の整備.....	65
⑨金銭教育プログラムの実施.....	66
⑩生活用品等支援事業(緊急を要する援護者への物品給付)の実施.....	66
⑪その他.....	66
<b>(2)多機関協働事業(東松島市からの受託).....</b>	<b>67</b>
①多機関協働事業.....	67
②包括的な支援体制づくりのための連携・協働する場の整備.....	73
③福祉なんでも相談窓口事業.....	78
④部門間横断の相談支援体制づくり.....	81
⑤孤独・孤立対策に関する広報・啓発活動.....	84
⑥行政との「パートナーシップ」の醸成.....	84
<b>(3)生活福祉資金貸付事業(宮城県社会福祉協議会からの受託).....</b>	<b>84</b>
①生活福祉資金貸付事業の実施.....	84
②生活復興支援資金貸付事業の実施.....	85
③コロナ特例貸付借受人へのフォローアップ支援.....	85
<b>(4)生活安定資金等貸付事業.....</b>	<b>86</b>
①生活安定資金貸付事業の実施.....	86
②一時援護資金貸付事業の実施.....	86
<b>(5)日常生活自立支援事業(まもり一ぶ)(宮城県社会福祉協議会からの受託).....</b>	<b>86</b>
①日常生活自立支援事業(まもり一ぶ)の実施.....	86
②地域における権利擁護支援のあり方検討の推進.....	86
<b>3. 在宅介護事業拠点区分.....</b>	<b>87</b>
<b>(1)訪問介護事業.....</b>	<b>87</b>
①介護保険サービス・②障害福祉サービス・③産前産後ヘルパー事業.....	87
<b>(2)居宅介護支援事業.....</b>	<b>88</b>
①居宅介護支援事業の実施.....	88
<b>4. 被災者支援事業拠点区分.....</b>	<b>89</b>
<b>(1)被災者サポートセンター運営事業(東松島市からの受託).....</b>	<b>89</b>
①寄り添い型被災者生活支援の実施.....	89
②復興支援ボランティアの受入れ調整と派遣.....	90
③被災者支援事業から包括的な支援体制への移行準備事業(再掲).....	91
④その他.....	91
<b>5. 地域包括支援センター事業拠点区分.....</b>	<b>92</b>
<b>(1)地域包括支援センター事業(東松島市からの受託).....</b>	<b>92</b>
①包括的支援事業.....	92
②多機関協働による総合的な相談対応の推進.....	95
<b>(2)介護予防支援事業.....</b>	<b>95</b>
①介護予防ケアマネジメント.....	95
②指定介護予防支援.....	95
<b>(3)在宅医療・介護連携推進事業(東松島市からの受託).....</b>	<b>96</b>
①在宅医療・介護連携推進事業.....	96

## I 総括

令和 7 年度は、本会が合併 20 周年を迎えた節目の年であるとともに、国の第 2 期復興・創生期間の終了に伴い、被災者サポートセンター事業が終結する大きな転換点となる年度でもありました。震災後の被災者支援で培った経験を平時の地域福祉へと引き継ぐため、第 3 期東松島市地域福祉推進計画に基づく取組と、3 つの重点事業を一体的に推進しました。

地域福祉の推進では、地域支え合い会議の広がりに見られるように、住民主体の支え合い活動が着実に拡大しました。あわせて、居場所づくり、生活困窮者支援、フードバンク等の取組を通じて、複雑化・複合化する地域生活課題への対応に努めました。

被災者支援事業から平時の包括的な支援体制への移行については、令和 6 年度に策定した移行プロセスに沿って世帯アセスメント等を実施し、見守りや相談支援の継続が必要な世帯を令和 8 年度の新規事業へ引き継ぐ体制を整えました。また、重層的な支援体制整備事業の本格実施が見送られたことを受け、市との協議を経て代替的な取組の方向性を整理するとともに、災害公営住宅等における孤立防止やコミュニティ再生を柱とする新規事業の企画・検討を進めました。

権利擁護支援体制の整備については、日常生活自立支援事業「まもり一歩」について、これまで石巻市社協を実施主体として協力社協の立場で関わってきましたが、石巻市社協の事業撤退に伴い、令和 8 年度から本会が単独で実施することとなり、宮城県社協のモデル事業として事業移行に向けた準備を進めました。

法人運営面では、令和 7 年度が理事・監事の改選期であり、新たな役員体制のもとで、令和 8 年度から令和 10 年度までを計画期間とする中期経営計画の取りまとめを進める中で、復興・創生期間終了後の法人運営を見据えた経営課題について、役職員との共通理解の促進を図りました。あわせて、ICT の活用による業務効率化や、研修等を通じた役職員の意識醸成と人材基盤の強化に取り組みました。

合併 20 周年については、年間を通じて各種行事や日常業務に 20 周年記念の位置づけを明示するとともに、記念誌と記念動画を制作し、地域住民や関係機関への理解促進と、組織内における経験の継承につなげました。

令和 7 年度は、震災後の被災者支援に一区切りをつける一方で、その経験と仕組みを平時の地域福祉へ再配置するための準備を進めた年度でした。令和 8 年度以降は、これらの取組を具体的な事業展開につなげ、地域における孤立防止と包括的な支援体制の構築をさらに推進していきます。

## II 重点事業

### 1 地域共生社会の実現に向けた地域福祉推進基盤の強化

地域共生社会の実現に向けた地域福祉推進基盤の強化として、第3期東松島市地域福祉推進計画に基づき、住民主体の地域福祉活動の推進と、被災者支援事業終了後を見据えた平時の包括的な支援体制づくりに取り組みました。

小地域における支え合い活動については、地域支え合い会議、福祉のまちづくり支援事業、地域見守り事業、ふれあいサロン活動推進事業などを通じて、住民主体の活動を支援しました。特に地域支え合い会議は、新たに4か所で開設され、令和7年度末時点で56か所となり、身近な地域で生活課題を共有し支え合う基盤が広がりました。

また、国の第2期復興・創生期間の終了に伴う被災者サポートセンター事業の終結を踏まえ、令和6年度に策定した移行プロセスに基づき、災害公営住宅291世帯を対象とした世帯アセスメントや地域アセスメントを実施しました。その結果、見守りや相談支援の継続が必要と思われる122世帯を、令和8年度の新規事業である高齢者等見守り・相談支援事業へ引き継ぐこととしました。

当初は、東松島市が令和8年度から重層的支援体制整備事業を本格実施することを想定し、同事業を中核とした包括的な支援体制への移行を準備していましたが、国の方針転換を受け市が見送る方針となったため、市と協議を重ね、令和8年度から「生活支援コーディネーターを中心とした相談支援連携体制構築事業」を実施する方向性を整理するとともに、「災害公営住宅等孤立防止・コミュニティ再生支援事業」の企画・検討を進めました。

権利擁護支援体制の整備については、これまで石巻市社協を実施主体とし協力社協として関わってきた日常生活自立支援事業「まもり一歩」について、石巻市社協の事業撤退に伴い、令和8年度から本会が単独で実施することとなりました。10月から専門員1名を配置し、宮城県社協のモデル事業として事業引継ぎと移行準備を進めるとともに、市内利用者21名への支援を継続しました。今後は、身近な地域での権利擁護支援の充実を図っていきます。

これらの取組により、震災後の被災者支援で培ってきた見守り・相談支援の仕組みを平時の地域福祉へつなぐ基盤づくりを進めました。今後も、個別支援と地域づくりを一体的に進め、誰もが地域で孤立せず安心して暮らせる支援体制の構築を推進していきます。

### 2 社協の総合力向上に向けた組織強化

社協の総合力向上に向けた組織強化として、持続可能な法人運営と事業推進体制の確立を目指し、組織マネジメントの強化、役職員の意識醸成、人材基盤の強化に取り組みました。

組織マネジメントの強化については、令和7年度が理事・監事の改選期であり、新たな役員体制のもとで、令和6年度から準備を進めてきた中期経営計画の策定に取り組み、令和8年度から令和10年度までの3年間を計画期間とする計画案を取りまとめました。

これまで決算説明等を通じて共有してきた財政上の課題を、中期的な財政見通しや事業継続に必要な人員体制の課題とあわせて体系的に整理し、復興・創生期間終了後を見据えた法人運営基盤の強化、財政運営、人員配置、在宅介護事業の再生等の経営課題を盛り込み、令和7年度末には理事会及び評議員会に計画案を説明しました。これにより、

法人の現状と今後の方向性について役員等との認識共有を図り、令和 8 年度の正式決定に向けた調整を進めました。

あわせて、中期経営計画では、経営会議を法人全体の経営状況や事業の進捗等を共有・確認し、重要事項の方針を検討する場として明確に位置づけ、令和 8 年度以降の組織的な進行管理につなげる基盤を整えました。また、ICT の活用による組織横断の情報共有と業務効率化を推進しました。在宅介護事業の再生については、計画策定と並行して新規利用者の確保に取り組み、年度末にかけて利用者数の回復につなげました。

役職員の意識醸成については、評議員・役職員研修会を開催し、「社会福祉協議会基本要項 2025」の具体化や、地域共生社会の実現に向けた社協の役割について理解を深めました。

人材基盤の強化については、県社協が実施する階層別研修や各種職種別研修への参加を通じて、社協職員としての役割認識を深めるとともに、組織全体で地域福祉を推進していくための基盤強化を図りました。

### 3 合併 20 周年記念事業「記憶と継承」

本会は令和 7 年度に合併 20 周年を迎えました。この節目を、これまでの地域福祉活動や東日本大震災後の被災者支援から地域福祉への展開の記録を次世代に伝え、組織の一体感の醸成と住民理解の促進を図る機会と位置づけ、記念事業に取り組みました。

年間を通じて、各種行事や日常業務に 20 周年記念の位置づけを明示し、組織を挙げて節目の年であることを内外に発信しました。記念誌の制作にも多くの職員が参画し、過去の活動記録の収集・整理を通じて、組織内での経験の継承と一体感の醸成を図りました。

10 月には、創立 20 周年記念誌「社協 20 年のあゆみ 2005～2025 ささえあい これからも」を発行するとともに、記念動画「映像でみる 20 年の歩み」を制作し、合併以降の歩みと震災後の被災者支援から平時の地域福祉への展開過程を記録としてまとめました。

### Ⅲ 事業実施項目

#### 1. 地域福祉事業拠点区分

##### (1) 法人運営事業

##### ① 理事会の開催

名称	日付	議 題	出席者
第1回 通常	6月3日	議案第1号 令和6年度事業報告及び計算書類等の承認について (監査報告) 議案第2号 評議員選任候補者の推薦について 議案第3号 評議員選任・解任委員会の招集について 議案第4号 理事・監事選任候補者の推薦について 議案第5号 評議員選任・解任委員会委員の選任について 議案第6号 苦情解決第三者委員の選任について 議案第7号 育児・介護休業等に関する規則の一部を改正する規則について 議案第8号 令和7年度定時評議員会の招集について <b>【全議案原案可決】</b> 報告事項 ・ 監事の監査結果の報告 ・ 監督官庁が実施した検査又は調査について	理事 12人 監事 3人
第1回 臨時	6月20日	議案第9号 会長の選任について 議案第10号 副会長の選任について 議案第11号 顧問の選任について <b>【全議案原案可決】</b>	理事 13人 監事 3人
第2回 通常	11月21日	議案第12号 令和7年度資金収支第1次補正予算について 議案第13号 令和7年度第1回臨時評議員会の招集について <b>【全議案原案可決】</b> 報告事項 ・ 会長の職務執行状況報告について ・ 監事の監査結果の報告について ・ 監督官庁が実施した検査又は調査の結果について	理事 12人 監事 2人
第3回 通常	令和8年 3月18日	議案第14号 令和7年度資金収支第2次補正予算について 議案第15号 令和8年度事業計画及び資金収支予算について 議案第16号 (債) 令和7年度東松島市生活支援体制整備事業業務委託契約の締結について 議案第17号 (債) 令和7年度東松島市生活支援体制整備事業業務(機能強化)委託契約の締結について 議案第18号 (債) 令和7年度東松島市地域介護予防事業運営業務委託契約の締結について 議案第19号 令和8年度東松島市高齢者等見守り・相談支援事業業務委託契約の締結について 議案第20号 福祉サービス利用援助事業委託契約の締結について 議案第21号 (債) 令和7年度東松島市東部地域包括支援センター運営業務委託契約の締結について	理事 12人 監事 3人

		議案第 22 号 役員等賠償責任保険契約の締結について 議案第 23 号 定款の一部変更について 議案第 24 号 事務局組織規程の一部を改正する規程について 議案第 25 号 臨時職員就業規則の一部を改正する規則について 議案第 26 号 経理規程の一部を改正する規程について 議案第 27 号 令和 7 年度第 2 回臨時評議員会の招集について <b>【全議案原案可決】</b> 報告事項 ・会長の職務執行状況報告 ・監事の監査結果の報告	
--	--	---	--

## ②評議員会の開催

名称	日付	議 題	出席者
定時	6 月 20 日	議案第 1 号 令和 6 年度事業報告及び計算書類等の承認について (監 査 報 告) 議案第 2 号 理事・監事の選任について <b>【全議案原案可決】</b>	評議員 12 人 監事 3 人
第 1 回 臨時	12 月 5 日	議案第 3 号 令和 7 年度資金収支第 1 次補正予算について <b>【全議案原案可決】</b>	評議員 14 人 監事 2 人
第 2 回 臨時	令和 8 年 3 月 27 日	議案第 4 号 令和 7 年度資金収支第 2 次補正予算について 議案第 5 号 令和 8 年度事業計画及び資金収支予算について 議案第 6 号 定款の一部変更について <b>【全議案原案可決】</b>	評議員 11 人 監事 2 人

## ③評議員選任・解任委員会の開催

- ・評議員に欠員が生じたため、外部委員を含む評議員選任・解任委員会を開催し、評議員の選任を行った。

名称	日付	議 題	出席者
第 1 回	6 月 10 日	議案第 1 号 評議員の選任について <b>【原案可決】</b>	委員 5 人

## ④監事監査の実施

- ・決算並びに理事の業務執行状況及び財産状況等の監査を実施した。

監査の種類	日付	内 容	出 席 者
定期監査 決算監査	5 月 19 日	第 4 四半期監査(1 月 1 日～3 月 31 日) 令和 6 年度決算	会長、監事 3 人、事務局 4 人
定期監査	7 月 25 日	第 1 四半期監査(4 月 1 日～6 月 30 日)	会長、監事 3 人、事務局 4 人
定期監査	10 月 23 日	第 2 四半期監査(7 月 1 日～9 月 30 日)	会長、監事 3 人、事務局 4 人
定期監査	令和 8 年 1 月 29 日	第 3 四半期監査(10 月 1 日～12 月 31 日)	会長、監事 3 人、事務局 4 人

### ⑤正副会長・監事会議の開催

- ・本会の重要事項について協議した。

名称	日付	内 容	出 席 者
第 1 回	11 月 7 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活自立支援事業「まもりーぶ」4 者契約の失効と今後の対応について</li> <li>・コロナ特例貸付借受人フォローアップ支援の体制強化について</li> <li>・市の「重層事業」取りやめ方針にかかわる対応策について</li> <li>・被災者支援終了後の新たな支援体制構築について</li> <li>・法人運営に係る経営見通しについて</li> </ul>	会長、副会長 監事 3 人 事務局 4 人
第 2 回	令和 8 年 2 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中期経営計画について</li> </ul>	会長、副会長 監事 3 人 事務局 4 人

### ⑥評議員・役職員研修会

日付	場所	内 容	参加者
7 月 18 日	松島町 「パレス松洲」	(テーマ) 「社会福祉協議会基本要項 2025」の 具体化に向けて	評議員、理事 監事、職員 計 33 人
9 月 25 日	地域福祉交流 プラザ	(テーマ) 地域共生社会の実現に向けて 講師 日本福祉大学学長 原田正樹氏	理事、監事、職 員、他社協職員 計 30 人

### ⑦賛助・特別会員の加入促進

- ・4月の自治会長会議に出席し、一般会費の納入について依頼した。また特別会員については、8月にダイレクトメールを440通送付し、企業・団体に加入促進を図った。

会費の収納状況の推移

(円)

種類	会費	令和 7 年度		令和 6 年度		増減	
		加入数	収納額	加入数	収納額	加入数	収納額
一般会員	1,200	11,383	13,659,200	11,360	13,631,200	23	28,000
賛助会員	3,000	27	80,000	27	80,000	0	0
特別会員	3,000	279	834,110	221	661,000	58	173,110

## ⑧組織マネジメントの強化

### ア 諸規程の制定・改廃

種別	施行日	規程名
規程	4月1日	育児・介護休業等に関する規則の一部を改正する規則
規程	4月1日	生活安定資金運営規程の一部を改正する規程
規程	5月1日	指定訪問介護事業所（指定訪問介護相当サービス事業所）運営規程の一部を改正する規程
規程	5月1日	障害福祉居宅介護事業所運営規程の一部を改正する規程
規程	10月1日	育児・介護休業等に関する規則の一部を改正する規則
定款	令和8年 3月31日	定款の変更

### イ 不正着服事件にかかる弁済金(長期貸付金)の償還状況

- ・債権回収業務を弁護士に委託し、公正証書で定めた返済計画どおりの返済が行われた。

令和7年4月から令和8年3月までの償還状況

毎月 150,000 円×12 ヶ月 = 1,800,000 円

(返済状況)

令和8年3月末現在

項目	金額
長期貸付金の貸付総額	23,085,570 円
前年度末の返済残額	2,030,570 円
年度中の返済額	1,800,000 円
年度末の返済残額	230,570 円

### ウ 定期的な経営会議の開催

- ・経営会議は9月2日に開催したほか、毎週開催している事務事業推進会議を活用し、重要施策等の協議や方針決定を行った。
- ・また、中期経営計画において、経営会議を法人全体の経営状況や事業運営の方向性を共有・確認する場として位置づけ、令和8年度以降の定例的な運営に向けた基盤を整備した。

### エ 事業の進行管理の仕組みの構築（PDCA手法の確立）

- ・事業計画管理アプリによる進捗状況の見える化に加え、中期経営計画において、事業計画及び予算執行状況を定期的に確認する仕組みを整理した。

### オ 中期経営計画の策定

- ・中期経営計画の策定については、令和8年度から令和10年度までの3年間を計画期間とし、復興・創生期間終了後を見据えた法人運営基盤の強化、財政運営、人員配置、在宅介護事業の再生等の経営課題を整理した計画案を作成した。
- ・これまで決算説明等を通じて共有してきた財政上の課題について、中期的な財政見通しや人員配置の課題とあわせて体系的に整理したことで、法人の現状と今後の方向性について、役員等との認識共有を図った。
- ・令和7年度末には、理事会及び評議員会において計画案を説明し、翌年度の正式決定に向けた調整を進めた。

## ⑨社協職員としての意識の共有

### ア 評議員・役職員研修会への参加

- ・本会が開催した評議員・役職員研修会(7月18日・9月25日、⑥に記載)に、評議員・理事・監事とともに職員も参加し、「社会福祉協議会基本要項2025」の具体化や、地域共生社会の実現に向けた社協の役割について認識を共有した。

### イ 社会福祉協議会活動全国会議への参加

- ・全国社会福祉協議会が開催した「令和7年度社会福祉協議会活動全国会議」に会長及び職員3名が参加した。
- ・同会議では、「基本要項2025」を踏まえ、社協の強みや課題、今後の社協活動の方向性について考える機会とされており、地域共生社会の実現に向けた社協の役割や、住民主体の地域づくり、包括的な支援体制の構築等について理解を深めた。

日付:9月8日～9日 場所:全社協・灘尾ホール、5階会議室(東京都千代田区)

テーマ:「基本要項2025」策定を契機に、これからの社会福祉協議会を考える

参加者:会長、職員3名

## ⑩地域福祉推進のための人材基盤強化策の実施

- ・地域福祉推進のための人材基盤強化策として、宮城県社会福祉協議会が同会職員向けに実施している階層別研修に、県内市町村社協職員も参加できる機会を活用し、令和7年度は係長研修に職員が参加した。
- ・各職種の専門性や実務能力の向上を図るため、職種別研修等にも随時参加した。

## ⑪行政との「パートナーシップ」の醸成

- ・社協経営への参画の状況
  - 理事1名(東松島市総務部長)
  - 評議員1名(東松島市保健福祉部長)
- ・国の方針転換により、東松島市が令和8年度からの重層的支援体制整備事業の本格実施を見送る方針となったことを受け、市福祉課と協議を重ねた。被災者支援事業終了後も包括的な支援体制づくりを継続するため、代替的な取組の考え方や事業計画案を提示し、市との調整を経て、令和8年度から「生活支援コーディネーターを中心とした相談支援連携体制構築事業」を実施する方向性を整理した。

## ⑫その他

### ア 顕彰関係(敬称略)

(ア) 令和7年度全国社会福祉大会(11月12日開催)においての受賞者

○中央共同募金会会長表彰

- ・奉仕功労者 西塚敬吾

(イ) 令和7年度宮城県社会福祉大会(11月6日開催)においての受賞者

○宮城県知事表彰

- ・褒状

社会福祉事業篤志奉仕者<<民生委員児童委員>>

大山浄心、奥田知子

## 民間社会福祉団体関係者

阿部英一

### ○宮城県社会福祉協議会会長表彰

#### ・表彰状

社会福祉協議会役職員功労者

小野竹一、日野美佐子、樋口潤子

ボランティア功労団体

東松島市レクリエーション協会

### ○宮城県共同募金会会長表彰

#### ・表彰状－奉仕功労者

佐々木安雄、橘川彰、瀬戸晃、真籠光政、鈴木則男、吉田賢次、佐々木俊昭、  
佐々木正俊

#### ・感謝状－篤志寄付者

小池康裕

#### ・感謝状－奉仕功労者

浅野隆志

### ○宮城県民生委員児童委員協議会会長表彰

#### ・表彰状－永年勤続民生委員・児童委員

大江裕子、高山實、本名宗三郎、榎戸悦子、川村ゆう子、小田島和子、鈴木米子、  
奥田まゆみ、田辺恵美子、千葉登世美、村上明、山田いさ子、山本幸子

#### ・感謝状－民生委員・児童委員活動支援者

米澤秀穂、狩野浜子

## イ 寄附金品等の受納状況

・一般・特定寄附金	19件	394,233円
商品券	3件	56,000円
らくらく号チケット	1件	7,200円

#### ・寄附物品 14件

内容：①紙おむつ・防水シート ②囲碁・将棋セット ③サウンドアーチ④石油ヒーター  
⑤ホワイトボード ⑥未使用切手 ⑦湯たんぽ・マスク ⑧雑巾 等

## ウ 情報通信環境の整備

- ・職員間のつながりを活性化する職場内SNSとしても活用できる情報共有ツール「キントーン」を継続利用し、組織を横断した情報の共有に努めた。
- ・キントーンの機能を活用して業務用アプリを作成し、業務効率の向上と業務の見える化を図った。 運用中のアプリ数 37個（うち令和7年度作成分 11個）
- ・令和7年度末をもって被災者サポートセンター事業が終了し、後継となる高齢者等見守り・相談支援事業（令和8年度開始）においては、これまで活用してきた防災科学技術研究所開発の見守り情報管理システム（世帯情報、個人情報、訪問記録等を管理するシステム）が利用できなくなることから、その代替として後継事業で必要となる機能を備えたアプリをキントーン上に新たに構築し、見守り情報管理システムからのデータ移行作業を進めた。
- ・RPAツール（マイクロソフト Power Automate）の導入により、報告書作成等の定型業務の自動化を進め、事務作業の省力化を推進した。 対象業務数 6業務
- ・文字起こしソフト（Notta）を本格導入し、議事録作成作業の省力化を図った。

- ・AI の活用については、試験的な導入段階ではあるが、文書要約、議事録整理、資料作成補助等で複数部署が試用しており、業務効率化や資料作成支援に一定の効果が表れている。一方で、個人情報・機密情報の取扱いに加え、AI が事実と異なる内容を生成するハルシネーションの問題など、適切な活用に向けた課題もある。今後は、これらの課題を踏まえ、組織としての活用ルールの整備を検討していく必要がある。

#### エ 福祉機器貸与事業

- ・居宅において生活している障がい者又は高齢者等の日常生活を支援するため、福祉機器の貸与を行った。
- ・通院や外出、けが等により一時的に車いすが必要となった方に貸与した。

貸与実績…車いす 14 人

※その他、小学校での福祉教育(キャップハンディ体験教室)や選挙での車いすの使用に貸出

#### オ 主な社会福祉等関連組織への参画(会長)

日付	会議・行事名等	場所
4/1	辞令交付・会長訓示	地域福祉交流プラザ
2	東松島市 市制施行 20 周年記念式典	コミュニティセンター
11	東松島市 民生委員児童委員協議会総会	地域福祉交流プラザ
24	全社協 政策委員会第 1 回幹事会	東京都
24	全社協 第 6 回福祉ビジョン改定検討委員会	東京都
5/15	東松島市「心の復興」補助金選定委員会	市役所
19	決算監査	地域福祉交流プラザ
21	全社協 地域福祉推進委員会第 1 回総会	東京都
27	東松島市 第 1 回市史編纂有識者委員会	市役所
6/3	第 1 回通常理事会	地域福祉交流プラザ
9	全社協 地域福祉推進委員会第 1 回正副委員長会議	東京都
10	評議員選任・解任委員会	地域福祉交流プラザ
12	東松島市 第 1 回障害者総合支援協議会全体会	地域福祉交流プラザ
15	防災訓練	地域福祉交流プラザ
20	第 1 回臨時理事会	地域福祉交流プラザ
20	定時評議員会	地域福祉交流プラザ
24	全社協 政策委員会第 1 回幹事会	東京都
24	全社協 政策委員会総会	東京都
25	東松島市 第 1 回総合開発審議会	市役所
27	全社協 地域福祉推進委員会第 1 回常任委員会	東京都
30	東松島みらいとし機構 定時社員総会	みらいとし事務所
7/1	石巻圏域定住自立圏共生ビジョン第 1 回懇談会	石巻ささえあいセンター
4	支部長会議	地域福祉交流プラザ
9	東松島市 第 1 回地域公共交通活性化協議会	市役所
14	東松島市 地域包括ケア推進会議	市役所
15	東松島市 民生委員推薦会	地域福祉交流プラザ

18	評議員・役職員研修会	松島町
23	全社協 地域福祉推進委員会第2回常任委員会	東京都
25	第1四半期定期監査	地域福祉交流プラザ
8/19	第5期宮城県地域福祉支援計画第1回策定会議	仙台市
20	東松島市 戦没者追悼式	メモリアルホール菩提樹
26	東松島市 第2回市史編纂有識者委員会	市役所
28	全社協 政策委員会第3回幹事会	東京都
29	宮城県市町村共同募金委員会 会長・事務局長会議	仙台市
9/3	東松島市 第2回総合開発審議会	市役所
5	石巻圏域社協情報交換会	地域福祉交流プラザ
8~9	全社協 全国会議	東京都
12	宮城県社協 第300回理事会	仙台市
25	役職員研修	地域福祉交流プラザ
10/15	全社協 地域福祉推進委員会第3回常任委員会	東京都
15	全社協 政策委員会第4回幹事会	東京都
15	全社協 福祉懇談会	東京都
23	第2四半期定期監査	地域福祉交流プラザ
29	地域福祉推進大会	コミュニティセンター
11/6	宮城県社会福祉大会	仙台サンプラザ
7	第1回正副会長・監事会議	地域福祉交流プラザ
12	第5期宮城県地域福祉支援計画第2回策定会議	仙台市
19	いきいき百歳体操交流大会	コミュニティセンター
21	第2回通常理事会	地域福祉交流プラザ
23	東松島市政功労者表彰式	コミュニティセンター
26	民生委員退任慰労会	飛翔閣
12/1	東松島市 第3回総合開発審議会	市役所
3	宮城県共募 第291回理事会	仙台市
4	宮城県社協 第301回理事会	仙台市
5	第1回臨時評議員会	地域福祉交流プラザ
9	歳末助け合い街頭募金活動	道の駅東松島
10	JAいしのまきフードバンク提供対応	地域福祉交流プラザ
12	鳴瀬未来中学校生徒会寄附対応	地域福祉交流プラザ
13	東松島みらいとし機構臨時社員総会/環境日記表彰式	みらいとし事務所
13	第61回東松島ライオンズクラブ Xmas 家族会	飛翔閣
16	ダイナム矢本店募金対応	地域福祉交流プラザ
17	山形県東根市社協表敬訪問	東根市社協
18	歳末助け合い募金配分委員会	地域福祉交流プラザ
20	心の復興コンサート (佐藤宗幸 みやぎびっきの会)	コミュニティセンター
23	全社協 地域福祉推進委員会第4回常任委員会	東京都
25	全社協 政策委員会第5回幹事会	東京都
26	仕事納め・会長訓示	地域福祉交流プラザ

令和8年 1/4	消防出初め式	鷹来の森運動公園
5	仕事はじめ/会長訓示（市長参列）	地域福祉交流プラザ
6	東松島市新年賀詞交換会	コミュニティセンター
8	民生委員推薦会	市役所
24	松島基地新年会	松島基地
29	第3四半期定期監査	地域福祉交流プラザ
30	民生委員・児童委員協議会新年会	飛翔閣
2/9	第5期宮城県地域福祉支援計画第3回策定会議	仙台市
12	全社協 地域福祉推進委員会第2回正副委員長会議	東京都
17	全社協 地域福祉推進委員会第5回常任委員会	オンライン
19	第2回正副会長・監事会議	地域福祉交流プラザ
21	地域支え合いフォーラム2025	矢本東市民センター
22	みらいとし機構主催フードドライブパークゴルフ大会	市営パークゴルフ場
26	全社協 政策委員会第6回幹事会	東京都
3/5	宮城県社協 第302回理事会	仙台市
6	全社協 地域福祉推進委員会第2回総会	オンライン
8	国際ソロプチミスト石巻 第23回チャリティーコンサート	石巻市
8	心の復興コンサート「絆のハーモニー」	コミュニティセンター
10	宮城県共同募金会第292回理事会	仙台市
11	令和8年東日本大震災東松島市追悼式	コミュニティセンター
17	東松島市地域支え合い推進委員会/委嘱状交付	地域福祉交流プラザ
18	第3回通常理事会	地域福祉交流プラザ
19	宮城県社協 第303回理事会	仙台市
23	「東松島市史」完成報告会	市役所
23	東松島市 第2回障害者総合支援協議会全体会	地域福祉交流プラザ
24	東松島市 第4回総合開発審議会	市役所
26	東松島市 第2回地域公共交通活性化協議会	市役所
27	第2回臨時評議員会	地域福祉交流プラザ
30	被災者サポートセンター・社協生活復興支援センター 合同閉所式	地域福祉交流プラザ
31	退職職員辞令交付	地域福祉交流プラザ

## (2) 地域福祉推進事業

### ① 東松島市地域福祉推進計画の推進

- ・ 令和7年度第1回東松島市地域福祉推進委員会の開催  
日付：令和7年8月29日 午前10時～午前11時30分  
場所：東松島市地域福祉交流プラザ 多目的ホール  
内容：①委嘱状交付及び委員紹介  
委員18人に委嘱状を交付した  
任期は、令和7年8月23日から令和10年8月22日まで。

②委員長及び副委員長の選任について

委員長に土井孝博氏、副委員長に佐々木松子氏が就任した。

③報告事項

(1) 令和6年度までの地域福祉推進委員会の状況及び計画の進行管理の在り方について

④議事

(1) 第3期地域福祉推進計画の進捗状況について

・令和7年度第2回東松島市地域福祉推進委員会の開催

日付：令和8年3月24日 10時～11時30分

場所：地域福祉交流プラザ 多目的ホール

内容：(1) 第3期地域福祉推進計画推進に係る次年度取組方針・取組目標について  
(2) 第4期東松島市地域福祉推進計画策定に向けたスケジュールについて



②地域支え合い活動基盤整備事業

ア 地域支え合い活動助成事業

支え合い協力員を配置して見守り活動及び地域支え合い会議を行う社協支部に対して助成金を交付し、地域住民相互の支え合い活動を支援した。

・事業実施支部

助成先	支え合い協力員数	助成金
五味倉支部	14人	40,750円
赤井駅前支部	8人	86,000円
川下支部	10人	25,000円
下小松支部	10人	25,500円
合計		177,250円

イ 地域支え合い会議の開催及び参加

身近な圏域での地域福祉活動を推進するため、自治会や行政区圏域の地縁組織を単位とした話し合いの場づくりと住民主体の福祉活動の推進に取り組んだ。また、自治会等での地域生活課題を共有する会議に参加した。自治会長、民生委員、社協CSW、相談支援包括化推進員、各地区の地域包括支援センター職員などが参加した。

・地域支え合い会議開設数（56カ所（うち令和7年度4カ所新設））

- ① 赤井地区 8地区(上区、中区、下区、南西(よりそいの会)、南三区、赤井駅前、南新町、柳区)
- ② 大曲地区 8地区(大曲、五味倉、横沼、上納、筒場、貝殻塚一、貝殻塚二、貝田)
- ③ 矢本東地区 10地区(関の内西、関の内三、作田浦(楽楽会)、谷地、下小松、あおい地区(見守り部会)、下町四、下浦、下町二区・五区、大溜)

- ④ 矢本西地区 6 地区(河戸、上河戸一、上河戸三、上河戸四、二反走、三角公園)
- ⑤ 大塩地区 4 地区(塩入支え合い会議、塩入シニアの会、小分木・大島、小松台)
- ⑥ 小野地区 9 地区(小野上、新道町内会、川下、往還上、往還下、平岡、根古、上下堤、高松)
- ⑦ 野蒜地区 8 地区(亀岡、東名、野蒜ケ丘一丁目、野蒜ケ丘二丁目、大塚、中下、野蒜ケ丘三、浅井)
- ⑧ 宮戸地区 3 地区(里浜、月浜・大浜、室浜)



#### ウ 地域支え合いフォーラム 2025 の開催

誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らし続けることが出来る支え合いの地域づくりのため、地域に生きる一人ひとりが尊重され、その人の可能性を發揮し、多様な経路で社会とつながることの大切さを啓発することを目的として開催した。

日 付 令和8年2月21日 13時30分～15時30分

場 所 矢本東市民センター 多目的ホール他

参加者 約100人

内 容

- ・事例発表

- ①てあわせ表現・東松島

- ②東松島市国際交流グループ knot

講師 東北文化学園大学教授 野崎瑞樹氏

- ・パネルディスカッション

- ①てあわせ表現・東松島 戸田祥子 氏

- ②とっておきの音楽祭 in 東まつしま実行委員会 本田栄子 氏

- ③東松島市国際交流サークル knot 岩崎未知 氏

- ④上納地区自治会長 鎌田司郎 氏



#### ③支部長会議の開催

・社協支部長（自治会長）会議を開催し、前年度事業の実績報告、今年度事業及び助成事業の説明を行い、社協事業の推進に協力を依頼した。

日 付 7月4日 10時～11時30分

場 所 地域福祉交流プラザ

参加者 支部長 46人参加

#### ④福祉のまちづくり支援事業の実施

・令和7年度福祉のまちづくり支援事業実施要綱により、社協・支部が実施する地域福祉の向上を目的にした事業・活動に対する助成を実施し、「福祉のまちづくり」の推進を図った(助成金の上限:会費納入の20%)。

(助成事業実績)

事業区分	件数	主な事業	主な内容
高齢者福祉事業	50件	敬老会、記念品配布	感染対策を講じ多くの地域で敬老会を開催(33件)
地域交流事業	20件	地区まつり、運動会、ラジオ体操、イルミネーション点灯式、百歳体操への支援	長年継続開催している地区まつり、夏休み中の子供たちと一緒に参加するラジオ体操
児童福祉事業	4件	育成会への支援、新入学児童祝い	
環境保全事業	4件	地区内清掃活動、植栽活動	清掃活動や植栽作業を住民共同で実施
合計	78件		

※申請支部数…69支部 助成金額計 2,603,840円

⑤地域見守り事業の推進（住民支え合いマップ・シルバーメイト事業）

・地域住民主体の日常的な見守りを推進するため、「シルバーメイト地域見守り支援事業」の助成金交付を通じ、地域支え合い活動の促進を図った。

助成先	助成金	シルバー数	メイト数
あおい地区会	110,000円	186人	10人

※「シルバー」：見守り対象高齢者 「メイト」：地域住民による見守りボランティア

⑥災害時に助け合う地域づくり

・地域支え合い会議を通じ、災害時に支援が必要な方の把握に努めた。

⑦地域の相談拠点づくり事業(ゆったりサロン)

・一般市民の生きがいがいづくりにつながる「心の復興コンサート」を開催し、地域内での孤立予防や心のケアを推進しながら、ゆったり寛いで楽しく過ごせる場を提供した。また、「福祉の相談窓口」の紹介を行い、広く市民に周知と理解を深めることを目的に実施した。

日付 12月20日 13時30分～15時30分

場所 東松島市コミュニティセンター

参加者 一般市民256人

⑧ふれあいサロン活動推進事業

・地域の身近な場所で住民が自主的・主体的に活動を行う「ふれあいサロン」活動団体の把握と活動団体の事業運営に対して助成金を交付し、小地域での福祉活動の活性化を図った。

登録団体：111団体

東松島市財源分「通いの場事業費」助成金の交付：56団体4,639,500円

社協財源分「小地域福祉活動事業費」助成金の交付：11団体267,250円

※東松島市社協「ふれあいサロン活動」助成金交付要綱に基づき助成した。

■ふれあいサロン登録団体及び「ふれあいサロン活動助成金」交付先

番号	地区	団体名	助成金(円)	
			市	社協
1	野蒜	かたくり会	48,000	-

2	矢本西	三角公園自治会いきいき三燦会	96,000	-
3	小野	川下ふれあいサロン	-	-
4	大塩	裏沢いきいきほっとサロン	-	-
5	矢本西	爺・婆まけん隊	96,000	-
6	大曲	ヘルシーカフェあがらいん茶屋	120,000	-
7	宮戸	ほっこり常楽会	-	-
8	赤井	105ピンピン体操の会	72,000	-
9	赤井	南三区なごみ会	96,000	-
10	矢本東	はばたけ百歳体操	96,000	-
11	矢本東	あおい元気サークル	120,000	-
12	矢本東	なごみ百歳体操	120,000	-
13	矢本西	笑母倶楽部	-	-
14	矢本東	下小松地区自治会	48,000	-
15	矢本東	下町べっぴん百歳体操	120,000	-
16	赤井	柳西区はまなす会	-	-
17	小野	ひまわりの会	-	-
18	野蒜	スマイル元気会	120,000	-
19	赤井	にこにこサロン	-	-
20	矢本東	やよい会	-	-
21	矢本西	にっこり百歳体操サークル	120,000	-
22	大曲	百歳体操よつばの会	120,000	-
23	小野	笑顔の会	-	-
24	矢本東	あいサロン	72,000	-
25	野蒜	チーム楽楽楽	72,000	-
26	大塩	なんだ坂こんな坂サークル	120,000	-
27	野蒜	いきいき会	96,000	-
28	矢本東	カトレア会	72,000	-
29	赤井	和幸会百歳体操の会	72,000	-
30	野蒜	東名地区あざみの会	72,000	-
31	小野	遊楽楽会	72,000	-
32	小野	しゃんしゃんとクラブ	-	-
33	小野	はつらつシニア百歳体操	96,000	-
34	矢本西	前里自治会	-	-
35	矢本東	作田浦自治会	76,000	-
36	野蒜	中下いきいきちょっくら会	46,000	-
37	小野	川下百歳体操	48,000	-
38	矢本東	いきいき桜の会	-	-
39	矢本東	上若百の会	96,000	-
40	赤井	川前サルビア会	-	-
41	赤井	さくらんぼ会	72,000	-
42	小野	肘曲にこにこサロン	-	11,500
43	矢本西	悠悠クラブ	48,000	-
44	小野	西福田地区こまち	96,000	-

45	小野	下福田おそうじ隊	-	-
46	赤井	1.5 会	-	-
47	小野	新道町内会自治会	96,000	-
48	野蒜	浅井百歳体操会	48,000	-
49	大塩	あったかサロン・シオイリ	120,000	-
50	矢本東	下町一ふわふわ会	72,000	-
51	矢本東	下町四地区にっこり会	-	12,000
52	矢本西	ホットサロンたんぼぼの会	-	6,000
53	野蒜	シャンシャン会	-	-
54	大塩	大塩スマイル	72,000	-
55	宮戸	里浜げんきクラブ	72,000	-
56	矢本東	大溜なのはなクラブ	96,000	-
57	大曲	大曲地区ピンポンクラブ	-	45,000
58	大塩	大島地区健康体操	40,000	-
59	矢本東	谷地区自治会(お茶サロン谷地)	96,000	-
60	赤井	なないろの会	-	-
61	大曲	五味倉地区自治会	-	-
62	矢本西	ひよこクラブ	96,000	-
63	小野	川下グランドゴルフ愛好会	-	-
64	宮戸	ピンコロ体操	48,000	-
65	赤井	「いきいきクラブ」	120,000	-
66	赤井	下区ボランティアコスモス会	-	-
67	矢本東	あじさい会ふれあいサロン	-	-
68	大曲	横沼櫻木の会	102,500	-
69	赤井	南新町月曜サロン	-	12,500
70	小野	健康マージャン愛好会	-	-
71	矢本東	下町一自治会お茶っこ会	-	-
72	大曲	さくらホットサロン	-	-
73	赤井	川前集会所運営協議会	-	-
74	大塩	もみじ会	-	-
75	宮戸	お茶のみ友の会	-	-
76	赤井	柳北自治会生き生きライフクラブ	-	-
77	大塩	表百歳体操	72,000	-
78	赤井	お達者クラブ	-	-
79	矢本東	ひまわり会	72,000	-
80	大曲	レクダンス「ケ・セラ・セラ」	-	-
81	大曲	横沼ピンポン愛好会	-	-
82	矢本西	沢田いきいき 101 歳	120,000	-
83	矢本西	上小松いきいき会	96,000	-
84	赤井	すみれ会	72,000	-
85	小野	上下堤みんなでいきいき楽しむ会	96,000	-
86	矢本西	立華会	44,000	-
87	小野	根古ふれあいサロン	24,000	-

88	矢本東	楽楽会	-	-
89	野蒜	野蒜グランドゴルフ愛好会	-	48,000
90	野蒜	チーム室浜	-	-
91	矢本西	鹿妻若葉の会	120,000	-
92	矢本西	河戸自治会さわやかサロン	-	-
93	矢本東	四葉会	-	11,000
94	小野	往還上ゆったりクラブ	72,000	-
95	赤井	お茶っこ飲み会	-	-
96	小野	上寿会	96,000	-
97	矢本西	ほっとサークル	-	-
98	小野	高松いきいき体操	-	-
99	矢本東	下町二区五区自治会お茶っこ会	-	-
100	赤井	赤井楽園P G愛好会	-	-
101	矢本西	元気会	-	-
102	矢本西	フレッシュ百歳体操	48,000	-
103	野蒜	のびるカラオケ愛好会	-	36,000
104	小野	J Aいしのまき小野支部	-	-
105	大曲	五味倉楽笑会	-	-
106	小野	パドルテニス愛好会	-	24,000
107	大曲	年金東松島市パークゴルフ愛好会	-	-
108	赤井	令和パークゴルフ愛好会	-	31,250
109	赤井	南二区おもと会	35,000	-
110	大曲	大曲ゆったりクラブ	-	-
111	赤井	赤井フレンドリー	-	30,000
			56 団体 4,639,500	11 団体 267,250

#### ⑨自治協議会(福祉部会)や市民センターとの連携の推進

- ・地域自治組織等が、地域福祉事業を円滑に進められるよう助成を行い、地域福祉事業の推進にあたった。

助成先	実施事業	助成額
矢本東まちづくり協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お茶のみ交流</li> <li>・ウォーキングで地域を探検</li> <li>・健康体操</li> </ul>	70,000 円
矢本西コミュニティ協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康体操・健康推進講座</li> <li>・子育てふれあいサロン</li> <li>・ささえあい研修</li> </ul>	50,000 円
赤井地区自治協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域見守り事業</li> <li>・夏休みこども楽集塾</li> <li>・子ども漬物TRY塾</li> <li>・ココロのバリアフリーCooking</li> </ul>	70,000 円
大塩自治協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康まつり</li> </ul>	30,000 円

野蒜まちづくり協議会	・ 伝統芸能継承事業 ・ 心のコンサート ・ 寺子屋サロン ・ ほっとすっぺす	70,000 円
大曲まちづくり協議会	・ 地域住民健康増進等事業	16,000 円
合計		306,000 円

#### ⑩ノーマライゼーション普及事業の実施

- ・市内の小・中学校に在籍する特別支援学級の児童と保護者等が一堂に会し、施設見学や体験学習を通じて学校の枠を超えた交流の場を設けた。
- ・この取り組みを通じて、参加者同士の関わりを深めることができ、相互理解と信頼関係の構築が図られた。
- ・また、社会とのつながりを実感することで、参加者一人ひとりが何らかの気づきを得る機会となった。

日 付 8月21日 9時～14時

会 場 宮城県松島自然の家

内 容 クラフト体験、レクリエーション、ピザ焼き体験、バーベキュー、スイカ割り、パン食い競争

総参加人数 38名（小学生11名、中学生3名、保護者及び家族24名（15世帯））

スタッフ 14名（ボランティア8名、社協職員6名）

#### ⑪特別支援学級への学用品等支給事業

- ・児童生徒の学習支援の一環として、市内特別支援学級設置校と支援団体（あかしや会・しいのみ会・いちょうの会）が主催する行事に協賛し、学用品等の贈呈を行った。

※今年度もコロナ感染予防の観点から校区や学校ごとの開催となった

事業名	日付	支給内容
クリスマス学習会 ※矢本二中学区は合同クリスマス学習会	12月17日～ 12月20日	図書カード (87人)
卒業・進級を祝う会	令和8年 2月16日～ 2月27日	文具セット (進級65人) (卒業22人)

学校名	対象児童・生徒数
矢本東小学校	19
矢本西小学校	10
大塩小学校	3
大曲小学校	10
赤井小学校	3
赤井南小学校	7
宮野森小学校	4
鳴瀬桜華小学校	8
計	64

学校名	対象児童・生徒数
矢本第一中学校	14
矢本第二中学校	5
鳴瀬未来中学校	4
計	23
合計	87

## ⑫子ども・若者の居場所づくり支援事業

・分野横断的かつ包括的に支援する体制を推進するため、事業者間で連携した協働事業を行った。

### ア 放課後デイサービス紙風船との交流事業の実施

日付 11月28日  
 会場 レインボー紙風船  
 内容 スイートポテトづくり  
 参加者 利用者11名、スタッフ5名、社協職員2名

### イ 市教育支援センター（ひがまつBASE「くら」）との協働事業の実施

日付 令和8年2月4日  
 会場 ひがまつBASE「くら」  
 内容 ニュースポーツ体験、お楽しみ交流会  
 参加者 利用者9名、教育支援センター職員6名、ボランティア1名、卒業生1名、社協職員2名

## ⑬心のケア促進事業

被災者の孤立感の解消や地域内でのつながりづくり、生きがいを目的に実施した。

### ア 「心の復興コンサート」

日付：12月20日 会場：東松島市コミュニティセンター  
 参加者：来場者89人（災害公営住宅289世帯を対象）  
 出演者：「みやぎびっきの会」



### イ 金子美枝のフラワーアレンジメント教室

講師：フラワー装飾技能士1級 華創師 金子 美枝氏（横浜市在住）

日付		開催場所	参加者数	日付		開催場所	参加者数
7月	12日	赤井市民センター	9	11月	8日	大曲市民センター	7
	12日	地域福祉交流プラザ	12		8日	地域福祉交流プラザ	15
	13日	野蒜市民センター	17		9日	野蒜市民センター	20

合計 80



#### ⑭ 民生委員・児童委員の活動環境の整備と担い手の育成の支援

・民生委員児童委員協議会の事務支援を通じ、市や社協事業と連携した地域共生社会の実現に向けての取り組みを行った。

##### ア 東松島市民生委員児童委員協議会事務事業の支援

構 成	定数 85 人 / 現員数 民生委員 78 人、主任児童委員 3 人
会議の状況	定期総会：4 月 10 日 定例会毎月開催(毎月 10 日前後) 正副会長会議 (1 回) 役員会 (16 回)、児童専門部会 (4 回)、監査会 (1 回)
支援内容	①会議資料作成 ②報告文書等の作成と発送 ③会議運営支援 ④会計事務支援

#### ⑮ 福祉関係団体の連携・協働の推進

それぞれの福祉団体が目的達成に向けて、自立した活動ができるよう事務支援を行った。

##### ア 東松島市老人クラブ連合会

構 成	20 単位クラブ、会員数 471 人
会議の状況	総会：年 1 回、理事会：年 2 回、監査会：年 1 回
支援内容	①補助金の申請手続き(申請～実績報告)②会計処理③会の運営支援 ・シニアスポーツ大会、2 市 2 町交流会、パークゴルフ大会、移動研修会

##### イ 東松島市遺族会

構 成	会員数 150 人
会議の状況	代議員会(総会)：年 1 回 (5 月に代議員会開催) 正・副会長会議：年 2 回、理事会：年 2 回、監査会：年 1 回
支援内容	①補助金申請手続き②会費の一時預かり ③会議等の運営 ④護国神社参拝準備補助 ・令和 7 年度第 1 回理事会 5 月 16 日交流プラザにて開催 ・令和 7 年度代議員総会 5 月 30 日交流プラザにて開催 ・令和 7 年度東松島市遺族会追悼式 8 月 28 日菩提樹にて開催 ・宮城県護国神社昇殿参拝 10 月 30 日開催 ・令和 7 年度理事会 3 月 13 日交流プラザにて開催

##### ウ 東松島市身体障害者福祉協会

構 成	会員数 27 人
会議の状況	総会：年 1 回、役員会：年 4 回、三役会議：年 1 回
支援内容	①補助金の申請手続き(申請～実績報告)②会計補助③会議等の運営 ④各種行事の運営⑤会員研修事業の運営 ・令和 7 年度第 1 回役員会及び監査会 4 月 7 日交流プラザにて開催 ・令和 7 年度総会 4 月 25 日交流プラザにて開催 ・令和 7 年度第 2 回役員会 5 月 22 日 交流プラザにて開催 ・令和 7 年度移動研修会 6 月 24 日 陸前高田方面 21 名参加 ・令和 7 年度第 3 回役員会 9 月 29 日交流プラザにて開催 ・令和 7 年度室内ミニスポーツ大会・研修会 10 月 17 日交流プラザにて開催 16 名参加 ・令和 7 年度 2 市 1 町障がい者福祉協会スポーツ交流会 9 名参加

	女川町総合体育館にて開催 女川町身障協会主催 ・令和7年度役員移動研修会 11月11日 多賀城方面 5名参加 ・第4回役員会 2月13日交流プラザにて確認 ・令和7年度芋煮交流会 2月27日関ノ内地区センター 16人参加
--	---

#### エ 東松島市共同募金委員会

構成	委員数9人
会議の状況	配分委員会：年1回
支援内容	①事業運営全般 ②会計処理 ③募金活動(赤い羽根、歳末たすけあい、災害義援金) ④助成金の申請・配分

#### オ 社協・福祉関係団体長懇談会の開催

各団体間との調整不足により未実施。

(福祉関係団体) 東松島市民生委員児童委員協議会・東松島市老人クラブ連合会  
東松島市身体障害者福祉協会・東松島市遺族会

#### ⑯社福法人・社協連携による「地域における公益的な取組」の推進

- ・市内の社会福祉法人と社協が連携し、東松島市社会福祉法人連絡会を組織して、各法人施設での「福祉なんでも相談」窓口の開設、相談員のスキル向上に向けた研修会の開催、地域イベントでのPR活動等を通じ、社会福祉法第24条第2項に基づく「地域における公益的な取組」を推進した。
- ・令和7年度は、9法人施設での「福祉なんでも相談」窓口の運営に加え、ヒアリング訪問を通じて各窓口の状況や地域課題を把握し、今後の取組の方向性を整理した。
- ・各取組の詳細は、多機関協働事業「③福祉なんでも相談窓口事業」に記載のとおり。

#### ⑰情報発信力の強化

##### ア 広報誌「社協だより ふれあいねっと」の定期発行(全戸配布)

- ・地域福祉活動を啓発・促進させるため、12回(毎月)発行した。
- ・発行部数 15,600部/月

号数	発行日
第136号	令和7年4月1日
第137号	5月1日
第138号	6月1日
第139号	7月1日
第140号	8月1日
第141号	9月1日

号数	発行日
第142号	10月1日
第143号	11月1日
第144号	12月1日
第145号	令和8年1月1日
第146号	2月1日
第147号	3月1日

##### イ 東松島市社会福祉協議会ホームページ

- ・ホームページを活用し、各種研修会の参加募集やイベント情報等の発信を行った。  
(<http://www.hmfukushi.jp/>)

##### ウ 情報保障に配慮した情報発信の試行

- ・誰もが必要な情報を得られるようにする情報保障の観点から、社協だよりの記事を音声化する取組を試験的に行った。

- ・視覚障害のある方や高齢者など、文字情報だけでは情報を得にくい方にも必要な情報を届けるため、主な記事を選定し、音声付き動画として配信する方法を検証した。
- ・令和7年度は、音声付き動画を試作し、内部での確認用として限定公開（一般非公開）で運用しながら、今後の配信方法や確認体制の整理を進めた。

## ⑱災害時福祉支援体制の整備

東松島市総合防災訓練への参加（6月15日）

- ・災害ボランティアセンター設置・運営訓練  
災害ボランティアセンターの中核拠点となる地域福祉交流プラザを会場にボランティアの導線（受付から送り出しまで）を確認した。
- ・福祉避難所設置訓練・運営訓練  
老人福祉センターにおいて、福祉避難所の役割や感染対策など職員間で確認した後、簡易ベッド、避難所用テントの設置、避難者の受入訓練を行った。
- ・その他  
職員参集訓練、職員安否情報送信訓練（マイクロソフトフォーム）、市災害対策本部参加訓練等を行った。

## ⑲地域福祉推進大会の開催

ア 実施内容

東松島市社会福祉協議会は、令和7年度に創立20周年を迎えました。

この記念すべき年に開催する本大会は、これまでの歩みを振り返り、長年にわたり地域福祉に貢献された方々の功績を称えるとともに、市民の皆様とこれからの地域福祉のあり方を考える新たな一歩とするものです。本大会を通じて、誰もが安心して暮らせる「地域共生社会」の実現に向けた機運を高めることを目指し開催しました。

日付 10月29日 13時30分～

場所 東松島市コミュニティセンター

内容 第1部 東松島市社会福祉功労者表彰式「表彰状及び感謝状の贈呈」

第2部 記念公演 鹿嶋静コンサート

イ 令和7年度 東松島市地域福祉推進大会受賞者(敬称略)

表彰状受賞者

(ア) 社会福祉活動の奉仕者でその功績顕著な者

《東松島市社会福祉協議会支部推薦(25人)》

鏑木ツルヨ(大溜地区)、津田和範(あおい三丁目地区)、高橋豊(あおい三丁目地区)、松下みち子(河戸)、小林咲衣(河戸)、佐藤丈夫(二反走)、日野智宏(二反走)、竹内義子(二反走)、木村秀子(手招)、五十嵐陽子(五味倉地区)、西片フミイ(五味倉地区)、吉田日出子(大曲地区)、柳澤まゆみ(大曲地区)、菅原光子(大曲地区)、今野和正(南新町)、伊藤博(南新町)、及川八千代(根古地区)、安積貞子(根古地区)、相澤昭子(根古地区)、大山智恵子(上下堤地区)、土井栄子(上下堤地区)、伊藤清(上下堤地区)、伊藤信子(往還地区)、大山さだみ(大塚)、石垣久子(大塚)

《ボランティア団体・百歳体操推薦(51人)》

竹内妙子(赤十字奉仕団東松島市さくら会)、佐藤たみゑ(三味線将大会)、志田喜美子(G・うさぎ)、平塚由美子(ミッフィークラブ)、菅原みよ子(ボランティア優遊)、藤田たき子(矢本・鼓和の会)、中澤茂(宮城いきいきこでまり会)、浅野和久(NPO法人いろどり・みんなのみち)、土井悦子(東松島市レクリエーション協会)、稲垣さつ子(民謡はまなす会)、柴田幸子(東松島市点訳サークル)、及川義行(大鷹会)、邊見建治(塩

入シニアの会)、佐々木美恵子(「東松島市いきいき百歳体操」サポータークラブ虹)、佐藤京子(下町べっぴん百歳体操)、大場タマエ(新道町内会自治会)、川村惣一(南三区なごみ会)、木村信子(浅井百歳体操会)、鈴木千賀子(あいサロン)、日下とし子(チーム楽楽)、前田じゅん子(百歳体操よつばの会)、津田てつ子(作田浦自治会「いきいき百歳体操」)、中村ミヤコ(105ピンピン体操の会)、千葉広子(チーム室浜)、櫻井恵美子(はばたけ百歳体操)、小野たみ子(にっこり百歳体操サークル)、後藤純子(南区和幸会百歳体操の会)、鈴木榮美子(スマイル元気会)、岩井みゑ子(鹿妻若葉の会)、橋本和夫(なんだ坂こんな坂サークル)、渡部榮子(悠悠クラブ)、武田令子(西福田地区こまち)、阿部和志(なごみ百歳体操)、相澤テフ子(カトレア会)、大崎妙子(裏沢いきいきほっとサロン)、新田かづ子(さくらんぼ会)、佐々木豊(あったかサロン・シオイリ)、高橋きみゑ(上百若の会)、半澤十郎(ひよこクラブ)、高階悦子(下町一ふわふわ会)、津花昭二(南新町自治会いきいきクラブ)、伊藤あや子(生き生きライフクラブ)、芳賀美知雄(横沼櫻木の会)、佐藤悦郎(表百歳体操)、渡邊りきゑ(大溜なのはなクラブ)、佐藤かつえ(ひまわり会)、横山憲子(沢田いきいき 101 歳)、河村久美子(立華会)、丹野信子(上下堤みんなできいきき楽しむ会)、泉田博子(上小松いきいき会)、吉木なを子(根古ふれあいサロン)

(イ) 社会福祉施設、社会福祉団体等の役職員でその功績顕著な者

《社会福祉施設・事業所の役職員(7人)》

菅原幸治、小野秋夫、大山道保(社協支部長)、小野竹一(社協役員)、眞籠孝史、及川貴之(社協職員)、木村智春(柵野蒜ケアサービスデイサービス和花)

感謝状受賞者

(ウ) 社会福祉事業に対し、金品の寄贈または労力の奉仕者でその功績顕著な者

《特別会員(9社)》

石巻商工信用組合矢本支店、株式会社佐藤商店、いしのまき農業協同組合、ジュリアン、株式会社千石建設、高橋土建株式会社、東松島市商工会、一般社団法人東松島みらいとし機構、株式会社美德

以上、表彰状受賞(個人・団体)…83人 感謝状受賞(個人・団体)…9社

## ㊦レクリエーション活動普及促進事業

- ・レクリエーション用具の使用方法的研修会を実施した。延べ166人が参加し、6種目を体験していただいた。

日付 6月4日 場所 大曲大曲地区体育館 人数 78人  
 研修内容 実技 ボッチャ、カローリング、玉入れ、パン食い競争

日付 令和8年1月30日 場所 矢本東市民センター 人数 88人  
 研修内容：実技 フープディスゲッター、ユニホック、リングキャッチ



- ・地域交流サロンへのレクリエーション用具の貸出（保有数：70種類）  
レクリエーション用具の使用法の研修会を通して、自主的に活動が行われた。  
人気の用具は、輪投げ、サイコロルーレット、モルック、釣りっこが人気で年間144件の貸出を行った。

（月別の貸出件数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
10	8	12	15	13	12	13	14	11	11	16	9	144

## ㊤福祉教育の推進

- ・社会福祉援助技術実習生の受入れや小学校での福祉に関する講話などを実施した。  
実施に際し、一部小学校区にある社会福祉法人と連携し協働で開催。

### ア 実習生の受入れ

受入れ期間：6月30日～8月1日

在学学校名：東北福祉大学 1名 / 東北文化学園大学 1名

内容：ソーシャルワーク実習Ⅱ（24日間）

### イ 小学校での福祉に関する講話

日付	場所	学年	内容
4月22日	矢本西小	4学年	キャップハンディ体験
7月14日			視覚障害に関する講話（点字学習）
11月5日			災害時福祉「避難所運営ゲーム」
6月12日	矢本東小	3学年	「福祉についての学習」たすけあいカードゲーム
7月14日			キャップハンディ体験
9月24日			視覚障害に関する講話（点字学習）
1月20日			災害時福祉「避難所運営ゲーム」
7月8日	赤井南小	3学年	キャップハンディ体験
9月3日			視覚障害に関する講話（点字学習）
12月9日	赤井小	4学年	キャップハンディ体験
12月11日	大曲小	4学年	介護体験授業（キャップハンディ体験）
2月18日	鳴瀬桜華小	3学年	キャップハンディ体験



## ②総合的学習支援事業

・家庭や学校外での地域資源を活用した体験学習を通じ、自分たちの暮らしの中にある地域との結びつきを感じてもらおう活動に対し、共同募金配分金を活用して、助成した。

(助成上限額 1 校 40,000 円)

助成先	助成額	事業概要
矢本東小学校	40,000 円	4 年生 レッツゴーやもとうまいもの探検隊 5 年生 みんなの町 東松島
大曲小学校	40,000 円	3 年生 東松島うまいもの探検隊 4 年生 東松島名人になろう
大塩小学校	40,000 円	3 年生 大豆の達人 5 年生 宇宙おいしい米づくり
矢本西小学校	40,000 円	3 年生 すてきいっぱい東松島市 4 年生 みんなにやさしい東松島市
赤井小学校	40,000 円	3 年生 発見!私たちの町 4 年生 つくろう!私たちの町
赤井南小学校	40,000 円	4・5 年生 南小伝統の太鼓を学ぼう 5 年生 米作りをマスターしよう
鳴瀬桜華小学校	40,000 円	4 年生 シナイモツゴを育てよう 5 年生 東松島の食 大発見!
宮野森小学校	40,000 円	6 年生 震災と復興の森について伝えよう 3・4 年生 ふるさとの森や海に親しもう
矢本第一中学校	40,000 円	2 年生 職場体験学習
矢本第二中学校	40,000 円	2 年生 職場体験学習
鳴瀬未来中学校	40,000 円	2 年生 職場体験学習
合計	440,000 円	

## ③火災見舞金支給事業の実施

・住宅火災に見舞われた世帯に対し、本会規程による見舞金を支給した。

5/26 火災見舞 全焼 1 件 (河戸地区 1 棟 1 世帯)

11/16 火災見舞 半焼 3 件 (河戸地区 1 棟 3 世帯)

・連携先の市内企業から生活家電の無償提供を頂いた。

## ④合併 20 周年の東松島市社協のあゆみの継承

・創立 20 周年記念誌

合併 20 周年を迎え、これまで本会が取り組んできた地域福祉活動や、東日本大震災後の被災者支援から地域福祉への展開の記録を次世代に伝えるとともに、社協に対する住民理解の促進と組織内での経験の継承を図るため、10 月に「創立 20 周年記念誌 社協 20 年のあゆみ 2005～2025 ささえあい これからも」を発行した。

・記念動画「映像でみる 20 年の歩み」の制作・上映

創立 20 周年記念企画として、記念動画「映像でみる 20 年の歩み」を制作し、地域福祉推進大会において上映した。映像を通じて来場者とともに本会のこれまでの軌跡を振り返った。

## ㊥被災者支援事業から包括的な支援体制への移行準備事業

東日本大震災の第2期復興・創生期間終了と地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の構築を目指し、組織横断の推進体制により「被災者サポートセンター事業終結に向けた被災者支援事業から包括的な支援体制への移行プロセス」を策定し、相談支援チームと地域づくりチームに分かれ、世帯アセスメント（災害公営住宅 291 世帯）や地域アセスメントを実施した。高齢独居世帯、医療や福祉関係機関につながっている世帯など、自立した在宅生活はできているが、今後も見守りや相談支援の継続が必要と思われる世帯（122 世帯）を抽出し、令和8年度の新規事業となる高齢者等見守り・相談支援事業に引き継ぐことにした。

### (3)生活支援体制整備事業（東松島市からの受託）

#### ①支援ニーズの把握・可視化

・地域支え合い体制の構築のため、第1層に1人、第2層に3人(内、1人は第1層と兼務)の生活支援コーディネーターを配置し、地域への訪問を通じて支援ニーズの把握に努めた。支援ニーズは地域包括支援センター等の専門機関につなぐなど、専門機関と連携し対応した。また、地域の支援ニーズを可視化するため、9月と3月に地域アセスメントシートを作成した。

#### ②地域資源の把握・可視化

・地域支え合い体制の構築のため、第1層に1人、第2層に3人(内、1人は第1層と兼務)の生活支援コーディネーターを配置し、地域資源の把握やお茶会等集いの場の立上げ、地域での見守り活動等の支援を行った。また、地域資源を可視化するため、9月と3月に地域アセスメントシートを作成した。

生活支援コーディネーターの活動状況

ア 市全域での活動件数

活動内容	件数
総合調整・活動支援(多機関との調整や第1層及び第2層間の調整、団体等への活動支援)	56
研修会の開催(フォーラムや支え合いに関する研修会)	18
ネットワークの構築(関係機関との情報交換会や他機関との連携を図ったもの)	57
広域的な業務(他市町村との連携や情報交換会)	48
定例会議(市役所との生活支援体制整備事業定例会議)	12
会議等への出席(地域ケア会議や他の地域包括ケアに関連する会議への出席)	75
協議体の運営(第1層協議体(地域支え合い推進委員会)運営及び運営に係る調整)	18
アセスメント・分析(市内の地域資源に関する収集した情報のアセスメント及び分析)	6
その他(研修会への参加等)	7
合計	297

## イ 地域活動圏域の活動件数

(単位 件)

地域活動圏域 活動種別	赤井	大曲	矢本東	矢本西	大塩	小野	野蒜	宮戸	合計
地域資源の把握	66	79	93	64	30	112	132	43	619
生活支援ニーズの把握	42	42	70	48	16	75	99	37	429
支援対象者の把握	44	45	70	46	17	81	76	17	396
ネットワーク構築	98	103	63	50	46	70	121	41	592
マッチング	5	1	13	17	2	5	5	1	49
サービス創出	4	2	1	2	2	2	3	1	17
関係機関調整	17	18	60	45	14	14	26	6	200
連携・連動	69	75	80	68	37	68	71	18	486
会議出席	8	14	12	10	5	12	13	4	78
協議体運営	14	9	13	4	2	14	21	13	90
アセスメント・分析	2	2	10	18	2	2	2	2	40
相談対応	6	3	31	28	7	1	2	2	80
その他(研修会への参加等)	1	2	2	1	0	0	0	0	6
合計	376	395	518	401	180	456	571	185	3,082

## ウ 生活支援体制整備事業に係る市担当課との連携(定例会議の開催)

回数	日付	内容
第1回	4月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度までの体制整備事業の実施状況について</li> <li>令和7年度の生活支援体制整備事業計画について</li> <li>今年度の生活支援体制整備事業の進め方について</li> </ul>
第2回	5月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活支援体制整備事業第1層部会の進め方について</li> <li>生活支援・介護予防サービス検討部会の運営について</li> </ul>
第3回	10月7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活支援体制整備事業第1層部会の進め方について</li> <li>ボランティアポイント部会の運営について</li> <li>第1層・第2層連携事業(研修会)について</li> </ul>
第4回	12月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1層の部会の状況について</li> <li>生活支援体制整備事業次年度の方向性について</li> </ul>
第5回	令和8年 3月4日	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活支援体制整備事業の進捗状況について</li> <li>東松島市地域支え合い推進委員会について</li> <li>今後の生活支援体制整備事業の取り組みについて</li> </ul>

・その他、部会の開催時及び協議体開催時など随時市の担当職員と連絡調整を行った。

## ③第1層協議体及び第2層協議体の運営及び連携

## ア 第1層協議体の運営

・東松島市生活支援体制整備事業実施要綱に基づき、東松島市地域支え合い推進委員会(第1層協議体)の運営。今年度介護予防ボランティアポイント検討部会と生活支援・介護予防サービス検討部会の2部会の運営を実施した。

(ア) 東松島市地域支え合い推進委員会(第1層協議体)の開催

・地域支え合い推進委員会(第1層)

日付	内容	出席者
令和8年 3月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東松島市生活支援体制整備事業実施状況について</li> <li>・令和8年度生活支援体制整備事業の方向性について</li> <li>・第1層部会の統合と今後の進め方について</li> </ul>	委員12人 事務局8人

・介護予防ボランティアポイント検討部会

日付	内容	出席者
10月30日	第15回 介護予防ボランティアポイント検討部会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回部会の振り返り及び部会後の状況報告</li> <li>・介護予防ボランティアポイントの今後について</li> <li>・今後の進め方について</li> </ul>	部会員5人 事務局4人
令和8年 2月9日	第16回 介護予防ボランティアポイント検討部会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回部会の振り返り</li> <li>・生活支援・介護予防サービス検討部会の状況報告</li> <li>・今後の進め方について</li> </ul>	部会員5人 事務局6人

・生活支援-介護予防サービス検討部会

日付	内容	出席者
令和8年 2月2日	第12回 生活支援・介護予防サービス検討部会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回までの部会の振り返り及び今年度の状況報告</li> <li>・部会の今後の進め方について</li> </ul>	部会員5人 事務局4人

(イ) 啓発事業の実施

- ・市内で生活支援体制整備事業を進めるにあたり、自治会圏域での地域支え合い会議(第3層)の開催を推進するため、地域支え合い会議に関するチラシを作成し、社協支部長会議や第2層協議体などで啓発した。
- ・第1層、第2層の連携事業として、協議体のメンバー対象の住民主体の生活支援研修会を10月20日に開催した。

(ウ) その他

- ・社協だより「ふれあいねっと」にて地域のサロン紹介や、協議体の活動紹介を行い体制整備事業の啓発に努めた。

イ 第2層協議体の運営・連携

- ・市内地域活動圏域(8自治協エリア)において、協議体運営に向けた支援に取り組んだ。

【赤井地域】

- ・赤井地域第2層協議体(協議体名称:おせっかい)会議を年5回開催し、赤井地域における地域課題について情報交換を実施した。また、「ほんわかつながりづくり」研修会を福祉部会と合同で開催し、赤井地区での見守りについて啓発した。

【大曲地域】

- ・大曲地域第2層協議体の活動について見直しを行い、大曲まちづくり協議会と連携した協議体のあり方について検討した。また、自治会ごとの地域活動の状況について情報交換を実施した。年12回開催。

【大塩地域】

- ・大塩地区民生委員の情報交換会を通じて、大塩地域における地域課題について情報交換を実施した。

【矢本東地域】

- ・矢本東地区民生委員情報交換において、地域課題に関する情報交換を実施した。また、民生委員の活動について情報交換を実施した。

【矢本西地域】

- ・矢本西地区民生委員の情報交換を通じて、矢本西地域における地域課題について情報交換を実施した。

【小野地域】

- ・小野地区民生委員の情報交換を通じて、小野地域における地域課題について情報交換を実施した。また、西部地域包括支援センターが主催の小野地区地域ケア会議へ参加し情報交換を実施した。

【野蒜地域】

- ・野蒜地区民生委員の情報交換を通じて、野蒜地域における地域課題について情報交換を実施した。

【宮戸地域】

- ・宮戸地区民生委員の情報交換を通じて、宮戸地域における地域課題について情報交換を実施した。



【全地域共通】

- ・サロン活動への訪問を通じて、地域支え合い活動の把握とキーパーソンとの関係づくりを実施した。
- ・地域生活課題の把握のため、自治会圏域(第3層)における地域支え合い会議を推進し、今年度は新規4地域で会議を開催、地域支え合い会議の開催エリアが56地域となった。

生活支援体制整備事業推進協力金の交付(6地域 合計1,460,000円)

地域	交付額
赤井地域	300,000円
大曲地域	240,000円
矢本東地域	300,000円
大塩地域	210,000円
野蒜地域	210,000円
宮戸地域	200,000円
合計	1,460,000円

#### ④地域支え合い会議の推進

身近な圏域での地域福祉活動を推進するため、自治会や行政区圏域の地縁組織を単位とした話し合いの場づくりと住民主体の福祉活動の推進に取り組んだ。また、自治会等での地域生活課題を共有する会議に参加した。自治会長、民生委員、社協CSW、相談支援包括化推進員、各地区の地域包括支援センター職員などが参加した。

・地域支え合い会議開設数（56カ所（うち令和7年度4カ所新設））

- ① 赤井地区 8地区(上区、中区、下区、南西(よりそいの会)、南三区、赤井駅前、南新町、柳区)
- ② 大曲地区 8地区(大曲、五味倉、横沼、上納、筒場、貝殻塚一、貝殻塚二、貝田)
- ③ 矢本東地区 10地区(関の内西、関の内三、作田浦(楽楽会)、谷地、下小松、あおい地区(見守り部会)、下町四、下浦、下町二区・五区、大溜)
- ④ 矢本西地区 6地区(河戸、上河戸一、上河戸三、上河戸四、二反走、三角公園)
- ⑤ 大塩地区 4地区(塩入支え合い会議、塩入シニアの会、小分木・大島、小松台)
- ⑥ 小野地区 9地区(小野上、新道町内会、川下、往還上、往還下、平岡、根古、上下堤、高松)
- ⑦ 野蒜地区 8地区(亀岡、東名、野蒜ケ丘一丁目、野蒜ケ丘二丁目、大塚、中下、野蒜ケ丘三、浅井)
- ⑧ 宮戸地区 3地区(里浜、月浜・大浜、室浜)

#### ⑤不足するサービスの整理と創出・高齢者の活躍する場の確保と創出

東松島市生活支援体制整備事業実施要綱に基づき、東松島市地域支え合い推進委員会(第1層協議体)の運営。今年度介護予防ボランティアポイント検討部会と生活支援・介護予防サービス検討部会の2部会の運営を通じて協議した。

#### (4)地域介護予防事業（東松島市からの受託）

##### ①介護予防把握事業

ア いきいき百歳体操実施サークルの登録状況及び活動状況

- ・登録団体 71団体 会員数 約1,400人
- ・啓発チラシの作成・配布や他の好事例を紹介するなど、住民同士の「つながり」を絶やさないよう支援を継続し、百歳体操からの広がりとして、参加者同志での見守りの観点から“チームオレンジ”として認知症の方々の見守り支援につなげている
- ・6月11日、美里町大口地区の百歳体操の方々との交流事業を実施  
「とてもいい刺激になりました」「活動している場所は違えども、これからも頑張れそう」との感想がよせられました。



- ・8月4日～8日、東北文化学園大学理学療法専攻3年の生徒65人が、同大学の事業である「地域理学療法セミナー」の体験実習のため、いきいき百歳体操実施サークルの活動に参加した。



#### イ いきいき百歳体操登録団体一覧

	地区	サークル名	開催日	開催場所
1	下町	下町べっぴん百歳体操	火・金	下町地区センター
2	川下	川下地区百歳体操	木	川下地区センター
3	南新町	ニコニコサロン	木	南区新町地区センター
4	小野下	新道町内会自治会	火	小野下地区センター
5	あおい2	あおい元気サークル	火	あおい二丁目地区センター
6	下小松	下小松地区健康体操	火	下小松地区センター
7	南三区	南三区なごみ会	木	川前集会所
8	浅井	浅井百歳体操会	火	浅井地区センター
9	大溜	あいサロン	水	大溜地区センター
10	小野上	遊楽楽会	木	小野上地区センター
11	上納	ヘルシーカフェあがらいいん茶屋	金	上納地区センター
12	里浜	里浜げんきクラブ	月	里浜地区センター
13	柳区	なないろの会	木	柳の目西住宅集会所
14	平岡	はつらつシニア百歳体操	火	平岡地区センター
15	往還下	しゃんしゃんとクラブ	火	小野駅前東集会所
16	亀岡	チーム楽・楽・楽	木	亀岡地区センター
17	小松南	爺・婆まけん隊	月	小松南住宅集会所
18	貝田	百歳体操よつばの会	火	大曲地区センター
19	作田浦	作田浦自治会	月	矢本東市民センター
20	南五	105ピンピン体操の会	木	南区西地区センター
21	中下	いきいきちよっこら会	木	中下地区センター
22	赤井駅前	川前サルビア会	金	川前集会所
23	三角公園	いきいき三燦会	水	上町西地区センター
24	柳西	柳西区はまなす会	月	川前集会所
25	室浜	チーム室浜	木	室浜地区センター
26	関の内	はばたけ百歳体操	金	関の内地区センター
27	二反走	にっこり百歳体操	金	二反走地区センター
28	南区	南区和幸会百歳体操の会	月	南区西地区センター
29	野蒜ヶ丘3	スマイル元気会	水	野蒜ヶ丘西部集会所
30	前里	前里百歳体操	月	前里地区センター
31	東名	東名地区あざみの会	木	東名地区ふれあいセンター

32	大浜台	ほっこり常楽会	金	大浜地区センター
33	大塚	かたくり会	火	大塚地区センター
34	鹿妻	鹿妻若葉の会	金	鹿妻地区センター
35	小松台	なんだ坂こんな坂サークル	木	小松台地区センター
36	野蒜ヶ丘2	いきいき会	月	野蒜ヶ丘中央集会所
37	四反走	悠悠クラブ	火	四反走地区センター
38	西福田	西福田地区こまち	金	西福田下地区センター
39	あおい3	なごみ百歳体操	金	あおい三丁目地区センター
40	上町東	カトレア会	金	上町東地区センター
41	裏沢	裏沢いきいきほっとサロン	水	裏沢地区センター
42	中区	さくらんぼ会	金	中区地区センター
43	塩入	あったかサロン・シオイリ	水	塩入地区センター
44	野蒜ヶ丘1	シャンシャン会	月	野蒜市民センター
45	上河戸若葉	上若百の会	木	上河戸地区センター
46	上河戸一	ひよこクラブ	火	河戸地区センター
47	大塩中	大塩スマイル	火	大塩市民センター
48	下町一	下町一ふわふわ会	金	南浦地区センター
49	大島	大島地区健康体操	木	大島地区センター
50	南新町	いきいきクラブ	水・金	南区新町地区センター
51	谷地	谷地区自治会お茶サロン谷地	水	谷地地区センター
52	月浜	月浜ピンコロ体操	火	月浜地区センター
53	柳北	生き生きライフクラブ	水	柳北区地区センター
54	横沼	横沼櫻木の会	月	横沼地区センター
55	下区	すみれ会	金	下区地区センター
56	表	表百歳体操	月	表地区センター
57	東大溜	大溜なのはなクラブ	火	大溜地区センター
58	上町東	ひまわり会	火	上町東地区センター
59	沢田	沢田いきいき101歳	火	沢田地区センター
60	立沼	立華会	月	立沼地区センター
61	上下堤	上下堤みんなできいきき楽しむ会	金	上下堤地区センター
62	上小松	上小松いきいき会	金	上小松地区センター
63	根古	根古ふれあいサロン	木	根古地区センター
64	往還上	往還上ゆったりクラブ	水	小野駅前南集会所
65	往還	上寿会	水	往還地区センター
66	高松	高松いきいき体操	月	高松地区センター
67	道地	フレッシュ百歳体操	水	道地地区センター
68	五味倉	五味倉楽笑会	月	五味倉地区センター
69	小野	J Aいしのまき小野支部	木	小野地区センター
70	南二	南二区おもと会	金	南区西地区センター
71	大曲	大曲ゆったりクラブ	木	大曲地区センター

## ②介護予防普及啓発事業

ア 第8回 東松島市「いきいき百歳体操」交流大会実施

日付 11月19日 13時30分～

場所 東松島市コミュニティセンター

参加者 300人

・88歳以上のご長寿参加者に「奨励賞」の授与 受賞者81人

・記念講演

講師 臨床心理士 公認心理師 浅見 大紀 氏

演題 「認知症の予防はもうやめましょう！」

## ③地域介護予防活動支援事業

ア いきいき百歳体操代表者会議の開催

(ア) 第1回いきいき百歳体操代表者会議

日付 7月23日 13時30分～

場所 東松島市コミュニティセンター

参加者 110人

<報告事項>

- ・ふれあいサロン活動助成金申請団体の状況について
- ・百歳体操活動中における市民活動補償制度について
- ・東松島市「いきいき百歳体操」交流大会の開催について
- ・東松島市地域福祉推進大会における被表彰者の推薦方について
- ・下半期「こころと体に得するお話」について
- ・戸籍のフリガナについて
- ・高齢者のための熱中症対策について
- ・東松島市健康21計画（第3次）の概要について

<健康セミナー>

- ・人生会議（ACP）してみませんか？

(イ) 第2回いきいき百歳体操代表者会議

日付 令和8年2月4日 13時30分～

場所 東松島市コミュニティセンター

参加者 114人

<報告事項>

- ・「ふれあいサロン活動」助成金の実績報告書の提出について
- ・「ふれあいサロン活動」助成金の交付申請書の提出について
- ・東松島市市民活動補償制度について
- ・レクリエーション活動職員派遣、用具の貸出について
- ・「こころと体に得するお話」出前講座の講師派遣について
- ・健康推進課からお知らせ

<健康セミナー>

- ・雪印メグミルク ～骨カルシウムセミナー～

#### イ 地域交流サロン運営支援

- ・職員、レクリエーション協会等スタッフの派遣(レクリエーション等活動支援)を 53 団体へ 220 回行った。

(地域交流サロンの運営支援(内訳))

時期	回数	参加者数	時期	回数	参加者数
4 月	回	人	10 月	23 回	338 人
5 月	2 回	30 人	11 月	27 回	321 人
6 月	25 回	349 人	12 月	16 回	236 人
7 月	24 回	340 人	1 月	17 回	219 人
8 月	14 回	185 人	2 月	27 回	372 人
9 月	25 回	337 人	3 月	20 回	273 人
合計			220 回 3,000 人		

- ・いきいき百歳体操の体力測定支援(職員及びサポータークラブ「虹」の活動数)

時期	回数	職員	サポ	時期	回数	職員	サポ
4 月	11 回	21	9	10 月	14 回	14	18
5 月	13 回	24	12	11 月	10 回	10	17
6 月	14 回	15	21	12 月	17 回	17	25
7 月	15 回	19	23	1 月	14 回	14	22
8 月	9 回	9	16	2 月	8 回	8	12
9 月	10 回	12	11	3 月	8 回	9	10
合計				143 回 172 196			

#### ウ ふれあいサロン活動助成金の交付(再掲)

- ・地域の身近な場所で住民が自主的・主体的に活動を行う「ふれあいサロン」活動団体の把握と活動団体の事業運営に対して助成金を交付し、小地域での福祉活動の活性化を図った。

#### ④一般介護予防評価事業

- ・東北文化学園大学医療福祉学部リハビリテーション学科理学療法学専攻の鈴木誠教授の指導のもと、体力測定の種目を変更した(変更後:握力、5回椅子立ち上がり、2ステップ)。また、同大学が実施する自覚的効果(「人生全体の満足度」、「心理的安定」、「老いについての評価」)に関するアンケートに協力し、百歳体操会員のデータ収集等にあたった。
- ・東北医科薬科大学医学部医療管理学伊藤教授が実施する予定である「百歳体操の効果を見る化するためのアンケート」の調査項目内容について意見交換した。

## (5) 共同募金事業(共同募金配分金による事業)

### ①東松島市共同募金委員会の運営

- ・委員会の事務局を担うとともに、共同募金運動の啓発と地域の福祉活動を推進するための民間資金の確保に努めた。

東松島市共同募金委員会（再掲）

構成	委員数 9 人
会議の状況	配分委員会：年 1 回
支援内容	①事業運営全般 ②会計処理 ③募金活動(赤い羽根、歳末たすけあい、災害義援金) ④助成金の申請・配分

ア 赤い羽根共同募金実績…総額 4,675,663 円(前年総額 4,594,029 円・前年比 101.7%)

戸別募金	法人募金	学校募金	職域募金	イベント募金	個人募金	その他
4,041,940 円	0 円	41,592 円	93,513 円	492,733 円	0 円	5,885 円

イ 航空祭における赤い羽根共同募金運動の PR 活動

- ・ 8 月 31 日に開催された松島基地航空祭において、宮城県共同募金会と合同で赤い羽根共同募金運動の PR 活動及び募金の呼びかけを行った。
- ・ 基地内の特設ブースで共同募金の仕組みや寄付金の活用先を周知し、募金に協力いただいた方へ航空祭限定のクリアファイルを配布した。
- ・ 当日は来場者から 490,732 円の募金が寄せられた。

### ②共同募金一般配分事業の実施

- ・共同募金の配分金を活用し、募金運動の啓発と地域において福祉活動を展開している民間福祉団体等への財政支援を行った。

ア 市町村募金按分処理に係る配分事業

障害児・者福祉活動	・活動支援団体への助成金配分 30,000 円×6 団体 (身体障害者福祉協会、視覚障害者福祉協会、ぎんの星、共生園、てあわせ表現東松島、一般社団法人くるり)
児童・青少年福祉活動	・市内小中学校児童への啓発運動 赤い羽根ポスターコンクール 児童生徒 20 人応募 ・支援団体に対する助成金の配分 30,000 円×1 団体(大塩みんなの家)
福祉育成・援助活動	・総合的学習支援助成事業 40,000 円×11 校 (小学校 8 校、中学校 3 校)
ボランティア活動育成事業	・ボランティア登録団体助成事業 28 団体

### ③災害義援金の募金活動

ア 募金実績

募金の目的	募金の送付先	送金額
令和 6 年能登半島地震災害義援金	中央共同募金会	36,974 円

#### ④歳末たすけあい配分事業の実施

- ・関係機関や関係団体の協力のもと募金活動を展開し、新たな年を迎える時期に支援を必要とする対象者(団体)に対し、見舞金として支給した。

ア 歳末たすけあい募金実績…総額 350,000 円

戸別募金	街頭募金	学校募金	職域募金	イベント募金	個人募金	その他
37,039 円	6,197 円	14,174 円	33,186 円	174,967 円	40,000 円	44,437 円

イ 「道の駅 東松島」における街頭募金活動

- ・12月9日、三陸道の駅「東松島」において、歳末たすけあい運動の街頭募金を行った。ボランティアと社協職員が来場者に協力を呼びかけ、6,197 円の募金が寄せられた。

ウ 歳末たすけあい募金配分委員会の開催

- ・日付 12月18日 ・場所 地域福祉交流プラザ 多目的ホール
- ・配分先の決定 下記のとおり決定した。

配分先	配分額	
生活に課題のある世帯	25 世帯 43 人	歳末見舞金 ・独居世帯 10,000 円 ・2人以上世帯 15,000 円
特別支援学級支援団体	3 団体	あかしや会、しいのみ会、いちょうの会 各 10,000 円

#### (6) ボランティアセンター事業

##### ①地域福祉・ボランティア活動へのきっかけづくり

ア ボランティア講座の開催

- ・近年多発する自然災害に対する災害ボランティアセンターの役割及び被災地での災害ボランティア活動の心構えや基本的な知識、また、普段の地域福祉活動との関わりについて学ぶ災害ボランティア講座を開催した。

日付 12月6日 場所 地域福祉交流プラザ

内容 災害ボランティア講座

講師 一般社団法人「BIGUP 石巻」阿部由紀代表理事 参加者：11人

##### ②ボランティア・市民活動センター機能の充実

ア ボランティアセンター登録状況

- ・個人ボランティア 34 人(前年度比 7 人増)
- ・ボランティア団体

団体の種類	登録団体数	会員数
高齢者支援団体	8	127
高齢者支援(芸能団体)	14	115
学習支援団体	7	58
子ども・障害者支援団体	4	54
スポーツ支援団体	1	13
その他	10	58
合計	45	450

イ 登録団体一覧

	団体名(会員数)	ボランティア活動内容	助成実績
1	やよい会(14)	地区の高齢者と花見、紅葉りんご狩り、調理・サロン	20,000円
2	赤十字奉仕団東松島市さくら会(36)	施設ボラ・サロン・メンタルヘルスケア・高齢者とお花見、温泉旅行、矢本西小へ花壇の手入れ、機能訓練OB会、黄色いレシート	20,000円
3	ジョークボランティア(11)	高齢者とお茶のみ会・敬老会・お達者クラブ	20,000円
4	下区ボランティアコスモス会(12)	高齢者との花見、菊見会、脳活性化教室・敬老会	20,000円
5	ボランティア「優遊」(14)	施設訪問(うた、おはなし、手遊び)	20,000円
6	笑母クラブ(5)	地域の高齢者支援・サロン調理ボラ	20,000円
7	みんなんちクラブ(7)	地域(主に牛網地区)でのサロン活動や健康講座・体操の開催	
8	塩入シニアの会(28)【新規】	地区の環境向上、住みやすい地域づくりに資する活動	20,000円
9	月観会(5)	戸外事業(遠足)・社会行事(クリスマス)・会食・芸能・ゲーム・給食・交流レク	
10	フラダンス愛好会 アワプヒ(休止)	フラダンス・施設訪問	
11	矢本民謡桃香会(10)	サロン民謡、三味線、尺八、太鼓、鉦、おはやし・舞台・祭り・施設訪問・敬老会	20,000円
12	宮城いきいきこでまり会(6)	サロン舞踊・施設訪問・いきいき学園卒業生	20,000円
13	矢本鼓和の会(8)	サロン和太鼓・施設訪問	
14	萩乃若扇壽会(休止)	サロン舞踊・ボランティアチャリティーショー	
15	スペインの風(2)	アコースティックギター、カホーンの伴奏で歌	20,000円
16	フラサークル リコレファ(9)	フラダンス	
17	桂会(7)	高齢者支援・芸能ボランティア	
18	民謡はまなす会(16)	生の地方伴奏に合わせ民謡を披露	20,000円
19	石巻アマチュアマジック協会(15)	マジック演技の披露(福祉施設、幼稚園、保育所、小学校、地域サロン等)	
20	プチ・シャンテ(6)	シャンソンを披露することを通じた地域交流及び生きがいづくり	20,000円
21	三味線将大会(11)	三味線を伴奏とした民謡の披露高齢者施設の慰問や、地域イベント等での出演	20,000円

22	アロハフラサークル(20)	市内の老人介護施設に出向きフラダ ンスによるアトラクション活動	20,000円
23	G・うさぎ(10)	声の広報「市報ひがしまつしま」CD 作成・配布・読み聞かせ・朗読会・出 前朗読・朗読グループ交流会	20,000円
24	点訳サークル(10)	点訳・市報の点訳・学校総合学習協力	20,000円
25	ドリーム(2)	絵本の読み聞かせ	
26	手話サークル(3)	手話学習・小学校総合学習協力・地域 支援・聴覚障害者の行事支援	
27	東松島民話の会「おさるのかごや」 (6)	昔ばなしなどの民話のかたり	20,000円
28	友遊倶楽部(15)	健康維持・増進を目的とした講習会や 地域でのコミュニケーションの場づ くり	20,000円
29	子ども支援さくら(12)	鳴瀬桜華小学校1~3年生を対象に放 課後子ども教室を開催するもの	20,000円
30	ミッフィークラブ(20)	保育ボランティア(乳幼児健診・子育て 支援センター)	20,000円
31	保育ボランティア サンサンサン (4)	保育ボランティア、人形劇、おはなし 会	20,000円
32	東松島市福寿草福祉会(6)	精神の病気や障がいを持つ方とその 家族の福祉の向上を図る	20,000円
33	東松島高校 ボランティア部 (休止)	高校生による市内でのボランティア 活動	
34	東松島青年有志会インパルス (休止)	若者の地域活動参加のきっかけづく り、地域イベントのお手伝い	
35	東松島市レクリエーション協会 (13)	レクリエーション支援活動	
36	てあわせ表現・東松島(17)	障害者支援てあわせ表現ワークショ ップ等を通じた、障害の有無に関わら ない交流・自己表現の機会の創出居場 所づくり	20,000円
37	こっこクラブ(11)	子育て支援、子育て親同士の親睦、地 域貢献ボランティア	
38	NPO法人 いろどり・みんなのみ ち(10)	高齢者施設での着物着付け、着物を用 いた子どもたちへの和装教育、外国人 への着物を用いた観光ツアー・体験等	
39	アクション・スクエア(7)	お茶会の開催等を通じた地域支援(小 野地区中心)	
40	東松島国際チーム(休止)	市内及び近郊在住の外国人支援日本 語教室や交流会の開催など	
41	大鷹会(13)	食堂運営による世代間交流、地域コミ ュニティ連携促進、孤食の解決、食育 などを図る	20,000円

42	ライクミー(5)	1人で複数のケアを担っているダブルケアラーが社会から孤立しない為の場を提供	20,000円
43	鹿妻さくら猫の会(19)	野良猫対策に取り組み地域住民の環境整備、精神衛生の向上に貢献する	20,000円
44	株式会社 ダイナム矢本店	災害ボランティア	
45	東松島市国際交流グループ knot(25)	外国人の生活支援及び交流支援	20,000円

#### ウ ボランティア登録団体長会議の開催

日付 令和8年3月25日 10時～11時30分

場所 地域福祉交流プラザ

内容 ボランティア保険と助成金に関する事務連絡、団体同士の情報交換会

参加数 22団体

#### エ ボランティア保険取扱状況

保険の種類	申込数	人数	事故数
ボランティア活動保険	58	652	0
ボランティア行事保険	52	3145	0

#### オ ボランティア登録団体への活動支援

- ・市内の朗読ボランティア団体「G・うさぎ」が視覚障害者向けに作成している「市報ひがしまつしま」音声版CDのYouTube配信について、令和7年10月号から技術的支援を行った。また、同団体が制作する「矢本の伝説」及び「矢本の昔話」の音声配信にも協力し、情報保障の取組の充実と朗読ボランティア活動の発信方法の拡充を支援した。

### ③ボランティア登録団体助成事業

- ・ボランティア登録団体の活性化と活動しやすい環境づくりを推進するため、共同募金配分金を活用し、ボランティア活動に要する事業費として27団体に合計540,000円を助成した(助成上限額1団体20,000円)

高齢者支援団体 6団体

芸能ボランティア団体 9団体

学習団体 6団体

子ども支援及び障害者支援団体 5団体

その他 1団体

### ④日常の困りごとを解決する生活支援の充実(ひがまつ安心サポート事業)

- ・高齢者等の日常生活上のちょっとした困りごとに対応するため、支援を必要とする市民(利用会員)とその支援を行う市民(協力会員)による住民参加型在宅福祉サービスを実施した。

ア 会員登録者数(3月末日現在)

会員種別	登録人数	性別		在住地区別人数							
		男	女	矢本東	矢本西	大塩	赤井	大曲	小野	野蒜	宮戸
利用会員	250人 (前年度比+27)	71	179	83	33	13	52	26	29	12	2
協力会員	50人 (前年度比+4)	22	28	12	5	2	15	6	7	2	1

イ 活動実績の内容

サービス内容	活動数												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
①食事の仕度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②衣類等の洗濯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③住居等の掃除 ・整理整頓	13	18	24	13	6	12	11	20	11	6	10	10	154
④電球、電池交換	0	0	0	0	0	1	0	1	2	2	0	0	6
⑤庭の草取り	3	11	17	0	0	1	7	20	0	0	0	0	59
⑥布団干し	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦買い物代行	7	6	6	7	6	5	7	6	8	6	8	7	79
⑧通院や外出時の付添	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑨話し相手	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑩ゴミの分別 ・ゴミ出し	60	64	73	71	61	65	77	67	72	61	57	81	809
⑪灯油入れ	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	4
⑫コメの精米	1	1	1	0	0	2	0	1	0	0	1	0	7
⑬家電製品の操作	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑭住宅用火災警報器の取替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	85	100	121	91	73	86	102	115	94	76	77	98	1118

※利用(活動)時間 978時間43分 / 利用(活動)金額 600,600円

⑤ボランティア活動への参加の機会の充実

宮城いきいき学園石巻校 地域貢献活動研修会への講師派遣

日付 12月17日 13時～ 場所：矢本東市民センター

内容 石巻圏域の社会福祉協議会ボランティア・市民活動支援センターの取組みについて、石巻市、東松島市、女川町の各担当職員が講話を行った。

参加者 約35名

## ⑥災害ボランティア登録の促進

- ・12月6日に開催した災害ボランティア講座の際に参加者（11名）に登録を呼びかけした。登録者数は10名。

## (7)老人福祉センター運営事業

### ①東松島市老人福祉センターの指定管理

#### ア 部屋別利用状況

区分	利用者 延べ人数	主な利用団体等
集会室	1,405	・福祉団体役員会、会議等 ・ボランティア団体会議等 ・老人一般事業各種教室開催 ・各種研修会等 ・機能回復訓練(第2・4火曜日) ・健康体操
生活相談室	47	・くらし安心相談来所者 ・篠笛教室
和室	581	・囲碁将棋のつどい(毎木曜日) ・ボランティア団体会議 ・健康相談
小会議室	434	・ハローワーク巡回相談 ・各団体会議等
ロビー	118	・点訳サークル印刷
その他	50	・介護事業所への来所者
利用者計	2,635	

※対前年比430人増（令和6年度 利用者数2,205人）

#### イ 機能回復訓練事業

- ・登録参加者数9人 ・登録介助ボランティア5人 ・毎月第2・4火曜日開催

時期	内容(第2週)	人数	内容(第4週)	人数
4月	口腔体操 国旗クイズ 折り紙で作る桜	7	社会見学(道の駅東松島)	8
5月	寄せ植え 手・肩下肢のストレッチ 口腔体操(早口言葉)	7	手・肩下肢のストレッチ 折り紙で作る紫陽花	8
6月	手・下肢のストレッチ 口腔体操(早口言葉)	7	手・肩下肢のストレッチ 牛乳パックで作る小物入れ	6
7月	上肢・下肢のストレッチ 折り紙で作る風鈴	5	上肢・下肢ストレッチ 50音カードゲーム 塗り絵	7
8月	お休み	-	手指・下肢ストレッチ 折り紙で作る花火	7
9月	上肢下肢体操 卓上ホッケー バラバラ漢字なぞなど	6	お休み	0
10月	折り紙で作るもみじ	4	新聞棒体操・口腔体操 俳句クイズ	7
11月	花紙で作るシクラメン	6	指体操 毛糸で作るミニツリー	6

12月	ペットボトルキャップ文字合わせ 漢字クイズ ビンゴゲーム	6	お休み	-
1月	上肢下肢ストレッチ 口腔体操 折り紙で作るチャグチャグ馬っこ お正月に関するクイズ	5	手指体操 口腔体操 下肢運動 歴史上人物かるた とんち	6
2月	ボールを使った体操 牛乳パックで作る花の六角小皿	5	手指・上肢下肢ストレッチ バックウ ブロック折り紙で作るハート飾り	6
3月	手指・下肢体操 口腔体操 タイルコースター	5	ストレッチ体操 花紙で作る桜 詐欺電話に関する話	5
延べ参加人数				129

※対前年比 11 人増（令和 6 年度 延べ参加人数 118 人）

#### ウ 高齢者のための健康相談及び健康体操の開催

【開催の状況】健康相談：毎週月曜日、健康体操：月 1 回開催

時期	回数	人数	時期	回数	人数
4月	4	15	10月	3	21
5月	3	14	11月	2	26
6月	3	14	12月	4	21
7月	3	17	令和8年1月	3	21
8月	3	21	2月	3	19
9月	4	31	3月	5	25

合計 40 回開催 延べ参加人数 245 人

※対前年比 69 人増（令和 6 年度 延べ参加人数 176 人）

#### ②老人福祉センター交流事業

##### 老人福祉センター利用団体交流会

- ・老人福祉センターを定期的に利用している団体(7 団体)が活動を紹介し合い、互いの活動に興味を持つ交流事業を実施した。

日 付 令和 8 年 1 月 22 日 10 時～13 時

参加人数 37 人

内 容 各団体の活動紹介・簡単な手話教室

ボランティア団体「サンサンサン」の人形劇を観賞

#### ③老人福祉センター教室の開催(交流事業)

##### 老人一般活動事業

- ・高齢者の教養を向上させるため、各種教室を開催

体に優しいストレッチヨガ教室

日 付 6 月 18 日・7 月 2 日 13 時 30 分～15 時

講 師 ヨガインストラクター 熱海和美 氏 参加人数：16 人

ブッダナッツアレンジ教室

日 付 8 月 8 日 13 時 30 分～15 時

講 師 フローラルセミナー Smile 高橋公美 氏 参加人数：8 人

#### ④囲碁将棋・麻雀のつどい

- ・囲碁将棋のつどい

毎週木曜日開催 48回開催 延べ474人参加

※令和6年度 45回開催 のべ523人参加 49人減

- ・麻雀のつどい

令和7年8月から月1回開催 8回実施 延べ132人参加

#### ⑤フリーマーケット

- ・実施に必要な準備期間の確保が困難であったため、未実施となった。

#### ⑥趣味の作品展示会

- ・利用団体の作品を展示

## 2. 総合相談事業拠点区分

### (1)生活困窮者自立促進支援事業（東松島市からの受託）

#### ①自立相談支援事業

##### ア 総括

自立相談支援事業として、令和7年4月～令和8年3月末までの新規相談受付件数は164件であり前年度190件より36件減である。またプランに基づき支援を実施してきたケースは68件（支援決定・確認数）で評価実施数（再プラン含む）は91件である。新規受付は減となった年であるが、再プランによる継続関与件数は前年より増である。

令和7年度関与した支援対象者は364件（前年度376件）となっておりプランに基づかない継続支援ケースが例年同様多い現状である。また相談・連絡調整件数は総計5,037件と前年度（5,368件）を下回ったものの、面談や同行支援といった対面による直接支援が増加している。訪問時の対応も含め相談者一人ひとりに寄り添う支援時間は昨年度を上回っていた結果である。多機関協働による包括的支援体制構築事業や関係機関等との緊密な連携調整を通じ、より深く課題解決へ向けた関与に心掛けた年であった。

住居に関する相談としては、破産や家賃滞納により退去を余儀なくされた方や離婚や家族関係が要因となり転居先を探す必要がある方に対して、圏域の居住支援法人と連携したり、市営住宅や不動産屋の情報提供をし、安心して生活できるよう支援した。

就労支援（被保護者就労支援事業含む）としては、令和7年度は前年度に引き続き企業開拓のための訪問活動および関係機関への就労支援に係る協力依頼を継続して実施し、連携体制の強化を図った。特に、商工観光課、東松島市商工会、農林水産課との意見交換を重ねることで相互理解の深化を図るとともに、新たに東松島市社会福祉法人連絡会との関係性の構築・強化にも取り組んだ。地域の関係機関との横断的な連携を進めることで、就労支援の基盤整備を着実に推進した。

イ 相談支援概況（件数）

		R5 年度	R6 年度	R7 年度
新規相談受付件数（本人未特定を含む）		186	190	164
新規相談受付数(本人同意なしを含む)		181	186	164
新規相談申込数(本人同意ありのみ)		144	152	133
支援決定・確認数(再プランを含む)		91	62	68
プラン期間中の一般就労を目標にしている		35	33	38
法に基づく 事業等利用	住居確保給付金	5	7	7
	一時生活支援事業	0	0	0
	家計改善支援事業	34	27	33
	就労準備事業	4	7	5
	認定就労訓練事業	0	0	0
	自立相談支援事業による就労支援	36	37	35
その他	生活福祉資金・生活安定資金による貸付	22	25	25
	生活保護受給者等就労自立促進事業	26	21	15
評価実施数(再プランを含む)		93	65	91
評価 結果	終結	59	48	52
	再プランして継続	26	13	32
	中断	8	4	7
見られた 変化	変化あり	87	57	74
	変化なし	6	8	17
①評価実施件数中就労支援対象プラン作成者分		49	26	45
うち	一般就労開始	18	8	12
	就労収入が増加	10	3	7
②評価実施件数中、就労支援非対象プラン作成者分		44	39	46
うち	一般就労開始	1	2	1
	就労収入が増加	3	3	4
③プラン作成者以外				
うち	一般就労開始	2	8	6
	就労収入が増加	1	1	1

ウ 新規相談受付に関する概況

(ア) 相談経路 ※複数選択

①来談者

相談経路	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	合計	比率	合計	比率	合計	比率
本人	139	76%	144	77%	136	83%
家族・知人	16	9%	33	18%	23	14%
関係者	39	21%	30	16%	25	15%
合計（実人数）	182	100%	186	100%	164	100%

②面談の場所・方法

相談経路	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	合計	比率	合計	比率	合計	比率
直接来所	101	55%	103	55%	114	70%
電話・メール	57	31%	57	31%	35	21%
自宅	17	9%	22	12%	20	12%
関係先	10	5%	6	3%	0	0%
合計（実人数）	182	100%	186	100%	164	100%

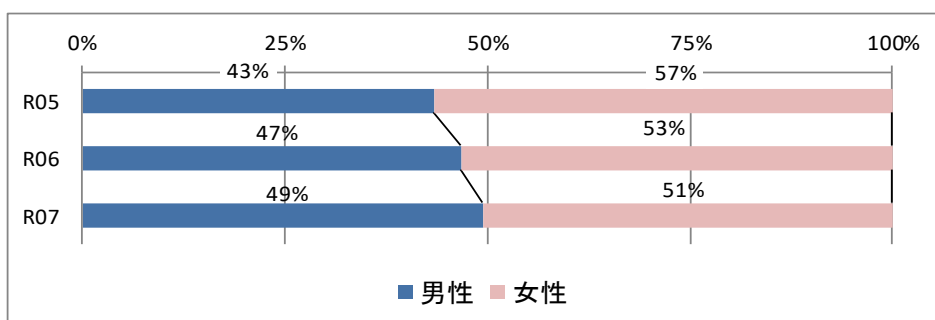
③相談のきっかけ

相談経路	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	合計	比率	合計	比率	合計	比率
自立相談支援機関がアウトリーチ	9	5%	12	6%	9	5%
紹介	74	41%	73	39%	76	46%
国、自治体、自立相談支援機関等の周知	61	34%	45	24%	51	31%
その他	39	21%	99	53%	38	23%
合計（実人数）	182	100%	186	100%	164	100%

・紹介を受け直接来所相談に至った方が多かった。行政や関係機関へ少しずつ周知がなされた結果である。

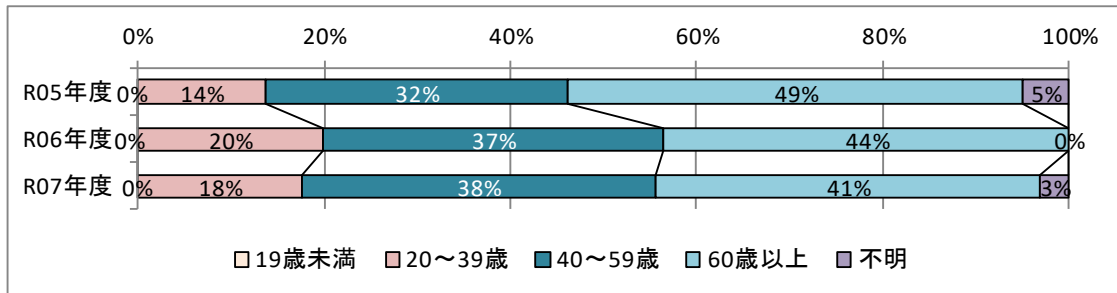
(イ) 性別

	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
男性	79	43%	87	47%	81	49%
女性	103	57%	99	53%	83	51%
合計	182	100%	186	100%	164	100%

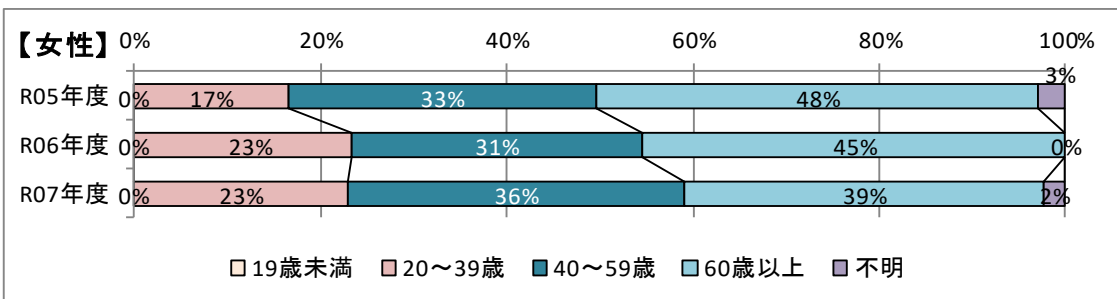
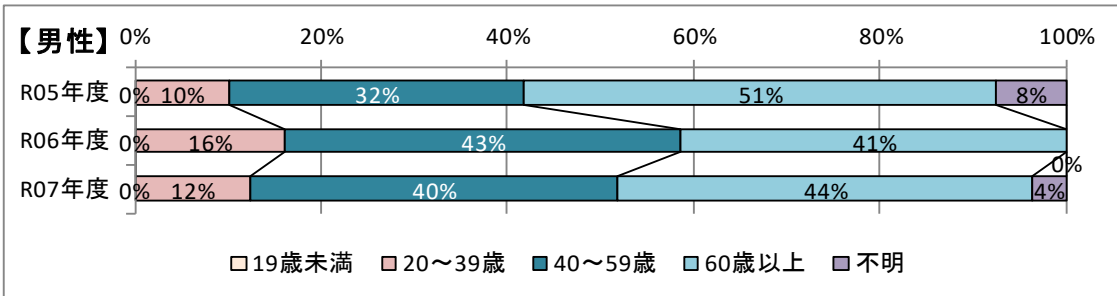


(ウ) 年齢

年齢	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
19歳未満	0	0%	0	0%		0%
20～39歳	25	14%	37	20%	29	18%
40～59歳	59	32%	68	37%	62	38%
60歳以上	89	49%	81	44%	68	41%
不明	9	5%	0	0%	5	3%
合計	182	100%	186	100%	164	100%

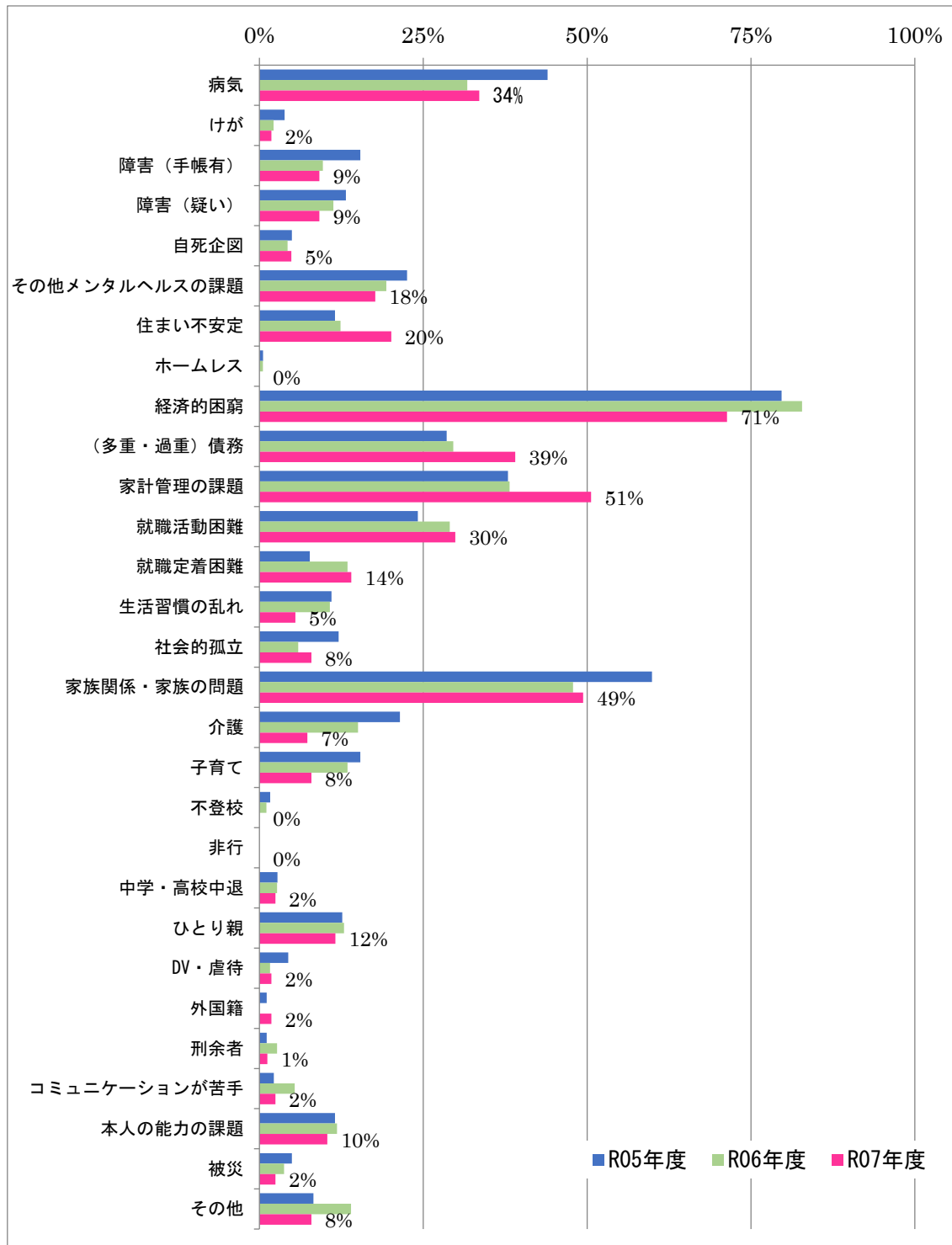


●男女別内訳



- ・昨年同様女性の相談者の若年傾向がみられた年である。
- ・男女ともに60歳以上の相談が多かった。

(エ) 課題別 ※複数選択



- ・この3年間のうち今年度割合が高かったのは、住まい不安定、多重・過重債務、家計管理の課題、就職活動困難、就職定着困難である。収入の不安定さや継続就労に結び付かない相談者が多いことがわかる。
- ・令和7年度から開始となった転居費用の給付（住居確保給付金）を利用したケースは2件ある。

(オ) プランの実施に係る関係機関・関係者

① 就労

関係機関・関係者	R05	R06	R07
ハローワーク	38	33	33
職業訓練所	1	3	1
就労準備支援機関	1	1	3
地域若者サポートステーション	6	1	0
就労支援法人・団体(就労訓練事業を含む)	2	1	1
一般企業	30	33	21
各種協同組合(生協等)	0	0	0
農業者・農業団体	2	2	1
合計	80	74	60

② 医療

関係機関・関係者	R05	R06	R07
医療機関	42	29	35
(医療機関の内、無料低額診療実施機関)	27	18	14
行政の保健担当部署	69	47	49
合計	111	76	84

③ 障害

関係機関・関係者	R05	R06	R07
行政の障害担当部署	4	2	0
基幹相談支援センター	17	10	12
精神保健福祉センター	0	0	0
障害者就業・生活支援センター	5	3	3
障害者就労支援事業所	2	1	2
その他障害者支援機関・施設	4	2	4
合計	32	18	21

④ 高齢

関係機関・関係者	R05	R06	R07
行政の高齢者担当部署	1	2	0
地域包括支援センター	30	15	11
居宅介護支援事業所・その他介護事業所	7	8	2
合計	38	25	13

⑤ 子ども

関係機関・関係者	R05	R06	R07
行政の子ども家庭担当部署	5	4	3
教育委員会	1	1	1
保育所・幼稚園・子ども園	3	4	0
小・中・高(特別支援含む)学校	4	1	1

大学等(高等専門学校、専修学校、各種学校含む)	0	1	0
その他教育機関	0	0	0
家庭児童相談室(福祉事務所)	1	0	0
児童相談所・児童家庭支援センター	0	1	0
児童福祉施設	0	0	0
地域子育て支援センター	0	1	0
その他子育て支援機関	1	1	0
合計	15	14	5

⑥ 人権・女性

関係機関・関係者	R05	R06	R07
行政の人権担当部署	0	0	0
男女共同参画センター	0	0	0
婦人相談所・配偶者暴力相談支援センター	0	0	0
合計	0	0	0

⑦ 保護

関係機関・関係者	R05	R06	R07
福祉事務所(生活保護担当部署)	14	7	8
ホームレス支援機関	0	0	0
一時保護施設	0	0	0
警察	2	0	0
更生保護施設・自立準備ホーム	0	0	0
地域生活定着支援センター	0	0	0
合計	16	7	8

⑧ 生活・金銭・権利擁護

関係機関・関係者	R05	R06	R07
行政の税担当部署	18	15	14
行政の保険・年金担当部署(年金事務所含む)	2	2	1
社会保険労務士	1	0	0
自立・家計改善支援機関	5	1	1
食糧支援関係団体(フードバンク等)	24	4	2
小口貸付(生活福祉資金除く)	9	14	13
社会福祉協議会(生活福祉資金)	5	1	3
社会福祉協議会(日常生活自立支援事業)	1	2	3
成年後見人制度の支援機関	0	0	0
法テラス・弁護士・司法書士	22	7	14
消費生活センター・消費生活相談窓口・多重債務者等相談窓口	0	0	0
合計	87	46	51

⑨ 住居

関係機関・関係者	R05	R06	R07
行政の住宅施策担当部局(居住支援協議会)	9	6	7
居住支援法人	2	0	0
不動産・保証関係会社	13	7	3
合計	24	13	10

⑩ その他

関係機関・関係者	R05	R06	R07
他地域の生活困窮者自立相談支援機関	1	0	0
民生委員・児童委員	23	24	19
外国人支援団体・相談窓口	0	0	0
ひきこもり支援機関	3	0	0
NPO・ボランティア団体	3	5	3
商店街・商工会等経済団体	0	0	1
町内会・自治会、福祉委員、近隣住民	4	3	0
ライフライン民間事業者(電気・ガス・水道)	7	4	6
保健所(動物・ペットの多頭飼育等)	0	0	0
社会福祉協議会(資金、日常生活自立支援以外)	22	30	20
その他行政の担当部署	2	0	1
家族・親族・その他キーパーソン	26	29	20
その他	11	9	12
合計	102	104	82

総計 (①～⑩)	505	377	334
----------	-----	-----	-----

プラン対象になっているケースに関して「プラン実施に係る関係機関や関係者」が上記に記載されている。

- ・60歳以上の相談が多い年であったが、プラン対象にならないケースが多いことから高齢部門の数値が低くなっている。
- ・子供部門の数値が低いことから、プラン対象者で子供に関する課題がある方は少なかったことがわかる。
- ・総計数(①～⑩)が今年度は前年度までに比べてかなり少ない。プランにならず支援しているケースが多いことが分かる。

(カ) 相談対応の状況

対応方法	R5年度	R6年度	R7年度
電話相談・連絡	2,219	2,200	1,896
訪問	472	410	306
同行支援	183	87	106
面談	892	828	973
所内会議	48	121	103
支援調整会議(プラン策定)	77	61	76
支援調整会議(評価実施)	77	62	89

他機関との会議	33	36	44
他機関との電話照会・協議	1,356	1,298	1,149
その他	326	265	295
合計	5,683	5,368	5,037

支援を行った対象者（実人数）	418	376	364
----------------	-----	-----	-----

(キ) 生活保護受給者等就労支援事業（ハローワーク巡回相談）

- ・月4回/1日8回の「巡回相談(ハローワークの専門ナビゲーターが来所し就労相談実施するもの)」を実施し、生活困窮者及び被保護者へ延べ330回の面談を通じ、相談者の支援をした。

	相談延べ回数	内訳	
		生活困窮者	被保護者
4月	20	2	18
5月	35	4	31
6月	24	2	22
7月	21	1	20
8月	25	4	21
9月	31	3	28
10月	31	7	24
11月	28	3	25
12月	25	7	18
1月	32	5	27
2月	31	3	28
3月	27	0	27
合計	330	41	289

## ②家計相談支援事業

家計の見える化による家計管理の意識づけ、支払いの優先順位をつけることの必要性など繰り返し伝えてきた。また関係機関への分納の相談支援や貸付部門との連携、多重債務にある方に対しては東北財務局や弁護士等へつなぎ相談に同席するなど、伴走型支援に取り組んだ。滞納や借金を繰り返している方、収入の範囲で生活できておらず、家賃や税金などの滞納に至っている方、様々な理由で食費の確保が難しく食料支援を恒常的に利用する方が目立った。

## ③就労準備支援事業

「伴走型支援」を軸に、強い社会不安や自己肯定感の低下を抱える個々の利用者の心理的なペースに寄り添った支援を展開した。その結果、利用者の半数が一般就労等への移行を果たし、高い成果を得ることができた。

職場見学・体験の実施においては 東松島市社会福祉法人連絡会との連携を強化し実施。またセミナーにおいては相談者の課題に応じて多角的なプログラムを実施した。

利用人数 8 名 就労決定者数 4 名 就労決定率 50%

ア 具体的活動内容



フードパントリー等準備



市役所フードドライブ



ひがまつ・安心サポート事業



歳末助け合い募金活動



赤井の里就労体験



矢本華の園就労体験

イ 企業開拓 (④被保護者就労支援事業と協働)

日付	企業名	内容
4月1日	一般社団法人 くるり	職場見学会相談
4月24日	社会福祉法人 ことぶき会	職場見学会に向けて事業説明
4月24日	社会福祉法人 やすらぎ会	職場見学会に向けて事業説明
4月30日	東松島市商工会	情報共有及び連携体制強化
4月30日	オイタミート	職場見学会相談
5月1日	社会福祉法人慶和会	職場見学会に向けて事業説明
5月2日	社会福祉法人東松島福祉会	職場見学会に向けて事業説明
5月7日	コスモ石油石巻西店	職場体験相談

5月14日	アオバヤグループ(株)	ポスティング説明会
5月19日	社会福祉法人矢本愛育会	職場見学会に向けて事業説明
5月28日	フレスコキクチ赤井店	職場見学会相談
5月30日	アオバヤグループ(株)	ポスティング説明会
6月2日	フレスコキクチ矢本店	職場見学会相談
6月6日	有限会社 緑三松	職場見学会に向けて事業説明
6月18日	一般社団法人東松島みらいとし機構	職場体験相談
7月9日	マルヒ食品 東松島工場	職場見学会相談
7月11日	医療法人医徳会	職場体験相談
7月18日	石川食品 赤井工場	職場見学会相談
8月19日	農業法人 株式会社めぐいと	職場体験相談
10月9日	アオバヤグループ(株)	ポスティング説明会
11月17日	株式会社サワ東松島工場	職場見学会に向けて事業説明

ウ 就職応援セミナー等 (④被保護者就労支援事業と協働)

延べ参加人数 41名 (実人数 8名)

日付	内 容	講師/担当機関
7月7日	フードドライブ活動説明会	くらし安心サポートセンター
7月9日	フードドライブ	くらし安心サポートセンター
7月15日	自己紹介の仕方など	ハローワーク
9月8日	第1回コミュニケーションセミナー	グッドニュースジャパン
9月15日～ 27日	職場体験	やもと赤井の里
10月7日	第2回コミュニケーションセミナー	グッドニュースジャパン
10月30日	ひがまつ安心サポート事業(草取り)	社会福祉協議会
10月30日 31日	産業祭準備	くらし安心サポートセンター
10月31日	電話の応対について	ハローワーク
11月10日	第3回コミュニケーションセミナー	グッドニュースジャパン
12月3日	フードドライブ	市役所
12月5日	メイクアップセミナー	クローバー
12月15日	履歴書の書き方	ハローワーク
令和8年 1月16日	ハローワーク見学ツアー	ハローワーク
1月23日	会話スキルアップセミナー	石巻地域サポートステーション
2月6日	面接講座	ハローワーク
2月20日	就労体験	華の園
3月13日	面接講座	ハローワーク

エ 職場見学会等（④被保護者就労支援事業と協働）

延べ参加人数 18 名 （実人数 8 名）

日付	内 容
6 月 13 日	合同企業説明会
6 月 20 日	やもと赤井の里 見学会
8 月 25 日	フレスコキクチ赤井店 見学会
9 月 12 日	石川食品赤井工場 見学会
10 月 17 日	マルヒ食品株式会社 見学会
11 月 21 日	矢本華の園 見学会

④被保護者就労支援事業

支援者数	30（延べ）
申込紹介数	89
実績	
採用者	11
生活保護抜けた方	4

仕事先が決まった相談者に対しては、就労定着支援の目的として電話、仕事先（店舗）への訪問などでフォローを行った。また対象者一人ひとりの状況に応じ、書類添削や面接同行、基礎体力向上のためのウォーキング活動などを継続し、着実な自立支援を実施した。

【求職活動への同行支援】

同行支援先	支援者数
企業面接	4
個別企業見学	4
ハローワーク	3

【就職応援セミナー】（③就労準備支援事業と協働）

延べ人数 31 名（実人数 11 名）

日付	内 容	講師
6 月 19 日	身だしなみ、求職活動の進め方	ハローワーク
9 月 8 日	第 1 回コミュニケーションセミナー	グッドニュースジャパン
10 月 7 日	第 2 回コミュニケーションセミナー	グッドニュースジャパン
10 月 31 日	電話応対について	ハローワーク
11 月 10 日	第 3 回コミュニケーションセミナー	グッドニュースジャパン
12 月 5 日	メイクアップセミナー	クローバー
12 月 15 日	履歴書の書き方	ハローワーク
1 月 16 日	ハローワーク見学ツアー	ハローワーク
1 月 23 日	会話スキルアップセミナー	石巻サポステ
2 月 6 日	面接講座	ハローワーク
3 月 13 日	面接講座	ハローワーク

【職場見学会等】（③就労準備支援事業と協働）

延べ参加人数 12 名 （実人数 11 名）

日付	内 容
6 月 20 日	やもと赤井の里 見学会
8 月 25 日	フレスコキクチ赤井店 見学会
9 月 12 日	石川食品赤井工場 見学会
10 月 17 日	マルヒ食品株式会社 見学会
11 月 21 日	矢本華の園 見学会



面接講座



コミュニケーションセミナー



フレスコキクチ赤井店



石川食品 赤井工場



矢本華の園



やもと赤井の里

⑤生活困窮者支援等のための地域づくり事業

孤独・孤立の問題を抱える生活困窮者等や家族のニーズを把握し、気軽に相談し合える、多様な居場所づくりを推進する。また、地域の多様な活動を把握し、福祉関係機関をはじめ、多様な主体、多分野が参画する連携・協働の場づくりを推進し、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら自分らしい地域コミュニティが醸成されることで地域共生社会を目指す。

ア 地域住民のニーズや生活課題の把握等

- ・くらし安心サポートセンターへ他関係機関から寄せられた相談の他、令和7年度も生活支援体制整備事業による第2層協議体及び地域支え合い会議（第3層協議体）において住民の声を直接聴く場面として出席し、相談窓口へつながっていない（つながる以前）ニーズ、狭間の課題を把握することに努めた。
- ・月別地域づくり担当 CSW 稼働実績（件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
地域支援	3	6	7	8	3	6	6	7	5	3	4	6	64
個別支援	3							1					4
研修			1	2	4	3		1		2		1	14
その他	3	1		4	1				1	1			11
合計	9	7	8	14	8	9	6	9	6	6	4	7	93

イ 地域資源を活用した地域住民の活動支援や情報発信

- ・社協地域福祉課ボランティア担当や CSW らとともに活動する中で住民の活動状況の把握・関係構築を心掛けた。また、くらし安心サポートセンターへの個別の相談や制度サービスの狭間の問題の課題については、新たな社会資源の発掘や開発の実践、チラシや市報・社協だより等を活用し周知に努めた。
- ・支援区分・対応方法別の件数

	電話相談 連絡	訪問同行 支援	会議参加	面談	所内会議	他機関と の電話	他機関と の協議	その他	合計
地域支援		1	49					14	64
個別支援		1					1	2	4
研修			1					13	14
その他	1		1					9	11
合計	1	2	51	0	0	0	1	38	93

ウ 生活困窮者等への食の支援「フードドライブ・フードパントリー事業」

(ア) フードドライブ

日付・開催場所 7月9日・市役所、11月9日・東松島市産業祭、12月3日・市役所  
令和8年2月22日・東松島市パークゴルフ場

常設場所等 平日9時～16時

東松島市老人福祉センター、東松島市地域福祉交流プラザ、  
大曲・赤井・野蒜市民センター

寄付件数等 総件数等：183件/3906.28kg

※フードドライブとは・・・個人や企業から善意で寄付をいただいた食品を集める活動。集めた食品は生活に困窮している方などに提供される。

(イ) フードパントリー

日付・開催場所 7月18日、12月12日・東松島市地域福祉交流プラザ

その他 個別相談で食糧支援が必要な方等には、随時、提供した。

提供件数等 総件数等：505件/2501.84kg

※フードパントリーとは・・・生活に困っている方など、食に困っている人々へフードドライブで集めた食品を無償で直接配布する活動。



市役所での活動



石巻西高校からの寄付

(ウ) 地域における「地域食堂」について

下記団体をまとめたリーフレットを作成し関係機関窓口へ設置。

必要に応じ社協フードバンクから白米や調味料、寄せられた野菜の提供を行った。

事業名	代表者名	開催頻度	参加費
だんらんかぞく	昆野美津子	年 10 回(不定期)	無料
野蒜みんなの食堂	奥田登美子	月 1 回 (第 3 火)	100 円～300 円 年齢による
大鷹会	黒須壽幸	年 3 回	200 円 子供無料
地域食堂ハッピースマイル	及川里美	月 1 回 (不定期)	2 回目まで無料 350 円
ひだまり食堂	奥田知子	月 1 回 (第 4 日)	300 円 中学生以下無料
牛網えがおの食堂 カフェふらっと	遠藤京子	月 1 回 (第 4 日) 月 1 回 (第 2 木)	200 円 小学生 100 円 未就学児無料 カフェは無料

(エ) 食でつながるネットワークミーティング

フードバンクに協力いただいている方や興味関心のある地域住民、フードバンク事業を実施している関係団体等を参集し、亘理町社会福祉協議会のフードバンクを通じた地域づくりの取組みを学び、地域住民のみなさんの協力が支援を必要とする方を支えている現状の共有と、今後の地域の支え合いについて意見交換を実施した。

日 付 令和 8 年 2 月 18 日 場 所 地域福祉交流プラザ  
講 師 亘理町社会福祉協議会 係長 佐藤 寛子氏  
参加人数 地域住民、フードバンク関係者等 34 名



エ 世代や属性を超えた「居場所づくり」について

(ア) 池の内ベース

家族や社会とのつながりが無い、ひきこもりや長期未就労など、不安を抱えている方が安心して過ごせる「居場所」。ゆるやかな活動の中でつながりを持ち、将来への希望や目標を見つけたり、社会参加へ向けた一歩を踏み出すための「ゆるやかなつながりの場」。

日 付 毎月第 2・4 火曜日 10 時～13 時 場 所 池の内  
参加者数 延べ 96 名 (実利用者 6 名)  
ボランティア等 延べ 60 名

池の内ベースでの活動は、自身を受容され、肯定される場であり、一方では誰かの役に立つという体験もできた。「支える、支えられる」という一方的な関係ではなく、「相互に支え合う」小さなコミュニティを構築する場面にもなった。



5.13 畑の除草作業



5.27 ホットサンドづくり



6.24 お好み焼きづくり



9.9 防災クロスロードゲーム



10.27 芋煮会買い物



10.28 芋煮会①



10.28 芋煮会②



10.28 芋煮会③



12.9 大掃除



2.23 靴箱組立作業



2.24 他己紹介ワークショップ



3.10 防災支え合いワークショップ



3.24 宮戸ウォーキング

(イ) 椿茶一次加工(障害者就労継続支援 B 型事業所/ひがまつステーションとの連携)

日付	年間稼働日数	参加実人数
週 3 回 10:00~12:00 開催日は参加者が決定	111	3 (それぞれが工賃を得た)



枝から葉をもぎ取る



洗う



葉を磨いて



虫食や汚れをハ切り取る



切り取った葉をひがまつステーションへ納品

- ・買取額 1g1.5 円
- ・売上額を各自従事した時間で割り、個人の収入とした。

(ウ) 東松島市地域福祉交流プラザ「ふらっと」

地域のつながりが無い、知り合いがいない、家庭や地域での役割がないなど、社会との接点や交流の機会がない方々がいる現状がある。世代や地区、障害の有無などに関わらず、どなたでもふらっと立ち寄れる出会いと交流の場「ふらっと」を開設するとともに運営するボランティアの育成と協働を通し、「地域共生社会」の実現に向けて取り組んでいく。

日 付 毎月第1・3火曜日、10時～15時 場所：地域福祉交流プラザ  
 内 容 茶話会・歌声喫茶・いちご大福づくり 等  
 参加人数 延べ183名、ボランティア延べ42名



5.20 歌声喫茶



8.5 懐かしのピアノ練習



2.3 豆まき会



3.3 イチゴ大福づくり

(エ) クールシェア

近年は気候変動に伴う暑熱環境の悪化等により、熱中症のリスクが高まっている。熱中症は短時間で症状が進行するケースが多く、重症化すると命にかかわるおそれがある。また、誰にでも起こり得る身近な健康リスクである。

この状況を踏まえ、物価高騰等による家計への影響も鑑み「涼を共有する場」として、また、夏季休業中など長時間一人で過ごす子供たちの「孤立の解消」の場として東松島市地域福祉交流プラザの交流室を開放し、地域福祉拠点機能を発揮する。

また、クールシェアを通じて、孤立や不登校、ひきこもり等、課題を抱えている児童等を把握することも目的とする。

日 付 7月1日～9月30日 場所：地域福祉交流プラザ  
 対 象 東松島市民（子どもから高齢者までどなたでも）  
 参加人数 延べ226名（7月・75名、8月・74名、9月・77名）



今年度は学校の夏季休業中には保護者の共働きなどにより長時間一人で過ごす子供たちの「孤立の解消」の場として地域福祉交流プラザの交流室を開放し、今後若年層に向けても地域福祉の拠点となりうることを期待して実施した。

### ⑥休日・夜間相談会の開催

生活困窮者が抱える生活の困りごとへの支援を推進するため、稼働世帯を対象に休日・夜間相談会を開催し、寄り添い型の償還支援や生活相談を行い、地域で安心して暮らすことができるよう自立に向けて支援した。  
 また、相談会を通じて困りごとを抱えた方を把握し、継続した相談支援につなぎ、生活再建に向けた支援を行う機会とした。

#### ア 休日弁護士相談会

日付	当日参加者数	支援内容	
9月6日 10時～15時	3名	個別相談 債務整理（自己破産） 等の相談	案内文発送 158件 ・食料提供実施

#### イ 夜間相談会

日付	当日参加者数	支援内容	
12月16日 18時～20時	5名	個別相談 免除・猶予申請支援	案内文発送 152件 ・食料提供実施

### ⑦生活困窮者に対する食料支援の実施

※⑤生活困窮者支援等のための地域づくり事業と連携協働して実施した。  
 （フードドライブ・フードパントリー・食でつながるネットワークミーティング等）

### ⑧「参加支援」推進のための連携・協働する場の整備

#### ア 就労支援

連携先	連携内容	成果
商工観光課	地域産業の動向や人材ニーズに関する情報共有	就労支援における企業アプローチの方向性を整理する機会となった。
東松島市商工会	就労支援事業の概要説明および協働体制の強化に向けた意見交換	地域企業との連携について継続的な協議を実施した。
農林水産課	農福連携や職場見学・体験受け入れの可能性について意見交換	地域資源を活用した就労支援の方向性について協議を行った。

ハローワーク石巻	各種セミナーの開催依頼	相談者の就労意欲の向上 就職活動への移行支援強化
石巻地域若者サポートステーション		
社会福祉法人	職場見学・体験の依頼	

就労準備支援事業や地域づくり事業との連携含む

#### イ 居住支援

支援内容	連携先	成果
住居確保給付金	不動産会社や仲介業者等	スムーズな制度利用ができるよう連絡調整の支援実施
地域とのつながりづくり	ふらっと、池の内ベース	ゆるやかなつながりの場の提供
住まい探し	居住支援法人や不動産会社等	生活拠点の確保

地域づくり事業との連携含む

### ⑨金銭教育プログラムの実施

東北財務局が東松島高等学校で金融プログラムを実施できるよう調整しつないだ。  
ウエルネス高等学校は開催に向けたアプローチを行ったが、高校側が開催しない方針となったため未実施となった。

#### ア 相談員のスキル向上のための研修会の実施

日付	内容	講師
9月17日	家計と債務の把握と支援	東北財務局
10月16日	個別ケース相談会	東北財務局
11月14日	年金制度について	石巻年金事務所

### ⑩生活用品等支援事業(緊急を要する援護者への物品給付)の実施

- ・火災により緊急を要する状況と判断した3世帯に対しフードバンクの食品、トイレトペーパーや生活物資の給付など実施した。
- ・家具家電の提供は、福寿海やかしよの夢の支援をいただいた。

### ⑪その他

#### ア 視察等

日付	視察先など	内容
9月29日 13時30分～15時	らしくワークサポーター仙台市	就労準備支援事業のツールであるKPS ビジュアルライズツールの活用方法について学んだ。
11月18日 10時～15時	山形県鶴岡市社会福祉協議会	就労準備支援拠点「したくホーム」での支援内容や地域事業所と連携した社会参加や就労支援の取り組みを学んだ。
11月18日 10時～15時	多賀城市保健福祉部社会福祉課	東松島市での就労準備支援事業の取り組み等を説明した。



鶴岡市社協



したくホーム



多賀城市視察受け入れ

イ その他研修(主なもの)

日付	研修内容等	受講職員
4月22日	相談支援の基本 宮城県社会福祉士会	加来、櫻田、森、浅野、 山口、亀山、佐々木
7月29日～ 8月1日	生活困窮者自立支援制度人材養成研修 主任相談支援員初任者研修	加来
9月8日・9日	社協活動全国会議/基本要項2025	加来、森
9月11日	障がい者虐待研修会 宮城県権利擁護センター	櫻田、森、山口
9月17日	家計と債務の把握と支援 東北財務局	加来、櫻田、森、浅野、 亀山、佐々木
10月6日・7日	生活困窮者自立支援制度人材養成研修 相談支援員初任者研修	山口
11月12日	地域共生社会と生活困窮者支援	浅野
11月13日・14日	生活困窮者自立支援制度人材養成研修 就労支援員・就労準備支援事業支援員初任者研修	森
11月14日	年金制度について 年金事務所	加来、櫻田、浅野、亀山、 佐々木
12月17日	成年後見制度の基本と意思決定支援について 宮城県社会福祉士会	加来、櫻田、森、浅野、 山口、亀山、佐々木
令和8年 1月22日・23日	現任者向けステップアップ研修(北海道・東北ブロック)	櫻田、浅野
2月9日	令和7年度自死対策・アルコール関連問題支援 者研修会	加来
2月9日・10日	宮城県生活困窮者自立支援制度従事者養成研 修都道府県研修	山口、亀山

(2) 多機関協働事業 (東松島市からの受託)

① 多機関協働事業

本事業では、相談支援包括化推進員1名を配置し、地域包括支援センター、くらし安心サポートセンター、障害者相談支援事業所、民生委員、地域住民等、多様な支援機関・関係者と連携して、複合的な課題を抱える世帯の支援のコーディネートを行っている。

くらし安心サポートセンターをはじめとして、各支援機関には多様な相談が寄せられており、経済問題、病気・障害、就労困難、ひきこもり、家族関係の問題等による社会的孤

立など、複雑な相談が多く、相談員が対応に苦慮している状況が見られ、関係機関の役割を整理して支援の方向性について話し合い、それぞれの機関が困っている当事者を中心に据えて、本人主体の支援のあり方を協議する場が必要であり、本事業はそのコーディネート機能を担っている。

また、個別ケースから見えた地域課題に対応し、多世代交流の場「ふらっと」、不登校やひきこもり等により孤立しがちな方が集まれる場「池の内ベース」、子どもの居場所「クールシェア」等、多様な居場所づくりを地域の協力や社協内の部門間連携で推進している。

## ア 多機関協働事業相談支援等の概要

### (ア) 相談支援件数状況

	年間
新規相談件数	37
うち多機関協働相談件数	16
継続支援件数	337
うち多機関協働支援件数	222

### (イ) 対応内訳状況

内訳		年間
初回相談	電話	11
	来所	25
	訪問	1
継続支援	電話	148
	来所	57
	訪問	57
	会議	21
	その他	54

### (ウ) 新規相談者状況

相談者内訳	件数
行政の保健担当部署	1
その他教育機関	1
地域包括支援センター	11
居宅介護支援事業所・介護事業所等	4
自立相談支援機関 (くらし安心サポートセンター)	3
自治会、福祉委員、近隣住民	2
民生委員・児童委員	2
社会福祉協議会 (資金、日常生活自立支援以外)	4
その他行政の担当部署	2
家族・親族等	1
本人	6
合計	37

## (エ) 主な相談領域（新規分）

領域	件数
子ども	1
母子・父子	1
障害者	8
高齢者	22
生活困窮	18
その他	20
合計	70

## (オ) 初回相談内容（複数選択）

相談内容	新規
病気や健康、障害のこと	10
住まいについて	3
収入・生活費のこと	12
仕事探し・就職について	4
家賃やローンの支払いのこと	2
税金や公共料金等の支払いについて	6
債務について	1
地域との関係について	1
家族との関係について	9
介護のこと	1
食べる物が無い	7
DV・虐待	5
その他	17
合計	78

## (カ) 継続支援での多機関連絡調整内訳

内訳	件数
医療機関	1
行政の保健担当部署	7
基幹相談センター	1
地域包括支援センター	69
居宅介護支援事業所・介護事業所等	11
行政の子ども家庭担当部署	1
行政の税担当部署	1
行政の高齢担当部署	12
福祉事務所（生活保護担当部署）	19
自立相談支援機関 （くらし安心サポートセンター）	36
社会福祉協議会（日常生活自立支援事業）	4
法テラス・弁護士・司法書士	17
行政の住宅施策担当部局	9
不動産・保証関係会社	2

民生委員・児童委員	19
自治会・福祉委員・近隣住民	7
社会福祉協議会（日常生活自立支援以外）	13
社会福祉協議会（生活福祉資金）	1
行政の保険・年金担当部署	1
その他行政の担当部署	10
家族・親族等	13
その他	4
本人	79
合計	337

イ 地域における相談支援機関等との連携体制の構築

(ア) 個別ケース会議等の開催・参加状況

状況	回数
個別ケース会議	21回
重層的支援会議	なし

(イ) 相談支援機関等との連携会議等の開催・参加状況

・相談支援機関等との連携会議等の状況

会議名・概要等	回数
日常生活自立支援事業（まもりーぶ）利用判定会議	9
東松島つながる・つなげる多職種ネットワーク 「おいおいの会」コアメンバー会議	2
東松島市民生委員児童委員協議会定例会	1
生活困窮者自立支援事業における支援調整会議	6
公営住宅サポート担当者会議	1
石巻地域不登校・ひきこもり支援者のつどい運営会議	2
やもとケアマネネットワーク役員会	3
ホームスタート運営会議	1
東部・中部・西部地域包括支援センター所長会議	1
合計	26

・相談支援機関等との情報交換会

日付	実施内容	参加者
5月12日	財務相東北財務局との情報交換会	東北財務局理財部2名、社協副事務局長、社協CSW、くらし安心所長、社協包括化推進員
5月19日	華の園とくらし安心サポートセンター事業との連携について情報交換会	華の園施設長、事務長、くらし安心相談員、社協包括化推進員
5月28日	仙台保護観察所保護観察官との情報交換会	保護観察官1名、くらし安心CSW、社協包括化推進員

6月9日	東松島高校との意見交換会	東松島高校進路指導部長、 くらし安心所長、社協包括 化推進員
8月7日	社会福祉法人 夢みの里との情報交換会 ・東松島市社会福祉法人連絡会の取組みに ついて	夢みの里2名、レインボー 紙風船1名、社協副事務局 長、社協包括化推進員
9月5日	石巻圏域社会福祉協議会情報交換会	石巻市社協6名、女川町社 協5名、東松島市社協6名

ウ 困難ケースに関する定期的な状況のフォロー

(ア) 東部包括虐待ケース進捗確認会議

概要等	回数	参加者
進捗状況の確認と評価や計画等の確 認	26	東部包括所長、看護師、社会福祉士、 相談支援包括化推進員

(イ) くらし安心サポートセンター会議

概要等	回数	参加者
ケースの支援状況やプランの確認、 支援方針等についての検討	31	くらし安心サポートセンター全相談 員、相談支援包括化推進員

エ その他

(ア) 多機関連携事業報告共有会議

概要等	回数	参加者
個別ケースの進捗状況の共有 活動状況の共有 事業の進め方についての相談、助言、 意見交換等	12	市福祉課課長補佐、市福祉課地域福祉 推進係長、市福祉課地域福祉推進係保 健師、社協副事務局長、社協相談支援 係長（相談支援包括化推進員）

オ 地域における相談支援包括化ネットワークの構築を図るために必要となる事業

(ア) 地域支え合い会議等への参加状況

個別の困りごとの他に地域での困りごとも把握することで、支援機関と地域で活動するコー  
ディネーター、地域住民が連携協働して個別支援と地域づくりの一体的支援へつなげる。

会議名・概要等	参加者
室浜地域支え合い会議	自治会長、集落支援員、地域住民、認知 症地域支援コーディネーター、いろど りの丘、社協 SC 兼 CSW、社協包括化推進員
月浜大浜地区地域支え合い会議	自治会長、自治会役員、民生委員、認知 症地域支援コーディネーター、いろど りの丘、社協 SC 兼 CSW、社協包括化推進員
野蒜ヶ丘二丁目地域支え合い会議	自治会長、民生委員、西部包括、認知症 コーディネーター、社協 CSW 兼 SC、社協 包括化推進員
ボランティアとの情報交換会	ボランティア2名、石巻ベビースマイル 代表、社協地域福祉課長、社協 CSW 兼 VC、

	社協 CSW 兼 SC、社協包括化推進員
石巻地域不登校・ひきこもり支援者のつどい運営会議（再掲）	石巻 NOTE、K2 ハウス、TEDIC、東部保健福祉事務所、市健康推進課、くらし安心サポートセンター地域づくり CSW、東部包括（在宅医療介護連携推進員）、社協包括化推進員
てあわせ・のほら（障害の有無や世代を超えて、ゆるやかな出会いとつながりをつくり場）主催イベントの打合せ	てあわせ事務局、社協 CSW 兼 VC、地域担当 CSW、包括化推進員
やもとケアマネネットワーク役員会（再掲）	役員 5 名、東部・中部・西部包括支援センター主任介護支援専門員、社協包括化推進員
東松島つなげる・つなげる多職種ネットワーク「おいおいの会」コアメンバー会議（再掲）	医師、歯科医、薬剤師、訪問看護師、作業療法士、特養施設長、大学教授、市福祉課、在宅医療介護連携推進員（東部包括）、社協包括化推進員

（イ）研修会等

・令和 7 年度 地域共生社会推進研修会

高齢・障害・子ども・困窮など各分野の相談支援機関では、個人や世帯が抱える孤立や孤独、ひきこもり、8050 問題、ヤングケアラー、ごみ屋敷などの課題が、複雑化・複合化していて、それぞれの分野だけで支えるのは限界がある。制度・分野ごとの縦割りや「支える側」、「支えられる側」という従来の関係から、人と人、人と社会が世代や分野を超えてつながり、生きがいや役割を持ち、支え合いながら暮らしていくことのできる包括的なコミュニティを地域と共に創っていく地域共生社会の実現を目指す。

日付	内容	参加者
9 月 25 日	創立 20 周年記念事業 原田正樹学長特別講演会 「地域共生社会の実現に向けて ～社会福祉法改正の動向と課題・東松島市へのエール～」 講師：日本福祉大学学長 原田 正樹 氏	社協職員、市職員、他市町村社協職員、社協役員等 計 40 名
11 月 26 日	令和 7 年度地域共生社会推進研修会 「支え合いってなあに？～ふだんのくらしのしあわせから考える～」 第 1 部 10 時～11 時 30 分 第 2 部 14 時～15 時 30 分 講師：ご近所福祉クリエイター酒井 保 氏	第 1 部：30 名 第 2 部：22 名 計 52 名



・地域共生社会への取組みについて視察研修

日 付 7月11日

視察先 Openvillage ノキシタ（仙台市田子）

参加者 住民ボランティア3名、実習生2名、社協CSW1名、くらし安心CSW2名、  
社協包括化推進員1名 計9名



・南国市社会福祉協議会視察研修受け入れ

日 付 8月1日

内 容 東松島市社協の事業概要について

- ・ボランティアセンター事業について
- ・子ども若者の居場所づくり支援事業について
- ・包括的な支援体制について
- ・生活困窮者自立支援事業について
- ・生活福祉資金貸付事業について
- ・ひがまつBLUE ネットについて

参加者 南国市社協（事務局長・地域福祉課長・地域福祉推進係長）

東松島市社協（会長・局長・副局長・経営管理係長・相談支援係長）



②包括的な支援体制づくりのための連携・協働する場の整備

ア 被災者支援事業から包括的な支援体制（重層的支援体制整備事業）への移行プロセス  
東日本大震災の第2期復興・創生期間終了と地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の構築を目指し、組織横断の推進体制により「被災者サポートセンター事業終結に向けた被災者支援事業から包括的な支援体制への移行プロセス」を策定し、相談支援チームと地域づくりチームに分かれて事業実施した。

相談支援チーム（相談支援包括化推進員・地域づくり係LSA、くらし安心、東部包括）としては、291世帯を対象とした世帯アセスメントを実施し、高齢化による病気等への不安、地域や社会とのつながりが無い孤独・孤立の問題、長期末就労や8050問題などの地域課題の把握と支援の必要性について世帯アセスメントのまとめを作成し、民生委員や地域包括支援センターとの情報共有へつないだ。

日付	概要等
4月4日	相談支援チーム第6回 打ち合わせ ・世帯アセスメント実施 対象地区：あおい三丁目、町浦
4月18日	相談支援チーム第7回 打ち合わせ ・世帯アセスメント実施 対象地区：小松南
5月9日	相談支援チーム第8回 打ち合わせ ・世帯アセスメント実施 対象地区：野蒜ヶ丘一丁目、野蒜ヶ丘二丁目
5月30日	相談支援チーム第9回 打ち合わせ ・世帯アセスメント実施 対象地区：野蒜ヶ丘二丁目、野蒜ヶ丘三丁目
6月12日	相談支援チーム第10回 打ち合わせ ・世帯アセスメント実施 対象地区：野蒜ヶ丘二丁目
6月17日	相談支援チーム第11回 打ち合わせ ・世帯アセスメント実施 対象地区：野蒜ヶ丘三丁目 ※世帯アセスメント終了
9月3日	相談支援チームと地域づくりチームの進捗 状況確認と今後の進め方について
9月4日	移行プロセスにおける民生委員との連携について

#### イ 世帯アセスメント共有会議

被災者サポートセンター事業終結に向け、これまでの被災者支援事業や社協の取り組みで培った経験を包括的支援体制づくりへつなげていくため、被災者支援事業で実施してきた世帯アセスメントをもとに現状を評価し、個別の課題を抽出、支援の必要な方は各支援機関へつなぎを行いながら、社協と関係機関及び地域と連携した見守り体制の構築を推進した。

##### (ア) 地域包括支援センターとの世帯アセスメント共有会議

日付	概要等	場所	参加者
令和8年 1月26日	第1回 西部地区 1 世帯アセスメントの経緯と今後について 2 世帯アセスメント共有ケースについて	地域福祉交流 プラザ	西部地域包括支援 センター、社協LSA、 社協西部地区担当 CSW、社協包括化推 進員
1月26日	第2回 東部地区 1 世帯アセスメントの経緯と今後について 2 世帯アセスメント共有ケースについて	地域福祉交流 プラザ	東部地域包括支援 センター、社協LSA、 社協東部地区担当 CSW、社協包括化推 進員
1月30日	第3回 中部地区 1 世帯アセスメントの経緯と今後について 2 世帯アセスメント共有ケースについて	地域福祉交流 プラザ	中部地域包括支援 センター、社協LSA、 くらし安心、社協包 括化推進員

(イ) 民生委員との世帯アセスメント共有会議

日付	内 容 等	場 所	参加者
令和8年 3月17日	あおい二丁目民生委員との情報共有	地域福祉交流プラザ	担当民生委員、サポートセンターLSA、社協（地域福祉課長・CSW・相談支援係長）
3月18日	あおい一丁目民生委員との情報共有	地域福祉交流プラザ	担当民生委員、サポートセンターLSA、社協（地域福祉課長・CSW・相談支援係長）
3月19日	二反走民生委員との情報共有	地域福祉交流プラザ	担当民生委員、サポートセンターLSA、社協（地域福祉課長・CSW・相談支援係長）
3月19日	野蒜ヶ丘二丁目民生委員との情報共有	地域福祉交流プラザ	担当民生委員、サポートセンターLSA、社協（地域福祉課長・CSW・相談支援係長）

ウ 各種会議等への参加

日付	内 容
8月26日	令和7年度 第1回宮城県地域共生社会推進会議 基調講演 「地域共生社会の実現に向けた様々な主体との連携～居場所づくりの実践から～」 宮城県児童館・放課後児童クラブ連絡協議会 副会長 荒木 裕美氏 事例報告 「みさとっこマーケット～みさとっこが自慢できる町へ～」 みさとっこマーケット実行委員会 代表 桜井 志朗氏
9月12日	令和7年度市町村・市町村社会福祉協議会地域福祉担当者会議 講義 「地域共生社会の実現に向けた今後の方向性」 講師 厚生労働省社会・援護局地域福祉課地域共生者化推進室 室長補佐 武田 遼介氏 グループワーク 「包括的な支援体制を構築するために必要なつながり先と支援」
9月24日	令和7年度日常生活自立支援事業市町村社会福祉協議会担当者会議 情報共有 ・要綱及び要領の新規制定について ・新日自事業（仮称）について ・モデル事業について

エ その他

(ア) 出前講座

日付	実施内容	参加者
4月23日	ことぶき会新人職員研修会 「地域福祉推進計画と東松島市社会福祉協議会の事業内容について」 講師 東松島市社会福祉協議会 副局長 千葉 貴弘 CSW 兼 SC 眞籠 孝史 相談支援包括化推進員 木村 佳美 会場：はまなすの里	ことぶき会職員 10名
12月9日	居宅介護支援事業所（ふかや・旭壽会・花水木）研修会 「事例勉強会」 講師 東松島市社会福祉協議会 木村 佳美	ケアマネジャー 22名

イ 居場所づくり支援事業

(ア) クールシェア

近年は気候変動に伴う暑熱環境の悪化等により、熱中症のリスクが高まっています。熱中症は短時間で症状が進行するケースが多く、重症化すると命にかかわることとなりだれもがかかるとの可能性がある。

この状況を踏まえ、物価高騰等による家計への影響も鑑み「涼を共有する場」として、また、夏季休業中など長時間一人で過ごす子供たちの「孤立の解消」の場として東松島市地域福祉交流プラザの交流室を開放し、地域福祉拠点機能を発揮する。

また、クールシェアを通じて、孤立や不登校、ひきこもり等、課題を抱えている児童等を把握することも目的として実施した。

開催期間 7月1日～9月30日

場 所 東松島市地域福祉交流プラザ

内 容 フリースペース

- ・涼を共有する場、及び、自主学習に取り組んだりゆるやかな交流を育む場を提供する
- ・水分補給用の麦茶などを提供し熱中症予防に取り組む
- ・心身ともに安全に過ごせるよう、職員による見守りや声かけを行う

【対 象】 東松島市民（子どもから高齢者までどなたでも）

【参加人数】 226名（7月・75名、8月・74名、9月・77名）

(イ) 東松島市地域福祉交流プラザ「ふらっと」

地域のつながりが無い、知り合いがいない、家庭や地域での役割がないなど、社会との接点や交流の機会がない方々がいる現状がある。世代や地区、障害の有無などに関わらず、どなたでもふらっと立ち寄れる出会いと交流の場「ふらっと」を開設するとともに運営するボランティアの育成と協働を通し、「地域共生社会」の実現に向けて取り組んでいく。

日 付 毎月第1・3火曜日、10時～15時

場 所 東松島市地域福祉交流プラザ

内 容 茶話会・歌声喫茶・いちご大福づくり 等

参加者 延べ183名、ボランティア延べ42名



#### (ウ) みんなの居場所「春のふらっと」

市内では、百歳体操や各種サロン、趣味活動など、地域住民による自主的な活動が活発に行われており、交流や健康づくり、孤立防止などに寄与している。

一方で、地域とのつながりが少ない方など、社会との接点や交流機会が十分でない方も見受けられ、近年は共働き世帯の増加等により、春休み期間中に家庭以外で安心して過ごせる場を必要とする子どもたちのニーズも高まっている。

こうした状況を踏まえ、世代や地域、障害の有無に関わらず、誰もが気軽に立ち寄れる居場所を期間限定（3月25日～4月7日）で開所するとともに、子どもたちにとっても安心して過ごせる居場所機能を持たせることで、出会いと交流の機会を創出し、「地域共生社会」の実現に向けたきっかけづくりに取り組んだ。

日 付 3月25日～4月7日

開催時間 10時～15時

場 所 東松島市地域福祉交流プラザ

内 容 フリースペース（友人との交流・多世代交流等）

参加者 89名

#### (エ) 池の内ベース

家族や社会とのつながりが無い、ひきこもりや長期未就労など、不安を抱えている方が安心して過ごせる「居場所」。

ゆるやかな活動の中でつながりを持ち、将来への希望や目標を見つけたり、社会参加に向けた一歩を見つけ踏み出せるよう、関係機関、地域等と連携しながら「ゆるやかなつながりの場」を提供した。

日 付 毎月第2・4火曜日

場 所 池の内

内 容 茶話会・よもぎ団子づくり・畑作業・梅の実収穫作業・小枝のワークショップ・芋煮会・クリスマス会・大掃除・防災ワークショップ・宮戸ウォーキング 等

参加者 延べ96名、ボランティア延べ60名



※令和7年度池の内メンバー7名のうち、4名が就労につながり、1名は就労準備のための活動へ移行した。

### ③福祉なんでも相談窓口事業

#### ア 東松島市社会福祉法人連絡会

(ア) 東松島市社会福祉法人連絡会幹事会及び総会の開催  
幹事会

日付 7月4日 15時～15時30分

開催方法 オンライン

協議事項

- (1) 連絡会会員候補者の推薦について
- (2) 令和6年度事業報告について
- (3) 令和7年度事業計画について

参加者 やすらぎ会常務理事、愛育会理事長、慶和会施設長・事務長、  
東松島福祉会事務局次長、ことぶき会理事長、東松島社協事務局長・副事務局長

総会

日付 7月11日 15時～15時30分

場所 地域福祉交流プラザ

議案審議

- 議案第1号 東松島市社会福祉法人連絡会役員の選任について  
議案第2号 令和6年度事業報告について  
議案第3号 令和7年度事業計画について

参加者 やすらぎ会常務理事・施設長、愛育会理事長・事務局長、慶和会事務長・  
施設長、東松島福祉会施設長・事務局次長、ことぶき会理事長・施設長、  
社協会長、東松島市保健福祉部部長・課長

#### (イ) 福祉なんでも相談

市内9ヶ所(社協・不老園・はまなすの里・共生園・ぎんの星・華の園・カノン・赤井の里・花いちもんめ)の法人施設で「福祉なんでも相談」の窓口を開設し、分野を問わない相談対応に取り組んでいる。

令和7年度においては、「福祉なんでも相談」窓口対応の他、他地域での取り組みを学ぶための視察研修やスキルアップのための研修会の開催、東松島市産業祭での「福祉なんでも相談」PR活動など地域で開催されるイベントへ参加し、地域住民へ「福祉なんでも相談」の周知啓発活動も実施した。

・福祉なんでも相談窓口のヒアリングとまとめ

【ヒアリング訪問先】8ヶ所（ぎんの星・矢本華の園・不老園・はまなすの里・共生園・カノン・花いちもんめ・赤井の里）

【ヒアリングのまとめ】

#### 1 各窓口の状況

- ・地域住民がなんでも相談で来ることはほとんどない。
- ・高齢、障害等、それぞれの分野の相談がほとんど。
- ・障害事業所では、利用者の家族のことでの相談も対応されていて、世帯への支援として関わっている。

#### 2 研修等の要望

- ・障害者虐待の研修
- ・成年後見制度の研修
- ・身寄りのない人の保証人等の対応
- ・地域福祉の意識を持ってもらえるようなイベントの開催（ふくしまつりとか）

#### 3 各施設が地域で行っていること

（華の園）

- ・認知症カフェの移動支援（足がなくて参加できないという声もある）、今後、法人連携としてできないか。

➡課題は、事故や保険の問題・継続性の問題・人的問題・職員対応の問題

（不老園）

- ・第2木曜日、認知症カフェ開催、15～20名参加、送迎している、福祉なんでも相談のPR実施。

（はまなすの里）

- ・地域の百歳体操（2週/1回）に職員参加、送迎等の支援をしている。

（共生園）

- ・年1回、クリスマス会、地域の自治会長や民生委員にも声かけて参加してもらっている。

（赤井の里）

- ・月1回、認知症カフェ開催、送迎している。地域の保健推進員も参加し、約30名が参加している。

#### 4 要望等

- ・社協だよりも福祉なんでも相談の取組みをのせてPRする。
- ・ひきこもりの方への就労支援ができないか。

#### 5 見えてきた地域課題

- ・移動手段がないと行きたくても社会参加できない。
- ・家族が遠方にいる場合の対応について（お金がない、入院や手術、急な対応等）。
- ・保証人や身寄りがない人の対応。

(ウ) 福祉なんでも相談ネットワーク会議

日 付 5月16日 13時30分～15時

場 所 地域福祉交流プラザ

内 容 1 令和6年度「福祉なんでも相談」実績について  
2 令和7年度の取組みについて  
3 県内他地域の「地域における公益的な取組み」について  
4 意見交換

参加者 不老園施設長・相談員、カノン所長、共生園園長、ぎんの星管理者、  
花いちもんめ相談員、赤井の里相談員、ことぶき会理事長、はまなすの里  
施設長、東部包括、中部包括、西部包括、くらし安心

(エ) 福祉なんでも相談のための研修会

・令和7年度福祉なんでも相談移動研修会

日 付 8月20日 10時～11時30分

場 所 涌谷町社会福祉協議会

内 容 情報交換会

- 1 福祉わくわくネットワークの取組について
- 2 意見交換

参加者：赤井の里、不老園、ぎんの星、社協、計7名  
涌谷町社協会長、事務局長等 計6名



・スキルアップ研修会

日 付 9月11日 13時30分～15時30分

場 所 地域福祉交流プラザ

内 容 「障害者虐待研修会～当事者の意思決定支援について～」

講 師 宮城県障害者権利擁護センター・宮城県障害者差別相談センター  
所長 鈴木 みゆき 氏

参加者 ぎんの星、とも、花いちもんめ、くらし安心、東部包括、中部包括、  
赤井の里、社協、市福祉課 計16名

日 付 12月17日 13時30分～15時30分

場 所 地域福祉交流プラザ

内 容 「成年後見制度の基本と意思決定支援について」

講 師 宮城県社会福祉士会 副会長 小湊 純一氏

参加者 松島医療生協、共生園、赤井の里、不老園、花いちもんめ、はまなすの里、  
真壁病院、さつき、東部包括、中部包括、西部包括、くらし安心、市福祉課  
計23名

(オ) 福祉なんでも相談 PR 活動

- ・産業祭 SDGS ブースでの「福祉なんでも相談」PR 活動

日 付 11月9日  
場 所 大曲体育館  
参加者 福祉なんでも相談員2名  
東部包括在宅医療介護連携推進員  
社協包括化推進員



- ・「みんなののほら ♣ てあわせカフェ」

音楽を通して障がいの有無や世代を超えて、誰もが自由に関わり、自分らしくいられる『ゆるやかな出会い』と『つながりをつくる場』での出張福祉なんでも相談会開催

日 付 11月22日  
場 所 赤井市民センター  
参加者 地域住民約50名 社協CSW 社協包括化推進員

- ・東松島市社会福祉協議会創立20周年令和7年度「ゆったりサロン」での「福祉の相談窓口の紹介」

地域包括支援センター（東部、中部、西部）、くらし安心サポートセンター  
東松島市社会福祉法人連絡会「福祉なんでも相談」

日 付 12月20日  
場 所 東松島市コミュニティセンター  
参加者 地域住民等 約100名

- ・「老人福祉センター交流会」でのPR

日 付 令和8年1月22日  
場 所 老人福祉センター  
内 容 社協事業の説明、福祉なんでも相談の説明  
団体の活動紹介（篠笛教室・四葉会・点訳サークル・千代の会・  
サンサンサン・手話を学ぶ会）  
ランチミーティング

#### ④部門間横断の相談支援体制づくり

##### ア CSW等連携協働会議

複数分野にわたる複合的な問題を抱える対象者・世帯に対し、社協として分野横断的かつ包括的に支援する体制を推進するため、社協内部の連携・協働する場を構築する。また、コロナ禍を通じて顕在化した地域生活課題を共有し、それぞれの事業を通して連携協働して、課題解決に対応するための事業間連携を推進する。

日 付 7月31日・9月3日・1月15日  
内 容 ・第2層協議体・第3層協議体・地域支え合い活動助成事業における今年度計画について

- ・被災者支援事業から包括的な支援体制への移行プロセスについて進捗状況の共有

参加者 地域福祉課長、地域づくり係（SC 兼 CSW・CSW・CSW 兼 VC）  
相談支援係（包括化推進員・くらし安心 CSW・東部包括（社会福祉士）

※この会議を活用して社協内部部門間連携を強化していき、今後の個別支援と地域づくりの一体的支援を推進していく。

#### イ 市教育支援センター（ひがまつ BASE「くら」）との協働

日 付 令和 8 年 2 月 4 日 10 時～

場 所 ひがまつ BASE「くら」

内 容 ニュースポーツ体験（スカットボール、バグジー、ペタンク） & お楽しみ会（焼き芋、ホットケーキ等づくり）

講 師 松島自然の家 庄司晃班長

参加者 利用児童 9 名、教育支援センター職員 6 名、ボランティア 1 名、卒業生 1 名  
くらし安心 CSW、社協包括化推進員



#### ウ 放課後デイサービス紙風船との交流

日 付 11 月 28 日 14 時 30 分～

場 所 レインボー紙風船

内 容 スイートポテトづくり

参加者 利用者 11 名、スタッフ 5 名、社協包括化推進員、くらし安心 CSW



#### エ 食でつながるネットワークミーティング

日 付 令和 8 年 2 月 18 日 13 時 30 分～15 時

場 所 地域福祉交流プラザ

内 容 1 事業紹介

- ・生活困窮者自立支援事業の概要
- ・令和 7 年度食品の寄付と食料支援の状況について
- ・食糧支援を通じた自立支援について

2 情報提供

「亘理町社協の実践について」

講 師 亘理町社会福祉協議会 係長 佐藤 寛子 氏

参加者 地域食堂団体、フードバンク関係団体、地域住民等 計 34 名



オ 主任児童委員等とのフードバンクを通じたつながりづくり

日付	内 容 等	場 所	参加者
令和 8 年 3 月 2 日	<p>○訪問時のフードバンク活用について</p> <p>➡主任児童委員と子育て世代のつながり継続のため、訪問ツールとして活用してもらう</p> <p>○主任児童委員の活動現状の共有と今後の支援について</p> <p>➡月 1 回、毎月第 3 金曜日にフードバンクの食料提供する (3 月は 27 日に提供する)</p>	地域福祉交流 プラザ	主任児童委員 3 名 くらし安心 2 名 社協包括化推進員

※3月27日、訪問対象者へのツールとして、袋詰めしたフードバンクを主任児童委員3名へ配布した。 【配布世帯】17世帯

カ 東松島みらいとし機構と連携協働によるフードドライブ・フードバンク周知啓発活動

日 付 令和 8 年 2 月 22 日

場 所 東松島市パークゴルフ場

内 容 東松島市フードバンクパークゴルフ大会

参加者 地域住民 100 名



※東松島市パークゴルフ場の呼びかけにより、参加者一人1品の食料とフードバンク活動への寄付金の協力もいただいた。

【寄付食料総重量】約 30kg 【寄付金】44,358 円

## ⑤孤独・孤立対策に関する広報・啓発活動

・社協だより「ふれあいねっと」や「ふらっと」で歌声喫茶を開催し、孤独・孤立対策強化月間の周知を図った。



## ⑥行政との「パートナーシップ」の醸成

ア 東松島市設置の各種会議への参画

(ア) 東松島市自死対策地域連絡協議会への出席

日付 令和8年1月26日

内容 協議事項

- ・全国及び東松島市自死の現状令和7年度東松島市自死対事業実績報告および令和8年度自死対策の取組み
- ・意見交換

(イ) 東松島市多職種連携 ICT システム運用部会への出席

日付 令和8年2月17日

内容 令和7年度第2回東松島市多職種連携 ICT システム運用部会

- ・ひがまつ BLUE ネット活用状況報告
- ・ひがまつ BLUE ネット研修会報告
- ・令和7年度ひがまつ BLUE ネット利用に関するアンケート調査回収状況

(ウ) 東松島市空き家等対策協議会への出席

日付 令和8年3月18日

内容 令和7年度第1回東松島市空き家等対策協議会

- ・令和7年度事業実績について
- ・令和8年度事業計画について
- ・第2次空き家等対策・利活用計画の策定について

## (3) 生活福祉資金貸付事業（宮城県社会福祉協議会からの受託）

### ①生活福祉資金貸付事業の実施

・低所得者、障害者または高齢者に対する生活福祉資金の貸付と相談支援並びに県社協からの依頼により償還に向けた支援を行った。

・申請内訳 緊急小口資金 3件、福祉資金福祉費その他費用1件、教育支援資金1件

取扱状況	相談受付数	償還へ向けた支援	本年度県社協への申請数
	36	12	5

生活福祉資金貸付 相談受付内訳								
総合 支援 資金	福祉資金-福祉費						緊急小 口資金	教育支 援資金
	葬祭 費	療養 費	転居費	住宅修 繕費	障害者用 自動車購 入費	その他 費用		
4	2	2	7	2	1	1	7	6

## ②生活復興支援資金貸付事業の実施

### ア 職員配置状況

生活福祉資金貸付相談員

常勤2人(10/1 から1名増員し、生活福祉資金貸付事業と一体的に実施)

### イ 特例緊急小口資金の償還状況(東日本大震災関連)

・貸付総数：1,697件      ・貸付総額：262,380,000円

・令和7年度の状況 年間償還額 2,432,185円

償還者数 71人 完済者 1人 免除 2人

相談件数 3件

## ③コロナ特例貸付借受人へのフォローアップ支援

### ア 貸付実施後の免除・猶予の件数(令和7年度分)

区 分	免除決定理由			納付 猶予
	非課税等	破産・債務整理	生活保護	
緊急小口資金	1	1	0	0
総合支援資金(初回)	2	1	0	2
総合支援資金(延長)	0	0	0	0
総合支援資金(再貸付)	1	0	0	0

### イ 相談支援件数 8件

#### 【支援内容】

- ・猶予申請の為の意見調査書作成支援
- ・家計改善支援(家計の見える化、破産手続きなど弁護士へのつなぎ、支払いの優先順位の検討など)
- ・生活支援(関係機関への情報提供及びフードバンクの提供等)

### ウ 休日弁護士相談会(再掲)

日付	当日参加者数	支援内容	
9月6日 10時～15時	3名	個別相談 債務整理(自己破産) 等の相談	案内文発送158件 ・食料提供実施

### エ 夜間相談会(再掲)

日付	当日参加者数	支援内容	
12月16日 18時～20時	5名	個別相談 免除・猶予申請支援	案内文発送152件 ・食料提供実施

#### (4)生活安定資金等貸付事業

##### ①生活安定資金貸付事業の実施

・低所得世帯に対する必要な生活資金の貸付を行い、自立更生と生活の安定に寄与することを目的に実施。家計相談や就労支援等の支援も行い、生活の立て直しおよび生活の安定を図った。

- ・生活安定資金の債権管理
- ・長期滞納者・連帯保証人に対する督促状の送付
- ・生活福祉資金・生活安定資金による貸付では、家賃滞納により退去を余儀なくされている方、離職後の生活費、入退院の支払いのため生活費が不足するなど急を要する状況への支援として実施し、25名がプランとなっている。

##### ②一時援護資金貸付事業の実施

・生活保護申請中の世帯に対し、小口の資金の貸付と必要な相談支援を行い、保護決定までのつなぎ資金の貸し付けを行った。

	本年度貸付金額	本年度回収金額	本年度末貸付残高
生活安定資金	1,260,000円(31件)	1,109,000円	2,368,000円(68件)
一時援護資金	670,000円(24件)	557,000円	173,000円(6件)

#### (5) 日常生活自立支援事業（まもり一ぶ）（宮城県社会福祉協議会からの受託）

##### ①日常生活自立支援事業（まもり一ぶ）の実施

###### ア 相談受付状況

(人)

	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合計
新規受付数	2	1	0	0	3
利用者総数	11	5	5	0	21

- ・契約に基づく利用者への具体的な援助や支援  
福祉サービスに関する相談と助言・郵便物等の確認・日常的な金銭の管理・諸費用の支払い・年金や手当の受取・書類等の預かり
- ・利用者からの預託物品 通帳 21通 印鑑 4本
- ・支援員数 4人
- ・利用判定会議出席 9回

##### ②地域における権利擁護支援のあり方検討の推進

- ・日常生活自立支援事業（まもり一ぶ）におけるモデル事業の実施

日常生活自立支援事業（まもり一ぶ）は、これまで石巻市社協を実施主体とし、東松島市社協は協力社協として事業を実施してきた。石巻市社協が令和8年度から同事業を終了する方針となったことを受け、東松島市の利用者21名への支援のあり方について内部協議を行った。あわせて、令和8年度からの東松島市社協による単独実施に向け、宮城県社協のモデル事業に取り組んだ。

10月からは、まもり一ぶ事業の中心となる専門員1名を配置し、石巻市社協から事業を引き継ぎ、その実務的支援を受けるとともに、宮城県社協から事業移行における協力を得て、移行準備を進めた。

### 3. 在宅介護事業拠点区分

#### (1) 訪問介護事業

##### ①介護保険サービス・②障害福祉サービス・③産前産後ヘルパー事業

訪問介護事業全体の月平均利用者数は、前年度の 85.0 人から 81.3 人へと 3.8 人減少した。介護保険サービス利用者は 57.0 人から 57.4 人、障害福祉サービス利用者は 13.5 人から 13.7 人とほぼ横ばいで推移した一方、産前産後ヘルパー事業やほっとサービスの利用者数は減少した。

また、ヘルパーの常勤換算数は 7.0 人から 6.2 人へ減少し、月平均サービス提供時間も 759 時間から 671 時間へと減少した。利用者数は一定程度維持しているものの、サービス提供体制には引き続き課題があるため、登録ヘルパーの確保と定着を図り、安定的な事業運営に努めていく必要がある。

			延べ利用者数		月平均利用者数		
			人数	構成比	前年度 (A)	今年度 (B)	差異 (B-A)
介護保険	介護 給付	要介護 5	15	2.2	1.2	1.3	0.1
		要介護 4	59	8.6	5.5	4.9	△ 0.6
		要介護 3	19	2.8	0.7	1.6	0.9
		要介護 2	74	10.7	7.4	6.2	△ 1.3
		要介護 1	134	19.4	10.7	11.2	0.5
		小計	301	43.7	25.4	25.1	△ 0.3
	予防 給付	要支援 2	205	29.8	16.9	17.1	0.2
		要支援 1	183	26.6	14.0	15.3	1.3
		事業対象	0	0.0	0.7	0.0	△ 0.7
		小計	388	56.3	31.6	32.3	0.8
計			689	100.0	57.0	57.4	0.4
障害福祉	身体障害		37	22.6	3.3	3.1	△ 0.2
	精神障害		84	51.2	6.9	7.0	0.1
	地域生活支援		43	26.2	3.3	3.6	0.3
	計		164	100.0	13.5	13.7	0.2
産前産後ヘルパー			1		1.7	0.1	△ 1.6
ほっとサービス			121		12.8	10.1	△ 2.8
合計			975		85.0	81.3	△ 3.8
サービス提供時間			8051:25		759	671	△ 88.0
ヘルパー常勤換算数					7.0	6.2	△ 0.8
ヘルパー 1人当たり	利用者数				12.1	13.0	0.9
	提供時間				108	108	0.0

## (2) 居宅介護支援事業

### ① 居宅介護支援事業の実施

居宅介護支援事業においては、前年度の介護支援専門員の退職に伴う体制縮小を受け、令和7年度は事業体制の立て直しと利用者数の回復に取り組んだ。

月平均利用者数は、前年度の102.8人から92.5人へと減少した。年度当初から新規利用者の受入れを行っていたものの、入院・入所、死亡等による終結が相次ぎ、利用者数は伸び悩んだ。

そのため、年度後半からは地域包括支援センターへの空き情報の提供をこまめに行うなど、新規利用者の確保に向けた取組を強化した。その結果、3月には利用者数が108人まで回復した。今後も、地域包括支援センター等との連携を図りながら、安定した利用者確保と事業運営基盤の回復に努める必要がある。

		延べ利用者数		月平均利用者数		
		人数	構成比	前年度 (A)	今年度 (B)	差異(B-A)
介護給付	要介護5	98	8.8%	10.3	8.2	△ 2.2
	要介護4	98	8.8%	15.4	8.2	△ 7.3
	要介護3	149	13.4%	10.9	12.4	1.5
	要介護2	229	20.6%	23.6	19.1	△ 4.5
	要介護1	362	32.6%	28.5	30.2	1.7
小計		936	84.3%	88.8	78.0	△ 10.8
予防給付	要支援2	107	9.6%	8.2	8.9	0.8
	要支援1	67	6.0%	5.9	5.6	△ 0.3
	事業対象	0	0.0%	0.0	0.0	0.0
小計		174	15.7%	14.1	14.5	0.4
合計		1,110	100.0%	102.8	92.5	△ 10.3
ケアマネ常勤換算数				2.7	3.0	0.3
ケアマネ1人当たり利用者数				35.0	27.6	△ 7.4

※1人当たり利用者数の算定：予防給付の利用者数は3分の1でカウントしている。

#### 4. 被災者支援事業拠点区分

##### (1) 被災者サポートセンター運営事業（東松島市からの受託）

##### ① 寄り添い型被災者生活支援の実施

- ・災害公営住宅を対象とした戸別訪問を継続的に実施することで、生活課題を早期に発見し、関係機関につなぎ、連携して対応した。

ア 令和7年度災害公営住宅訪問世帯数(280)…令和8年3月31日現在

赤井…柳の目西(11)

矢本東…あおい一丁目(41)、二丁目(44)、三丁目(33)、町浦(9)

矢本西…小松南(57)、矢本西(18)

野蒜…野蒜ヶ丘一丁目(0)、二丁目(38)、三丁目(29)

##### イ 災害公営住宅訪問数

時期	矢本東地区 (赤井・矢本東)			矢本西地区 (矢本西)			鳴瀬地区 (野蒜)			訪問 合計	面会 合計	不在 合計
	訪問数	面会数	不在数	訪問数	面会数	不在数	訪問数	面会数	不在数			
4月	198	140	58	110	74	36	154	116	38	462	330	132
5月	192	155	37	112	90	22	171	124	47	475	369	106
6月	197	149	48	121	79	42	170	111	59	488	339	149
7月	206	141	65	120	80	40	167	124	43	493	345	148
8月	194	147	47	109	77	32	153	121	32	456	345	111
9月	211	144	67	116	83	33	157	119	38	484	346	138
10月	301	216	85	119	83	36	150	122	28	570	421	149
11月	210	141	69	100	69	31	155	103	52	465	313	152
12月	212	146	66	115	85	30	175	135	40	502	366	136
1月	191	136	55	97	72	25	150	100	50	438	308	130
2月	192	126	66	102	63	39	149	105	44	443	294	149
3月	171	124	47	93	65	28	76	63	13	340	252	88
合計	2,475	1,765	710	1,314	920	394	1,827	1,343	484	5,616	4,028	1,588

##### ウ 要望・相談数

時期	サポートセンター				地域 包括	くらし 安心	弁護士 相談	合計
	健康 生活支援	住環境	その他	小計				
4月	1	0	0	1	0	0	0	1
5月	0	0	1	1	0	0	0	1
6月	2	0	2	4	2	0	0	6
7月	2	0	3	5	6	0	0	11

8月	1	0	0	1	3	0	0	4
9月	1	0	0	1	1	0	0	2
10月	1	0	0	1	1	0	0	2
11月	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	1	0	0	1	0	0	0	1
合計	9	0	6	15	13	0	0	28

エ 生活支援相談員が関係機関につないだ数

つなぎ先	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
健康推進課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福祉課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建築住宅課	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
地域包括支援センター	0	0	2	3	1	0	0	0	0	0	0	0	6
くらし安心SC	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3
ケアマネジャー	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3
民生委員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
住宅管理センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ひがまつ安心サポート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	1	4	5	1	1	1	0	0	0	0	1	15

オ 関係機関との連絡調整会議

会議等名	開催回数	検討ケース数	従事者数
公営住宅サポート担当者会議	4	41	54
あおい地区見守り部会会議	10	216	163
LSA会議	12	65	63
その他連絡調整会議	28	263	264
合計	54	585	544

- ・年間を通してLSA会議を開催し市福祉課、建築住宅課と情報共有することができた。
- ・定期的に自主開催しているあおい地区見守り部会の会議に生活支援相談員が出席し、地区内の活動状況や生活課題等の情報共有に努めた。

②復興支援ボランティアの受入れ調整と派遣

「学生よさこいチームおどりんちゅ」の受入れ調整

日付 5月11日

演舞会場 宮戸地域（月浜、室浜、大浜台、里浜医王寺前、あおみな）

受入人数 40人

### ③被災者支援事業から包括的な支援体制への移行準備事業（再掲）

東日本大震災の第2期復興・創生期間終了と地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の構築を目指し、組織横断の推進体制により「被災者サポートセンター事業終結に向けた被災者支援事業から包括的な支援体制への移行プロセス」を策定し、相談支援チームと地域づくりチームに分かれ、世帯アセスメント（災害公営住宅 291 世帯）や地域アセスメントを実施した。高齢独居世帯、医療や福祉関係機関につながっている世帯など、自立した在宅生活はできているが、今後も見守りや相談支援の継続が必要と思われる世帯（122 世帯）を抽出し、令和8年度の新規事業となる高齢者等の見守り・相談支援事業に引き継ぐことにした。

### ④その他

#### ア 「心の復興コンサート」の開催（再掲）

日付 12月20日

会場 東松島市コミュニティセンター

参加者 来場者 89 人（災害公営住宅 289 世帯を対象）

出演者 「みやぎびっきの会」

内容 被災者の孤立感の解消や地域内でのつながりづくり、生きがいを積極的に「心の復興コンサート」を開催した。

#### イ 世帯アセスメントの実施

戸別訪問が令和7年度末に終了する事に伴い、社協の重層的支援体制整備事業相談支援グループと LSA で世帯アセスメント台帳を使用し気になる世帯について情報共有を行った。

※アセスメントした対象住宅及び世帯数

小松南(28 世帯)、町浦(7 世帯)、あおい三丁目(1 世帯)、野蒜ヶ丘一丁目(1 世帯)、野蒜ヶ丘二丁目(18 世帯)、野蒜ヶ丘三丁目(9 世帯)、矢本西(6 世帯)、柳の目西(11 世帯)

#### ウ 地域包括支援センター、民生委員との情報共有

世帯アセスメントした内容について、各地区地域包括支援センターや担当地区民生委員(6 人)と情報共有を図った。見守り・相談支援については、引き続きそれぞれの業務や活動を通じ連携していくことを申し合わせた。

#### エ 被災者サポートセンター・社協生活復興支援センター閉所式の開催

日付 令和8年3月30日(月)

会場：地域福祉交流プラザ 多目的ホール

参加者：30 人（市長ほか市幹部職員、社協会長ほか社協役職員等）

来賓：東松島市議会議長、宮城県議会議員

内容：被災者サポートセンターは、東日本大震災からの復興を目指し、平成23年10月に東松島市が設置し、社会福祉協議会がその運営業務を受託してきましたが、国が定める第2期復興・創生期間の終了に伴い令和7年度末で閉所することを決めました。

市と社協で共催した閉所式には、関係者30人が出席し、これまでの歩みを振りかえると共に、今後は、見守りや相談支援の取り組みを継承しながら包括的な支援体制を構築していく決意を固めました。

## 5. 地域包括支援センター事業拠点区分

- ・高齢者の総合相談窓口として、介護予防ケアマネジメント業務、総合相談支援事業、虐待対応等の権利擁護事業、包括的・継続的ケアマネジメント支援事業、認知症総合支援事業、一般介護予防事業、指定介護予防支援事業等に取り組んだ。
- ・総合相談にて介護保険分野の相談者からの聞き取りの中で、経済的な困窮、8050問題などを抱えていることを把握した段階で、社協相談支援包括化推進員と情報共有。くらし安心サポートセンター、生活支援コーディネーター等の社協関係部署と協働して対応にあたったケースが増加してきた。
- ・3つの地域包括支援センターの所長及び職種ごとの交流機会を継続し、各包括の業務運営、地域課題への対応方法等について情報交換を行い、関係構築を図った。
- ・障害相談支援事業所との勉強会、やもとケアマネネットの企画・運営に参画、他機関との連携を意識し取り組んだ。

### (1) 地域包括支援センター事業（東松島市からの受託）

〈職員配置数・体制〉

職種	勤務体制・配置数
看護師(保健師に準ずる者)	常勤1人
社会福祉士	常勤3人(在宅医療・介護連携推進事業の1人含む)
主任介護支援専門員	常勤1人
事務員	常勤1人

#### ① 包括的支援事業

ア 介護予防ケアマネジメント

介護予防ケアマネジメント業務(新しい介護予防・日常生活支援総合事業)

	給付管理数	新規(直営)	継続(直営)	新規(委託)	継続(委託)
事業対象者	116	3	92	0	21
訪問型サービスC	3	1	2	0	0
要支援1	699	11	330	13	345
要支援2	215	2	37	5	171
合計	1,033	17	461	18	537

イ 総合相談支援業務

〈相談数〉

		相談延べ数	平日		夜間・休日	
			新規	継続	新規	継続
相談方法	訪問	1,058	27	1,022	0	9
	来所(面接)	306	72	232	0	2
	電話	3,953	319	3,562	2	70
	その他(メール等)	503	6	477	1	19
合計		5,820	424	5,293	3	100

〈総合相談継続関与ケース総数〉

総合相談ケース数	総数	新規	継続	終結
	1,828	428	1,086	314

〈相談経路〉

内訳	相談延べ数	新規	継続
本人	1,667	57	1,610
家族	996	106	890
親戚	218	13	205
介護支援専門員	589	48	541
介護サービス事業所	667	16	651
障害者相談支援事業所	45	3	42
生活支援コーディネーター	39	12	27
くらし安心サポートセンター	121	6	115
被災者サポートセンター	13	6	7
相談支援包括化推進員(福祉総合相談担当)	22	1	21
市役所	667	61	606
医療機関	339	34	305
民生委員	148	24	124
自治会関係者	28	10	18
近隣者	31	11	20
その他	230	19	211
合計	5,820	427	5,393

〈相談内訳（重複あり）〉

内訳	相談延べ数	新規	継続
介護に関する事(介護方法等)	322	48	274
介護保険に関する事	1,185	116	1,069
介護予防・生活支援に関する事	1,440	83	1,357
保健・健康相談	247	26	221
医療に関する事	372	32	340
認知症に関する事(若年性以外)	300	38	262
若年性認知症に関する事(65歳以下)	0	0	0
生活に関する事	1,609	90	1,519
施設入所に関する事	252	8	244
虐待に関する事	185	10	175
権利擁護に関する事	289	13	276
介護者の離職防止に関する事	0	0	0
その他	51	3	48
合計	6,252	467	5,785

ウ 権利擁護業務

(ア) 権利擁護関係相談

〈相談概要〉

内訳	相談延べ数	新規	継続
高齢者虐待	237	6	231
セルフネグレクト	13	0	13

判断能力を欠く状況にある人への支援	308	3	305
成年後見制度利用促進	71	1	70
消費者被害	1	0	1
困難事例	53	0	53
その他	13	3	10
合計	696	13	683

(イ) ケース会議、研修会等の開催、参加  
 虐待個別ケース会議開催……6回 / 他機関主催研修会参加回数…22回

エ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

(ア) 日常的相談支援

相談経路	相談受付延べ数
ケアマネからの相談数	572
サービス事業者からの相談数	650

(イ) 研修会等の開催 実施回数…3 / 参加人数…106

[主な実施事項]

時期	内容等
6月19日	障害と包括との勉強会(障害支援事業所との共催) (内 容) 居宅介護支援事業所と障害相談支援事業所との交流会 (場 所) 東松島市役所 202 会議室 31人参加
10月21日	障害と包括との勉強会(障害支援事業所との共催) (内 容) 事例検討会「虐待ケースについて、包括の対応」 (場 所) 東松島市役所 202 会議室 35人参加
令和8年 2月28日	障害と包括との勉強会(障害支援事業所との共催) (内 容) 「自死対応研修会」 (場 所) 矢本コミュニティセンター 40人参加

オ 認知症総合支援事業

(ア) 認知症初期集中支援推進事業に関する業務

実態把握訪問数…新規 38 / 延べ数 266

認知症初期集中支援チームの訪問数…新規 0 / 延べ数 0

(イ) 認知症介護家族の情報交換会 13回参加

- ・認知症介護家族の孤立防止や介護負担の軽減が目的。令和5年度から吉田認知症コーディネーターが主催、東部包括はその支援で参加。

開催時期：4月～令和8年3月（毎月開催）

開催場所：矢本西市民センターほか

参加者：82人

令和7年度は家族会に加え、歌声喫茶「めでたい」を開催。歌好きな方からの声上がり開催に至る。内容は主にカラオケ。歌う方、それに合わせて踊る方など盛り上がりを見せていた。

(ウ) その他(研修会・会議参加等)

- ・認知症サポーター養成関連講座 4回開催。
- ・認知症地域支援推進員として出前講座等 5回開催。
- ・認知症関連研修 2回参加。
- ・関係機関との打ち合わせ 23回(うち、チームオレンジ関連9回)。

カ 地域ケア会議の推進

- ・個別地域ケア会議 3回
- ・地域課題検討を目的とする地域ケア会議 6回(第3層協議体)

②多機関協働による総合的な相談対応の推進

ア 関係機関との情報共有、意見交換の実施

- ・社協相談支援包括化推進員との情報共有を兼ねた包括打ち合わせ(毎始業時、毎週)
- ・協働で対応しているケースについて、くらし安心サポートセンターとの情報共有(随時)
- ・第3層地域支え合い会議にて社協CSWと地域課題の抽出(1~2か月に1回程度)
- ・市との定例会(毎月)
- ・公営住宅サポート会議(3か月に1回)
- ・支援検討会議
- ・各地域密着型運営推進会議

イ 民生委員・地域住民との情報共有の実施

- ・民児協定例会への参加や社協生活支援コーディネーター(CSW)と地域支え合い会議への参加を通じて、地域関係者等との情報共有を図った。

民生委員と支援が必要な方、心配な方、包括で関わっている方などの情報共有のため、民児協定例会に参加した。

地域支え合い会議(第3層協議体)への参加 6回

(2)介護予防支援事業

①介護予防ケアマネジメント

介護予防ケアマネジメント業務(新しい介護予防・日常生活支援総合事業)(再掲)

	給付管理数	新規(直営)	継続(直営)	新規(委託)	継続(委託)
事業対象者	116	3	92	0	21
訪問型サービスC	3	1	2	0	0
要支援1	699	11	330	13	345
要支援2	215	2	37	5	171
合計	1,033	17	461	18	537

②指定介護予防支援

	給付管理数	新規(直営)	継続(直営)	新規(委託)	継続(委託)
要支援1	790	19	438	9	324
要支援2	683	6	240	14	423
合計	1,473	25	678	23	747

### (3)在宅医療・介護連携推進事業（東松島市からの受託）

#### ①在宅医療・介護連携推進事業

##### ア 総括

東松島市多職種連携 ICT システム（ひがまつ BLUE ネット）の運用状況については、令和 8 年 3 月 31 日時点で 158 事業所、560 名のスタッフ登録となっており、登録事業所数は令和 7 年度目標値である 75 事業所を大幅に上回っている。東松島市内の加入率は、全体で約 7 割（介護事業所：9 割・障害事業所：3 割・病院・クリニック：3 割・歯科・眼科：1 割・薬局：8 割）。今後は加入の少ない医療機関への普及啓発や、月間平均 PV が 200PV 未満のライト層の引き上げのため、ヒアリングや個別対応等で活用を促進していく。

現状分析については、「医療・介護連携基本情報等地域医療情報集及び地域連携室情報集」更新のため、東松島市内と一部石巻市の医療機関へ照会を行い、更新した情報は医療機関及びやもとケアマネネットワーク会員へ提供した。

関係機関との連携では、チームオレンジミーティングや認知症サポーター養成講座、地域支え合い会議などへ出席し、認知症コーディネーターや包括支援センター、生活支援コーディネーター等と連携し、地域の課題や実情の把握に努めた。

##### 1. 現状分析・課題抽出・施策立案

医療機関の基本情報を把握し、介護側との情報共有によって必要な方へ円滑にサービス提供することを目的として、東松島市内の「医療・介護連携基本情報等地域医療情報集及び地域連携情報集」の更新作業を行い、関係者へ情報提供を行った。

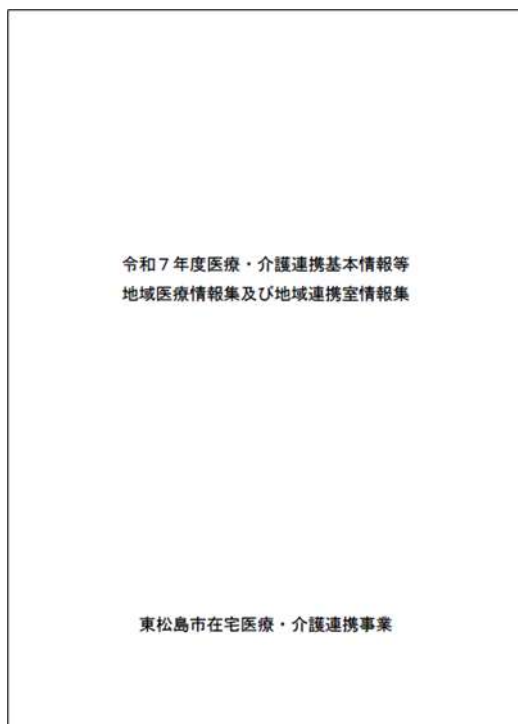
7 月 10 日	各医療機関へ昨年度の基本情報データを送付
7 月 14 日～31 日	基本情報データ取りまとめ、更新作業
8 月 20 日～26 日	製本作業
8 月 28 日	桃生郡医師会、医療機関、やもとケアマネネットワーク会員、包括支援センター、行政に「令和 7 年度医療・介護連携基本情報等地域医療情報集及び地域連携室情報集」を送付 ひがまつ BLUE ネットで共有

##### 【登録状況】（令和 8 年 3 月 31 日現在）

- ・内科系：18 件
- ・外科系：4 件（内科系と重複する医療機関を除く）
- ・眼科系：1 件
- ・歯科系：14 件
- ・市外分：12 件

## 【基本情報の活用】

- ・登録事業者へ更新情報を提供
- ・桃生郡医師会、やもとケアマネネットワーク会員、包括支援センター、行政、ひがまつBLUE ネット参加事業所に対し、更新情報を提供
- ・希望する医療機関あてに「やもとケアマネネットワーク会員名簿」を提供



## 2. 対応策の実施

No.	日付	対象
1	6月2日	認知症サポーター養成講座（ツルハドレッジ職員）
2	6月16日	かけはし会（やもと赤井の里家族会）
3	7月17日	グループホームあさぎり運営推進会議
4	7月25日	認知症予防（対応）特化型通所介護やもと赤井の里運営推進会議
5	8月6日	有料老人ホームたんぼぼ運営推進会議
6	8月13日	認知症家族会
7	10月29日	出前講座（南新町自治会いきいきクラブ）
8	11月18日	コスモス会
9	11月20日	認知症サポーター養成講座（市民向け）
10	12月17日	小規模多機能型居宅介護支援施設きらきら運営推進会議
11	令和8年 1月29日	赤井地域第2層協議体 赤井はひとつおせっ会

### (1) 医療・介護関係者からの相談対応

東松島市東部地域包括支援センターに、在宅医療・介護連携について相談できる窓口を設置し、専門職からの相談対応を行う。

No.	日付	内容	相談者
1	令和8年 1月28日	障害年金の診断書を書いてもらえる病院について	居宅ケアマネジャー

## (2) 地域住民や医療・介護関係者への普及啓発

認知症や在宅医療・介護連携についての相談窓口、連携の理解促進。

また、地域住民が人生の最終段階におけるケアの在り方や在宅での看取りについて熟知することも、適切な在宅療養を継続するために重要であるため、看取りや認知症に関する普及啓発や研修会を実施した。

### 【人生会議（ACP）研修会】

人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）とは、もしもの時に備え、本人が望む医療やケアについて前もって考え、家族や医療・ケアチームと繰り返し話し合い共有することで、本人の思いや選択が尊重され、本人が希望する医療・ケアの実施につなげるために実施した。

- ・テーマ：「自分らしい生き方、老い方を考えよう」～人生会議(ACP)してみませんか？～
- ・講師：一般社団法人 Link Workers 代表理事吉崎伸一氏（作業療法士、公認心理師）
- ・参加者：合計 132 名

No.	日付	場所	対象	参加者
1	7月29日 14時～15時45分	矢本東市民センター	百歳体操サークル、包括支援センター職員等	36名
2	8月9日 14時～15時45分	小野市民センター	百歳体操サークル、包括支援センター職員等	47名
3	10月10日 14時～15時45分	矢本西市民センター	百歳体操サークル、包括支援センター職員等	49名



### (3) 研修会の開催

医療・介護関係者との協働・連携を深めるための研修会開催の支援

#### 【東松島つながる・つなげる・多職種ネットワークおいおいの会】

No.	日付	場所	内容	参加者
1	4月22日 18時30分～ 20時	矢本東市民 センター	「がんの治療」 石巻赤十字病院 腫瘍内科 沖田啓先生 「がんになった時に受けられる制度等」 石巻赤十字病院 総合患者支援センター 八島浩氏	75名
2	6月17日 18時30分～ 20時	矢本東市民 センター	「介護保険制度について」 東松島市福祉課 高齢介護係 戸村氏、遠藤氏 「在宅退院に向けてのケアマネジャーの役割」 東松島市西部地域包括支援センター 主任介護支援専門員 高瀬清子氏	76名
3	8月19日 18時30分～ 20時	矢本東市民 センター	「最期をどこで過ごすか」 病院:石巻市立病院 緩和ケア病棟 病棟看護師 施設:特別養護老人ホームやもと赤井の里 土井孝博氏 在宅:ぷりけあ訪問看護ステーション 大塚晶子氏	81名
4	10月28日 18時30分～ 20時	矢本東市民 センター	「様々な看取りの事例紹介」 訪問看護ステーションあおい 大垣優子氏 ひまわり訪問看護ステーション 勝又奈緒氏 ぷりけあ訪問看護ステーション 大塚晶子氏	60名
5	12月16日 18時30分～ 20時	矢本東市民 センター	「VRを活用した高齢者看取り体験等」 #1 救急医療における心肺蘇生 #2 生きとし生けるもの(特養の看取り事例) 株式会社シルバーウッド 大野彩子氏	43名
6	令和8年 2月16日 18時30分～ 20時	矢本東市民 センター	「ACP・ALPの取り組みについて」 ～エンゲージメントカードの言葉を用いて～ ひまわり訪問看護ステーション 阿部まなみ 氏	51名

【東松島つながる・つなげる・多職種ネットワークおいおいの会コアメンバー会議】

No.	日付	場所	内容
1	4月8日 18時30分～ 20時	太陽の家	1. 4月の開催内容について 2. 6月の開催内容について 3. 8月の開催内容について 4. ケアマネネットとの合同開催について
2	6月4日 18時30分～ 20時	太陽の家	1. 6月の開催内容について 2. 8月の開催内容について 3. 10月の開催内容について
3	8月8日 18時30分～ 20時	太陽の家	1. 8月の開催内容について 2. 10月の開催内容について 3. VR研修会について
4	10月7日 18時30分～ 20時	太陽の家	1. 10月の内容について 2. 12月の内容について 3. 2月の内容について 4. ACP 市民研修報告
5	12月2日 18時30分～ 20時	太陽の家	1. 12月の内容について 2. 2月の内容について 3. 来年度の方向性について 4. 講師謝礼金について
6	令和8年 2月10日 18時30分～ 20時	太陽の家	1. 2月の内容について 2. 4月の内容について 3. 令和8年度のスケジュールについて

【東松島つながる・つなげる・多職種ネットワークおいおいの会 SNS 管理】

SNS を活用し、東松島つながる・つなげる・多職種ネットワークおいおいの会の研修案内や研修報告を発信。

日付	内容
4月4日、4月23日	4月研修案内・4月研修報告
5月20日	6月研修案内
6月18日	6月研修報告
7月18日	8月研修案内
8月21日	8月研修報告
10月1日、10月31日	10月研修案内、10月研修報告
11月14日	12月研修案内
12月18日	12月研修報告
1月22日	2月研修案内
2月19日	2月研修報告



### 3. 東松島市地域包括ケア ICT システム管理等

#### (1) ひがまつ BLUE ネット活用状況

【ひがまつ BLUE ネット登録者数】(令和8年3月31日現在)

	対象	事業所数	スタッフ数
市内	介護事業所	58	166
	障害事業所	6	27
	医療機関	7	42
	薬局	14	23
	行政	7	41
	その他	3	15
市外	介護事業所	46	200

	障害事業所	3	8
	医療機関	6	26
	薬局	1	2
	行政	1	3
	その他	4	4
	本運用合計	156	557
	仮運用	2	3
	合計	158	560

#### 【ユーザー層】

		ヘビー層	ミドル層	ライト層 (使用なし含む)
1 事業所あたりの PV 数		500PV 以上	200PV 以上	200PV 未満
層の割合	目標	30%	50%	20%
	令和 7 年度実績	26%	24%	50%
サービス種別		居宅、包括、訪問看護、行政、社協、ヘルパー、基幹相談支援センター、デイなど	デイ、クリニック、歯科、小多機、福祉用具、病院、施設など	施設、居宅、薬局、行政、病院、障害サービス事業所など

※ヘビー層：アクセス数が頻回、ミドル層：日常的にアクセスしている、ライト層：あまりアクセスしていない

#### 【運用評価指標】

目標	目標達成度指標	令和 7 年度目標値	令和 7 年度実績値
ネットワーク の参加促進・ 認知度向上	参加事業所数（仮運用除く）	75 事業所	156 事業所
	患者・利用者登録数	66 名	831 名
	患者・利用者登録数（高齢者）	40 名	796 名
ツールの利用 促進	年間 PV 数	355,909PV	1,031,135PV
	使用事業所（ヘビー層・ミドル層） の割合	55%	49%
	1 事業所あたりの平均月間 PV 数	395PV	575PV
	会議室コメント月間登録数	71 件	100 件
	患者・利用者コメント月間登録数	103 件	1,043 件
	メッセージ月間登録数	363 件	1,447 件

#### (2) ICT システム運用検討会

株式会社ワイズマンと事務局とで、ひがまつ BLUE ネット運用に向けた検討会を開催。運用の課題や今後の取り組み等について検討している。

No.	日付	場所	内容
1	4 月 16 日 10 時～11 時 30 分	オンライン	1. 今後の運用について 2. 研修会について 3. 活用事例集について

2	10月28日 15時～16時 30分	オンライン	1. ひがまつ BLUE ネット事例共有会・操作説明会について
3	12月17日 9時～10時	オンライン	1. ひがまつ BLUE ネット事例共有会・操作説明会について

(3) 東松島市多職種連携 ICT システム運用部会

ひがまつ BLUE ネットを活用した多職種間の連携推進を図るため、運用及び規約・ルールの見直し等を行う。

No.	日付	場所	内容
第1回	9月24日 13時30分～15時	地域福祉交流プラザ	1. ひがまつ BLUE ネット活用状況報告 ひがまつ BLUE ネット利用に関するアンケート調査 2025 結果報告等 2. 活用事例集について 3. 研修会について
第2回	令和8年 2月17日 10時～11時	地域福祉交流プラザ	1. ひがまつ BLUE ネット活用状況報告 2. ひがまつ BLUE ネット研修会報告 3. 令和7年度ひがまつ BLUE ネット利用に関するアンケート回収状況



(4) ひがまつ BLUE ネット事例共有会・操作説明会

ひがまつ BLUE ネットの活用促進のため、研修会を開催。

【事例共有会】

日付 令和8年1月28日 13時30分～14時15分

場所 地域福祉交流プラザ

内容 1. 「ひがまつ BLUE ネット活用事例の紹介」  
石垣クリニック内科・循環器科 勝見紀彦氏  
2. グループワーク

参加者 25名

### 【操作説明会】

日 付 令和8年1月28日 14時30分～15時15分  
場 所 地域福祉交流プラザ  
内 容 1. 「ひがまつBLUE ネット基本操作のポイント」  
東部地域包括支援センター 木村麻里  
参加者 13名



### (5) 関係者への普及啓発

医療や介護、福祉等の各関係者に対し、利用を促進するため周知活動等の普及啓発を実施。また、個別の問い合わせに対しては随時対応している。

### 【普及啓発】

	日付	事業所
1	5月1日	仁明会みなと居宅介護支援事業所
2	5月26日	アースサポート石巻（訪問介護）
3	5月26日	アースサポート石巻（訪問入浴）
4	5月26日	あゆみ野デイサービス
5	5月28日	サンサンアイランド
6	5月29日	ニチイケアセンター石巻（居宅）
7	6月18日	第二恵仁ホーム
8	7月3日	めだかの楽校
9	7月3日	めだか住環境センター
10	7月11日	TEDIC
11	7月11日	K2ハウス
12	7月14日	ジェー・シー・アイ
13	7月14日	ツクイ石巻訪問看護ステーション
14	9月2日	フレアス在宅マッサージ石巻圏域施術所
15	10月14日	訪問介護事業所すえの森
16	10月21日	訪問看護ステーションまつしま
17	11月18日	めだかのたいよう

18	12月3日	訪問介護こすもす
19	12月3日	有料老人ホームたんぼぼ
20	12月8日	ソレイルミナーレ石巻あけぼの
21	12月23日	ミューズ歯科

【新規参加事業所向け操作説明】

	日付	事業所
1	4月17日	ふれあい心のサービス
2	5月9日	仁明会みなと居宅介護支援事業所
3	6月4日	石巻 NOTE
4	6月5日	あゆみ野デイサービス
5	6月17日	仁明会青葉居宅介護支援事業所
6	7月22日	めだかの楽校
7	7月22日	めだか住環境センター
8	7月28日	東松島ロイヤルリハビリセンター
9	8月4日	ジェー・シー・アイ
10	8月18日	ツクイ石巻訪問看護ステーション
11	9月29日	フレアス在宅マッサージ
12	10月20日	訪問介護事業所すえの森
13	11月22日	訪問看護ステーションまつしま
14	11月26日	めだかのたいよう
15	12月11日	有料老人ホームたんぼぼ
16	12月12日	ソレイルミナーレ石巻あけぼの

【新規スタッフ操作説明訪問】

対象	件数
介護事業所	11件
障害事業所	3件
行政	1件
合計	15件

【ヒアリング訪問】

対象	件数
医療機関	3件
介護事業所	33件
障害事業所	4件
合計	40件

【問い合わせ対応】

内容	件数
患者・利用者ページの操作 (閲覧権限設定、特記事項・基本情報編集、写真添付など)	36件
ログイン、セキュリティ ID、エラーなど	22件

患者・利用者登録、休止、登録対象など	13 件
基本操作 (メッセージ、ダッシュボード設定、会議室投稿など)	14 件
新規スタッフ登録・削除	11 件
その他 (未参加事業所について、会議室投票機能、BLUE ネット活用方法、印刷方法など)	9 件
合計	105 件

対応方法	件数
訪問	39 件
電話	50 件
メッセージ	13 件
来所	3 件
合計	105 件

#### (6) アンケート調査の実施

ひがまつ BLUE ネット利用者を対象に、令和 8 年 1 月 19 日～2 月 15 日に利用に関するアンケート調査を実施。(回収率：67.1%⇒回答者 357 名/対象者 532 名)

#### 4. 関係機関との連携

##### (1) 在宅医療・介護連携推進体制の構築

地域包括支援センターや生活支援コーディネーター、認知症総合支援コーディネーター、認知症地域支援コーディネーター等と情報共有し、連携を図っている。

No.	日付	内容
1	5 月 29 日 10 時～11 時 30 分	3 包括社会福祉士打ち合わせ ・虐待対応研修会について ・事例検討
2	6 月 2 日 16 時～17 時	認知症サポーター養成講座 (ツルハドラッグ職員) (再掲)
3	6 月 24 日 14 時～15 時 30 分	令和 7 年度 東松島市キャラバン・メイト協議会総会 1. 役員の選出について 2. 令和 6 年度事業実績報告について 3. 令和 7 年度事業計画について
4	7 月 15 日 10 時～12 時	3 包括社会福祉士打ち合わせ ・虐待対応研修会について ・今後の予定について
5	7 月 31 日 10 時～12 時	CSW 等連携推進会議 ・支部長会議で出た意見 (地域支え合い会議における個人情報の同意について) の共有と意見交換
6	8 月 22 日 10 時～12 時	3 包括社会福祉士打ち合わせ ・虐待対応研修会について ・身元保証会社について

7	9月30日 10時～12時	CSW等連携推進会議 ・第2層協議体、第3層協議体、地域支え合い活動助成事業における今年度計画について ・被災者支援事業から包括的な支援体制への移行プロセスについて 進捗状況の共有
8	11月9日 9時30分～14時	東松島市産業祭 ・社会福祉法人連絡会の周知
9	11月20日 14時～15時40分	認知症サポーター養成講座（市民向け）
10	11月21日 10時～12時	3包括社会福祉士会議 ・虐待対応ケースの共有 ・虐待防止委員会について
11	12月17日 10時30分～11時30分	小規模多機能型居宅介護支援施設きらきら運営推進会議
12	1月15日 10時～11時	令和7年度 第4回CSW等連携推進会議 ・前回の振り返り ・第2層協議体・第3層協議体・地域支え合い活動助成事業の進捗状況
13	1月16日 10時～11時	3包括社会福祉士会議 ・虐待対応事例共有 ・令和8年度活動計画
14	1月16日 11時～12時	令和7年度 第1回東松島市包括支援センター高齢者虐待防止委員会 ・動画視聴による情報共有 ・令和7年度の虐待事例について ・令和8年度活動計画
15	1月29日 13時30分～15時	赤井第二層協議体「おせっ会」 ・第二層協議体のあり方について ・福祉部会主催 ほんわかつながりづくりについて
16	2月20日 10時～12時	3包括社会福祉士会議 ・「成年後見制度と身元保証サービスの役割整理」 シニアパートナーズ 鈴木佳寿氏
17	3月27日 10時30分～12時	3包括社会福祉士会議 ・次年度の予定について ・高齢者虐待防止検討委員会について ・高齢者虐待防止研修会、勉強会について
18	3月31日 14時～15時	令和7年度 第1回東部地域包括支援センター高齢者虐待防止委員会 ・動画視聴による情報共有 ・令和7年度の虐待事例について

## (2) 会議及び研修への参加

## 【会議】

No.	日付	場所	内容
1	6月24日 14時～15時30分	市役所南庁舎	令和7年度 東松島市キャラバン・メイト協議会総会(再掲) 1. 役員の選出について 2. 令和6年度事業実績報告について 3. 令和7年度事業計画について
2	7月4日 15時～16時	オンライン	社会福祉法人連絡会幹事会 1. 連絡会役員候補者の推薦について 2. 令和6年度実績報告について 3. 令和7年度事業計画について
3	7月11日 15時～ 16時30分	オンライン	令和7年度 東松島市社会福祉法人連絡会総会 1. 東松島市社会福祉法人連絡会の役員選任について 2. 令和6年度事業報告について 3. 令和7年度事業計画について

## 【研修】

No.	日付	場所	内容
1	7月19日 13時30分～17時	TKP 東京駅 カンファレンスセンター	MeLL+Meeting2025 1. 「盛岡北東地区による地域連携ネットワーク構築～こずかたネットを用いて～」 一般社団法人岩手済生医会 中津川病院 病院長 高橋進先生 2. 「八戸消防本部と connect8 の連携について」 八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部 指令救急課 辻井信二氏 3. 各地域の紹介 4. ディスカッション1・ディスカッション2
2	9月16日 19時～20時30分	オンライン	第16回 在宅医療・介護懇談会 「若林区在宅ケア連絡会の取り組みと活動報告」 講師：医療法人佳美会 ないのろの里クリニック 理事長 佐々木剛氏
3	9月26日 18時～20時	登米合同庁舎	令和7年度 石巻・登米圏域在宅医療・介護連携推進研修会 1. 報告：令和7年度石巻・登米圏域の在宅医療・介護関係機関におけるACPの取組状況調査結果 担当：宮城県石巻保健所 高齢者支援班 2. 講演：「ACPなんとなく知っているを卒業して実践に近づけよう」 講師：君津市国保小櫃診療所 所長 望月崇紘医師
4	10月22日 10時～15時	オンライン	令和7年度 都道府県・市町村担当者等研修会議(在宅医療・介護連携推進事業) 1. 在宅医療・介護連携推進事業について

			<p>厚生労働省老健局老人保健課</p> <p>2. かかりつけ医機能について</p> <p>厚生労働省医政局総務課</p> <p>3. 在宅医療と介護の連携体制の構築に向けて</p> <p>厚生労働省医政局地域医療計画課</p> <p>4. 「在宅医療・介護連携推進事業の手引き Ver. 4」の作成にあたって</p> <p>びわこリハビリテーション専門職大学 学長 角野文彦氏</p> <p>5. 「在宅医療・介護連携の推進に向けた指標の考え方手引き」の作成にあたって</p> <p>国立保健医療科学院医療・福祉サービス研究部福祉サービス研究領域 上席主任研究官 大塚賀政昭氏</p> <p>6. 「在宅医療・介護連携の推進に係るコーディネーターの活用ハンドブック～市町村、都道府県、コーディネーターに向けて～」の作成と取組事例の紹介</p> <p>一般社団法人新潟市医師会医療課 課長 斎川克之氏</p> <p>7. 松戸市における在宅医療・介護連携の推進について</p> <p>一般社団法人松戸市医師会 会長 川越正平氏</p>
5	10月28日 18時～19時	オンライン	<p>2025年度 東北大学病院オープンカンファレンス</p> <p>「医療と介護のよりよい連携を目指して」</p> <p>「心不全患者さんの支援について」</p> <p>東北大学病院 慢性心不全看護認定看護師 梶川アユミ氏</p>
6	10月31日 14時～15時30分	石巻市ささえあいセンター	<p>令和7年度 石巻市在宅医療・介護連携推進事業</p> <p>第2回 石巻市在宅医療・在宅介護に関する市民講座</p> <p>「高齢者の筋肉を落とさないための必要な栄養について～簡単にできる栄養管理～」</p> <p>特定非営利法人ハッピーート大崎</p> <p>管理栄養士 薩日内羊子氏</p>
7	11月7日 10時～16時	スタンダード会議室 仙台一番町ホール5階	<p>1. 「事業評価の基本事項とロジックモデルの活用～目指す姿の実現に向けた実効性のあるPDCAサイクルに向けて～」</p> <p>「在宅医療、在宅介護・介護連携のロジックモデルの考え方」</p> <p>一般社団法人医療経済研究・社会保険福祉協会</p> <p>医療経済研究機構 松本佳子氏</p> <p>2. グループワーク</p> <p>「在宅医療・介護連携の4場面別に地域課題を整理し目指す姿を考える」</p> <p>「地域の連携の課題を整理し、目指す姿を達成するための進め方を考える」</p> <p>3. 在宅医療・介護連携推進事業に係るプラットフォームの説明</p>

(3) 在宅医療・介護連携協議会の運営補助等

No.	日付	場所	内容
1	6月19日 19時～20時30分	東松島市役所 202会議室	令和7年度 東松島市在宅医療・介護連携協議会 議事 1. 令和6年度事業報告 (1) 令和6年度事業報告 (2) ひがまつBLUE ネット2025 アンケート調査集計概要版 (3) ひがまつBLUE ネット2025 アンケート調査集計報告書 2. 令和7年度事業計画 (1) 令和7年度事業計画 (2) ACP 事業計画 (3) ひがまつBLUE ネット運用 3. ひがまつBLUE ネット目標指標 (1) ひがまつBLUE ネット目標指標

# 令和7年度 事業報告書

令和8年5月発行



社会福祉法人 東松島市社会福祉協議会

〒981-0503 東松島市矢本字大溜 81 番地

Tel 0225-83-2851 / Fax 0225-83-4561

E-mail [higasimatusima@dolphin.ocn.ne.jp](mailto:higasimatusima@dolphin.ocn.ne.jp)

URL <http://www.hmfukushi.jp>